

本庄村史資料

永井正治家文書（二）

神戸深江 生活文化史料館

目次

【深江村由緒】

- 1 深江村由緒書

年月不詳

1

【触通達】

- 1 御条目 御高札

貞享〓元祿

6

- 2 御条目

正徳二年二月

31

- 3 切支丹博奕触

宝永五年七月二十三日

37

- 4 五人組仕置帳（撰州兔原郡深江村）

文政九年三月

37

- 5 浄円院法事につき鳴物停止触

年不詳六月五日

45

- 6 浄円院逝去につき鳴物停止触

年不詳六月十六日

46

- 7 文照院様十七回忌法事につき廻状通知

年不詳十月九日

46

- 8 石垣請負入札融（河四郎右衛門望甚左衛門）

年不詳申正月

46

- 9 樋修覆につき触（河四郎右衛門望甚左衛門）

年不詳午十月

47

- | | | | |
|----|---------------------------------------|--------------------|----|
| 10 | 象通行ニ付一件（諸田団藏） | 年不詳四月十三〜十四日 | 48 |
| 11 | 象供行列順番書上（諸田団藏） | 年不詳四月十六日 | 50 |
| 12 | 公事日定につき触
（川八郎右衛門）
（河四郎右衛門） | 年不詳丑十二月十四日 | 53 |
| 13 | 破魔弓等につき触
（河四郎右衛門）
（川八郎右衛門） | 年不詳丑十二月 | 53 |
| 14 | 郡役等につき触 前欠（望月、高澄） | （享保？）年月不詳 | 54 |
| 15 | 奉公人につき触書
（小川仁兵衛、飯田善兵衛）
（中村弥左衛門） | 年不詳戊三月三日 | 55 |
| 16 | 奉公人につき触 | 年月不詳 | 56 |
| 17 | 山論水論等につき触（前欠）辰閏四月再触 | （年不詳）西正月
辰閏四月再触 | 57 |
| 18 | 廻船積下につき触覚 | （享保？）年月不詳 | 58 |
| 19 | 浦方定廻につき通知（深江吉兵衛より村々） | 年不詳四月四日 | 59 |
| 20 | 廻船運賃引下触 | 年不詳外五月 | 59 |
| 21 | 殿様御通につき触
（望月甚左衛門）
（河澄四郎右衛門） | 年不詳二月三日 | 61 |
| 22 | 西丸普請につき上納銀触（水野越前守） | 年不詳戊三月 | 61 |
| 23 | 米納につき触 | 年不詳三月 | 62 |
| 24 | 寺社立寄の儀につき大庄屋触 | 年不詳五月九日 | 62 |

- 25 組割算用につき大庄屋触（深江吉兵衛） 年不詳十一月十六日
- 26 大庄屋廻状（深江吉兵衛↓村々庄屋中） 年不詳十月十一日
- 27 廻状通達（京都町奉行触）深江吉兵衛より
各村々へ 年不詳十一月十五日
- 28 廻状通達（庄田弥右衛門触）深江吉兵衛より
各村々へ 年不詳九月二日

【村 高】

- 1 深江組村々本田新田 田畑反別書上帳 享保五子年三月

68

【土地台帳】

- 1 深江村田畑名寄帳 天和二年三月

103

深江村由緒書

夫深江邑ノ往古ノ濫觴ヲ尋ルニ田ノ字ナリテ、今ノ世ニ残レル上永井ノ邊リニ聊サカ六、七軒ノミ也、其ノ頃ノ土地ノ有様ヲ考ルニ今ノ村内ノ通り筋ヨリ濱手ハ一面芦嶋ニシテ泥ナリ、夫ヨリ北ヲサシテ三町ハカリノ入江アリ、依テ深江号有リ、元録年中迄入江姿タ残り栗坪邊リハ芦嶋ナリ、其頃尼崎城主青山侯御領ノ節磯ノ氏先祖開発シテ新田成リシヲ栗坪ト云ハ誤リ〔也カ〕入江ノ時〔表カ〕面クンテ坪ノ如ク成タル所ヲ開キシ故ニクレ坪ト云也栗坪ニ非ス

太日堂由来之專

夫太日堂ノ由来ヲ尋ルニ往昔古義真言宗ニ而、嶺松山延壽寺ト号ス村其宗派タリ、然ルニ文明年中蓮如上人ヲ帰依シ奉リ村一統ニ改宗ノ思イヲナシ依テ真言三密瑜伽ノ奥旨ヲ忘レ年歳累リテ荒廢ニ及ヒ終ニハ退転スト云々本尊太日如来ノミ其跡ニ残シ奉リヌ、此太日如来本地ヲ尋ルニ伊弉諾、伊弉冉尊夫婦ト成リ給イ第一天照太日靈尊ト申ナリ、左スレハ太日如来ハ天照太神宮ニテ渡セ給フニ六月十四日神祭ヲ行フハ往昔北畑村馬頭天皇庄内ノ生土神也、馬頭天皇ハ天照太神宮ノ御弟素盞鳴尊ニテマシマス、祭禮六月十四日京祇園會同日ナリケレハ、此日神事ナリ同日ニ祭禮ヲ行テ賂世リ往昔時延壽寺ノ境内ニアリシ敷石數百年ヲ経ル〔トテ今ノ世ニ残リテ家々ノ井ノ辺リニ四角ナル石アリ是也又五輪ノ石塔ナト數多アリ、村童諸方ヘ持テ散シナトシテ少今ニ残レリ、今ノ墓所ニモ真言ノ石塔アリ又太日ノ森ノ北ノ田六、七反ノ字ヲ堂ノ後ロトイヘリ延壽寺タリシ時ノ本堂ノ後

ロトタルニ依テ堂ノ後ロトハ云也

式拾式間半

拾八間 除 地

葉應寺舊地之事

此葉應寺ハ天台宗ニシテ葉師如来ヲ安置セリ、境内二町餘モアリテ南ハ蒼海茫トシテ紀伊ノ海和泉ノ浦々モ霞ノ中ヨリ眸ニ遮リ北ハ翠巒峨々トシテ六甲山峯ニ続キ風光斜ナラス勝地ナリ。

天正年中ニ寺内ヨリ放火シテ一時二灰煙ストモ云又一説ニ織田信長公ノ時代兵火ニ逢フトモ云シニ説審ナラス惜哉、其後チ永ク退転シテ其名ノミ残リテ田ノ字トナレリ、其ノ昔ハ赦免地ニテアレトモ葉應寺退転ノ後地頭是ヲ領シテ免サス悲哉惜ムヘシ葉古寺ト云ハ後世ニ至リテ誤レリ。

踊松由来之事

人皇五十代桓武天皇御宇延暦五寅年孟夏上旬ノ頃大洪水ニテ所々川之大ニ破損シテ諸家大ニ歎キケリ、其頃海上ニ怪シキモノ流れ来リ村民ハセ集リ是ヲ見レハ神輿ナリ急キカキ上ケ奉リ又此所ニ小高キ臺ニ松ノ三本モ有ケレハ此所ヘ御遷シ奉リ男女老若トナク群リ踊リ舞イナトシテ勇メ奉リ又是ニヨリテ踊松ト号ト云、此所ニ歛請申ヘキニ一面ノ芦嶋ニシテ容易ニ開發成ヘキ地ニアラサレハ、森村ニ神地ヲ改メ此所ヘ遷シ奉リ又神輿内ニ神鏡アリ曰靈龜二年二月初午日ト顯然タリ、伏見稻荷御祭禮二月初午ナレハ稻荷大明神ト崇メ奉リケリ、此所御幸場ト稱セリ是神地ナリ、稻荷大明神ト申奉ルハ倉稻魂ナリ、稻荷ト号スルハ地主ノ神荷田明神ノ荷ノ字ト倉稻魂ノ稻ノ字ト合セテ神号トスルモノ也、是レ唯一ノ本説也又此ノ神ハ衣食ノ祖神ニテ百姓ハ種草ヲイノリ商人ハ賣得ヲ願イ工業鍊磨ヲ願イ公業民土トイエトモ此神ノ利益ヲ蒙ラスト云事ナシサレハ往古ハ天子諸候トイヘトモ膳

ニ向ヒ食事毎ニヒ箸ヲ下サルノ先ニ少シ飯ヲトリ
テ膳ノカタワラニ置セ宇賀ノ神ニ備ヘタモフト云
也

延暦五寅年ヨリ文化元年マテ凡千拾九年ニ及ヘリ。

踊り松ノ髣句

踊り松ツ女波男波ノ柏子哉 江戸湖タ
名モ高キ松モ千ト世ノ踊哉 竜橋幾ク
千代ト限ラジ物ノヨ踊松 鳳別幾ク秋
ヲ経テ替ラメ踊松 柳茂尽キセシノ松
ノ姿タヤ踊リブリ斜月

敷地 式拾式間

除地

式拾間

正壽寺縁記

此ノ正壽寺ハ往昔延壽寺退転ノ後村民蓮如上人ヲ
帰依シ奉リ一字ノ坊舎ヲ建立シテ永井山正壽寺ト
号ス、此ノ正壽寺ノ正ノ字ハ延壽寺ト号ス又永井
山ハ深江其昔永井ニアリシ故ニ是ヲ用テ山号トス
其頃ハ村民老翁入道シテ替ル々々守護セリ。

其後年を経テ御宗門繁栄シテ草庵ヲ建立シテ任職
代々勤メ給フ又天明年中再建アリテ今ノ世ニ魏々
タリ任職追々替リ七代ノ住釋恵音子ニ至リテ本堂
再建ス又自庵トナレリ此ノ恵音子ハ中古開基ニシ
テ其勤功挙テ云ヘカラス釋理圓子ノ代ニ及テ三ノ
門ノ席ニ進ミタモフ。

猶豫之澤

此猶豫ノ沢ノ由来ヲ尋ニ源義經公平家追討ノ時福
嶋ノ浦ヨリ御船ニテ進發讃州下向ノ時海上風波シ
キリナレハ深江入江ニ錠ヲ下サセ暫ク猶豫アラセ
給フカ故ニ猶豫ノ名今ニ残レリ、又義經公鍔イ洗
イ池トモ云リ、如何トナレハ義經公福嶋御進發有
ラセ給フニ程ナリ風波ノ難ニ逢給フ平家追討ノ門
ト出ニハ不吉也トテ此入江ニテ鍔ヲ洗ハセ給フ依
テ鍔洗ノ名又残レリ後世開發シテ沢トナリ又縮メ
テ池トナリ依テ猶豫ノ沢トモ又ハ鍔洗イ池トモ云
ナリ。往古ハ沢池ノ如キモノニハアラス
此池栗坪磯野氏新田ノ内ニアリ今ハ其姿タ少シ残
リテアリ見ルマテモナシ然レトモ古跡ナリ。

銚子池

銚子池ト云ハ踊松ノ境内辰巳ニアリ、昔シ稻荷ノ御輿此所ニテ勇メ奉リ村民男女トモニ踊リ舞ナトシテ酒宴ヲ催シ終日戯ケル村民ノ内ニ一人戯レノ余リニ銚子ヲ頭ニ戴テ此ノ池ノ邊ヲ舞シトナリ、依テ銚子カ池ト号ス

古跡ト云ニモ非サントモ記スモノナリ。

片田井川蚩合戦之事

片田川蚩合戦ト云事聞ク俗ニ夏至ノ夜ナリト云左ニハ非スシテ定マリナシ予一度是ヲ見ル蚩ル群リ集ル事其ノ数ヲ知ラヌ暫時ニシテ退ク事早シ、是ハ此ノ所ニ限ルヘカラス古歌ニモ蚩スタクト読シ侍ルハ是ナリ。

長池由来ノ事

夫太日前ノ池ヨリ引続キテ東ノ長池マテ通シタリト云(虫喰)「今ノ通り筋ノ北側井ヲ堀リナトスレハ杭木底ヨリ出ル事アリ是往古ノ證ナルヘシ

羽柴築前守下知一札

羽柴築前守侯摂洲巡見之折節庄内ニ下シ置レシ三ヶ條ノ書礮野氏ニ留リヌ此時代庄老ト云テ一ヶ村ニ一軒古キ家ヲ庄老ト号シテアリ礮野家ハ筆頭ト見ヘテ此家ニ留リヌルモノト見え礮野家名ヲ書記シテ下シ置レタレハ家ノ系図トモ云ヘシ惜ムヘシ。

(表紙)

元祿二巳年写	
御條目	
切支丹御制禁高札	
浦邊御高札	写
御高札場	永井
此表紙檢天保三辰年	豊直 花押

定

- 一、從前々被 仰出 公義御法令之趣、弥以無違背可相守之事也。
- 一、公義御用之儀不依何事無油断相勤、尤往還道筋者御伝馬人足次飛脚次船等、少茂無滞様ニ可仕事
- 一、於在々所々不依多少成一味徒党族於有之者可行政科、御料私領分共奉対 公義以悪心結徒党輩あらハ早速可告来、宜令褒美事。
- 一、山林野原境目并入会之場所往古之例不可相乱之、若背先例於企新儀者可處敵科事。
- 一、郷村用水之事以先規例急而可相定之、若前々不取来用水無相對理不盡に切取におゐてハ可為曲事
- 一、御料私領入組之村々其百姓をかたらひ構新儀於一致 公事ハ 公義御裁許之後領分百姓仕置可申付之、尤 公儀江申出公事訴詔聊偽なく有躰に可申上之、惣而出入ニ成間敷義を脇より加助言悪意をすゝむる輩あらハ後日に聞といふ共曲事可申付事。
- 一、領内公事訴詔之儀、前々より法令之通其組之郡右衛門へ令訴詔、猶又無許容ハ月番之年寄用人江

可相訴之、無其儀直訴停止之事。

一、野山并井水相論之節論人へ令荷擔催、大勢刀脇指弓鎗鉄炮之類を持出令口論義堅令停止訖。若相背族於有之ハ可處嚴科事。

一、公事裁許之節論人双方之外当地へ不可來。

但親子兄弟証人其村之庄屋年寄等不罷出して不叶者は、其時之差凶ニ隨ひ罷出へし。

槌成証文証拠有之義乍存知申掠、又ハ申分難立非道之儀を令訴詔仕置可申付事。

一、落着相済たる出入令難澁ハ不屈之到也。向後違背之族あらは曲事たるへし。出入擾之事双方相對之上者不及沙汰、然上は擾之もの双方無依怙蟲眞正路に取擾へし。若非義之取擾をなさは擾人可為罪科事。

附人を殺候出入、盗人博奕打等之沙汰ハ取擾堅停止之事

一、諸商売之出入雖及対決証文証拠不分明義者難遂裁許之間、向後互ニ証拠証文可取置之惣而商売之事。私之法を立多人数をくみし誓約をなし申合令商売儀堅停止たり。若違犯之輩あらハ可処罪科事。

一、百姓町人召仕之者と出入之儀、主從之礼を不存其家來之者非分たるにおゐてハ籠舎申付、其上主人之心に任すへき事。

一、謀書謀判之事罪科不輕、若相背もの有之者穿鑿之上処嚴科、執筆之者可為同罪事。

附落書張文堅停止之、若於相背ハ急度遂穿鑿可付罪科事。

一、百姓常に農業專相勤、年貢所当無滯可令收納、家職不情にいたし身躰不成、年々令未進百姓ハ自今以後吟味之上可令追放之間、庄屋年寄無油斷申付勢力をはけまし相働身躰持立る様に可仕事。

一、百姓身持之事先年從 公儀被 仰出村々令承知畢。其趣急度相守奢たる義曾不仕、屋作等かるくいたし御法度之衣類妻子に到迄堅着用無之、常々食物雜穀用之米狼喰費事なく、神事佛事かるくいとなく、惣而何事茂百姓に不似合結構かましき義一円仕へからず、且又百姓乗物にての往来一切令停止之事。

附百姓祝義之節親子兄弟伯父娣從弟贅舅小しうと之類共相応かるく、寄合候茂心次第たるへし

其外村中集り振廻之儀者不及申互之祝儀取かハ
しも前々よりの通弥令停止之事。

一、田畑不荒様に仕事要用たり。砂入之所隨分取立
令開之、役人吟味之上申付る新田之外不窺して猥
不可令開発事。

一、木綿作之義其村高之本田三分一丈堅不可過之、
前々より木綿作不來所新規ニ作之儀可為停止事。

一、依有要用之子細百性田畑家屋鋪令沽却者其村之
庄屋年寄江相談之上究之、売券之証文に売主之一
類并庄屋年寄令加判証文可取替事。

附田畑家屋敷預り証文可為右同前事。

一、一所之田畑家屋敷若両方江致証文売渡事あらは
不届至極たるの間、当人ハ不及申加判之輩迄急度
可処罪科事。

一、百性の田畑家屋鋪質物に入、請返事及遲ニとい
ふとも猥不可押取、或半年或一年隨其品相待猶於
滯者、質屋より役人へ窺可相極之、若質主之百性
令死去遺跡無之歟、又ハ捨令遂電者其村之庄や年
寄申出奉行人之指図受へき事。

附欠落人之跡に有之諸道具之内、預り物者其預

ケ主之証拠分明にをるてハ可戻之、且又欠落之
預り物有之を隱置、後日にあらハるゝにおゐて
ハ可為曲事。

一、諸質物之事兼而入念遂吟味、請人無之質物取へ
からず。縦請人有之共猥下直之質物不可取之、武
具馬具刀脇指惣而不依何に其身之分限に不応もの
於持來ハ急度相改、子細承届可取之、若致不吟味
盜物しちに取におゐてハ、其質屋可為罪科事。

附質主之名宿又ハ主人之名をも能聞届へし、令
難澁ハ押置可申來事。

一、質物利息之事、相对次第たるへし。惣而質屋之
作法諸色之物質に取時、年月之際限相定互書物可
取替、然処遠路故令遲之歟、又は不叶子細之而年
月及遲引といふとも、三ヶ月迄ハ可相待、夫過候
ハ、質物之所存に任へき事。

一、質物請返之儀相定、書物之日限不過内或失ひ或
倉相に置穢損時ハ、質屋越度たり。大躰質物ハ価
相当之半分にて取來之間、向後其失ひたる質物借
元之銀子一倍にて可返弁之、又損たる質物ハ新敷
時之価積を以可相弁事。

一、質屋火事に逢、質物致焼失ハ置主之可為損失、若質屋其しち物隠置焼失之由於申懸ハ、後日に相聞といふとも可処敵科事。

附質屋へ盗人入質物被盜取、其証跡分明たらは火難同前之事。

一、百性を押出し狼其跡之田地不可持添之、前々より之百性相果跡目無之におゐては、其趣郡代代官へ相伺、不依男女其筋目之者を取立へし。無断家をこハし取四壁をあらし、田地を持添百性をつぶす様に仕族於有之、其村之庄や年寄可処罪科事。

一、跡職并遺物配分之事、其身堅固なる内ニ一類其所之庄や年寄に相断証文に書載之、庄や年寄も可致加判、但頓死又ハ書置無之跡職之儀ハ吟味之上隨其筋目可申付事。

一、養子并入贅等遺跡相続之事、是又父母存生之内相定、証文如右可相究之及末期亡却之刻背道理たる申分不可相立事。

一、親之遺言を背、兄弟姉妹之讓を妨掠取之輩あらは急度可行罪科事。

附出家僧尼ハ從古來、父母之遺跡配分に不可預

之法義たり。但佛具衣鉢之類ハ可為各別事。

一、親之負物ハ子に懸り、子之負物者親に不懸之法義也。雖然其親証文に加判有之歟、又ハ其子先達而令死去、親其遺跡をか、へは可相濟之事。

一、縁組ハ双方互に相對之上可結取之、然ニ父母無同心娘理不尽之義於有之ハ曲事可申付事。

一、女房令離別ハ其敷銀并衣類道具無異儀可戻之、不可致難澁、但科を以令離別ハよめ入の時持來もの古來よりの法義に任せ不可返事。

附懷胎の女令離別ハ産之忌明迄ハ、夫之方より扶持可相渡、男子父に付女子は母に付作法たりといへとも、是ハ其身上によるへき事。

一、山林不荒様に仕、何之障りもなき所ハ松苗を植立へし、池川井床不叶入用之竹木有之者役者へ相違可申請、私として不可伐採、若私用に竹木於盜伐者曲事たるへし。山林下刈之義ハ可為如前之事。

附百性屋鋪廻り之竹木猥伐採商売致すへからず。自分屋作等不叶入用之節ハ郡代代官江子細を相違可受指図事。

一、神社佛閣境内山林私として不可伐、荒修理造營

之時ハ奉行人之可任差凶事。

一、池川堤并川除毎年春中入念可加修復、時節過たり共堤川除普請之義者郡代より下知次第無滞可勤之、水出之節川有之村々ハ早速懸集可防之、破損之所有之ハ委細相改郡代へ可令注進、池川之堤松苗を植、或柳をさし葭萱を仕立堤のかこひを拵、常々疎略に仕へからず。不沙汰之村在之ハ曲事たるへき事。

一、所々川上左右之山にて草木之根を不可掘取、連々木苗を植付池川へ土砂不流出様に可仕之事。

一、武庫川神崎川之堤樋前等弥以常々無油断心懸、洪水之刻ハ前々より定之村より庄屋年寄人足召連罷出可防之、令油断ハ可為曲事。

一、博奕賭之諸勝負堅令停止之畢。若違背之輩あらハ可為死罪、尤宿主同罪たるへし。自然密々に寄合相背もの有之ハ訴人に出へし、同類たりといふとも其科をゆるし、為褒美白銀廿枚遣し且あたを不成ように可申付之、身躰宜敷者無其子細俄に令微力族、又ハ商売之かせきもなく他所徘徊いたし日を送もの不審たるの間、其村之庄や年寄無油断

心懸ケ可遂吟味、乍存隠置におゐてハ可為曲事

附町人百性之手代於先々博奕傾城犯いたし無其品、主人へ大分之損銀かけ候ハ、申出へし。急度遂穿鑿仕置可申付事

一、盜賊悪党人有之ハ早速出合可捕之、山林にかゝまり百性として擲捕事於難成者押置早速注進申來へし。不可致見逢事

一、於在々鉄炮を打殺生等仕事堅停止たり。若於相背者曲事たるべし。若他所より忍ひ來り相背もの有之ハ早速可捕來事

一、往還旅籠屋之外於在々旅人に一切不可宿借、但商人其村にて兼て存知之者ハ可為各別、行衛不知もの堅宿借へからず、手負人來らハ宿を借置告來へし。兵庫近所は彼地之奉行え早速可相達事。

附いつれの村茶屋等に到迄遊女野良之類堅不可拘置、令違背ハ急度曲事可申付事。

一、領内町在々に武士之浪人堅不可差置、親類縁者難逃子細之者は郡代代官相伺、差凶之者は居住致さすべき事

附於町在慥成請人なき者借屋に差置ましき事。

一、火之用心常々無油断可入念、火付人あらハ早速可捕来、見逃聞逃に於仕ハ後日に聞といふとも曲事に可申付事。

一、於領内在々相撲、かぶき、あやつり、何によらず芝居をいたし見せ物仕事先規より停止たり、今以可相守此旨事。

一、軍役亦他国へ 上使之時分、高百石に疋疋老人之積、其外 公義御普請先規之通たるへき事。

附人多入用之時分ハカリ在家、田地無之百性家中へ相拘切米其年積を以可相渡事。

一、在々御領私領いつれの所にてても、自然雜説を申致騒動義有之といふとも、領分之義は町在々に到迄、此方より不相触以前は穩便にいたし罷在へし此旨於相背ハ可為曲事。

一、喧嘩口論堅停止也。若相背族有之ハ如御法不無理非双方可為死罪、殺害人令遂電ハ其一類村中として可尋出之、荷担之者ハ其咎本人よりおもかるへき事。

附旅人他所之者不慮之義有之ハ郡右衛門其所之庄や年寄等罷出子細を承押置可告来、猥大勢不

可出合事。

一、国役御普請并參勤之次馬五十疋分在々へかゝり銀郡右衛門令割荷相触、其年之割方書出し代官へ可相達 公役并自分之役義たり共、定之外新儀をかけハ可申出、惣して在々一割かくる入用ハ郡右衛門入念可令吟味、猥之義有之ハ吟味之上郡右衛門可為曲事事。

一、村々年中之小入用多無之ように庄や年寄常々可入念、免割勘定宗門改之節其外用事に付て寄合之刻八木酒肴喰費猥に入用多かけ非分之義致におゐてハ、庄や年寄曲事たるへし。然上ハ隨分其入用をばぶき無費様に可仕事。

一、毎年究状村中之者百性令披見、免割無高下割付年中入用之趣注帳面、小百性末々迄も無不審様に立会勘定いたし、以来出入なき様に仕へし。若庄や年寄背此旨ハ可為曲事事。

一、検見、池川堤見分又は検地等に差遣役人ハ如前々村次かこ人足等可出之、其外証文なくして村次人足堅出間鋪事。

附不叶子細有之而賃銭を出し人足雇候義は可為

各別事。

一、在々へ用事に付而罷出役人いづれたり共、馳走音物一切令停止畢。若背此旨ものあらは急度仕置申付へし。木錢之義は其人數に応し定之通無相違可請取之事。

附諸奉公人在々へ罷出致狼藉難題申懸ケハ早速可申出事。

一、郡右衛門ハ在々へ申觸儀相背へからず、不依何事郡右衛門へ不申届、私之義あらハ庄や年寄曲事たるへし。若又郡右衛門庄や地下へ対し非分之義有之ハ申出へし。其品により遂吟味可申付之、然共道理難立義於申立ハ可為罪科事。

一、郡代并代官申渡仕置之趣無相違相守、尤村中江觸渡義は小百姓末々迄申聞せ、面々可存其趣、若令違背ハ曲事たるへし。且又在々へ之用事郡代代官より不申觸義は許容有間敷事。

右條々隨先制之趣損益之相定訖。堅可相守此旨若於有違犯之輩は、或死罪或籠舍追放糺咎之輕重可處罪科者也。

貞享二丑年十二月日 播磨 御印判

覺

一、毎年檢見之儀、御手前之役人に郡右衛門ハ其年之立毛明細遂吟味、納所申付上者少茂無滯可令納所、若令難澁もの有之ハ其當人は不及申、其村之庄屋年寄可為曲事、其組之郡右衛門ハ無油断可申付事。

一、年貢皆済無之以前米商売不可致之、若相背候ハ其売人并庄や年寄迄曲事ニ可申付、尤皆済以前借銀借物之方へ米一切不可遣之、自然押取もの有之ハ、急度仕置に可申付事。

一、年貢取立候義、庄や年寄前方より無油断吟味、其年之内に皆済候様に可仕候、令油断納所相滯申わけ不立におゐては、庄や年寄可為曲事之事。

一、年貢其百姓之分限に不応、高未進仕候ハ、庄や年寄及曲事、勿論庄屋之未進を村中之未進と名付、代官を申掠候ハ、可處嚴科事。

一、代官未進人別吟味之節、百姓面々に持高相違を書出し押掠候仕方於有之ハ、庄や年寄当人共に急度可處罪科事。

一、給人へ納候年貢米、御藏へ納候通可入念、若相背不届之仕形有之ハ仕置可申付事。

一、在々へ拝借之種子かし夫食かし其外御かし物、年々定之通無滞可令上納事。

一、村々に年貢無沙汰にいたし村中之厄介ニなり我儘なる百姓有之ハ、田地を取上入百姓可申付候間、其様子可申来事。

一、年貢未進有之百姓致欠落候ハ、公儀如御法或可被 仰付、然共代官并郡右衛門ハ庄や非分有之ハ尼崎へ申届、皆済之後其身覚悟次第可仕事。

一、他領未進負之百姓欠落いたし、御領分へ来候ハ、不隠置、郡代代官迄可告来事。

一、百姓常々なかまの振廻可為停止、祝言官途元服子ひろめ屋移之祝義、祖父母両親兄弟伯父甥従弟賀舅小しうと之類寄合候共、かるく一汁一菜酒乱酔に不可及、其外村中之者集り振舞可為無用、勿論祝義之取遣一切不可仕事。

一、衣類之義郡右衛門其外庄や身上宜敷者に至迄、絹細布木綿之類着之、其下之百姓ハ木綿布類之外かたく不可着之、妻子も同然たるへし。但出家禪

門医者之義は有合候衣類心次第たるへき事。

一、村々におゐて小入用多からざる様に庄屋年寄可入念、然上ハ宗門改之節又ハ年貢勘定免割諸事庄や宅へ会合之刻、大勢寄合酒肴を調喰費候事堅不可致之、面々宿にて致支度罷出入用無之様に仕事肝要也。向後背此旨入用多かけ候義有之ハ、吟味之上、庄屋年寄仕置に可申付事。

一、年貢納所其外御用に付而、郡右衛門并庄や年寄尼崎江罷越刻、当地之宿にて酒肴店屋物等相調給候事堅停止之、在所より飯米持參、木錢を払入用無之様ニ輕可致之、若相背入用多村中へ割かけ候にをゐてハ曲事たるへし。此段別而郡右衛門遂吟味委細帳面に記置候様に可仕事。

附郡右衛門庄や年寄用事相仕廻候ハ、無逗留早速可罷帰、尤右之面々尼崎へ罷越候節、百姓迎に罷越候義かたく停止之、若相背におゐてハ可為曲事。

一、村々免割年貢差引勘定帳小百姓不殘致合点候様に庄や年寄入念相仕立、向後其勘定之帳面年切に庄屋年寄小百姓迄判形いたし代官へ見せ置へし。

吟味之節此旨相違有之ハ庄や年寄可為曲事。

一、村々小入用之儀少たり共、其日々々に入念帳面に付置、其節立会之輩判形を加へ置、年々暮に惣百姓立合致勘定、尤其帳面にも庄や年寄小百姓迄致判形代官へ見せ置可申候。相背にをゐてハ是又前に同然可申付事。

一、御困役御普請之懸り銀并御參勤之節御伝馬かゝり銀其外郡右衛門方より其組へ割符銀之事可入念、若違背之義又ハ非分之割かけ仕におゐては、郡右衛門曲事可申付事。

一、宗門改池川堤普請等之時分其場所へ罷出、郡右衛門并庄や年寄面々脇桶を持參可仕、村々より弁当持はこひ馳走を受候義有之ハ曲事たるへし、郡右衛門ハ庄やかこ乗物に乗候事停止之、但病人養生等に罷越時分ハ可為各別事。

一、在々江御用に付罷越候役人衆、いつれに不限音物馳走一切仕問敷候、若相背候ハ、其村之庄や年寄可為曲事、面々召連候下々不作法之義有之ハ少茂不隱置目付中迄可申出事。

一、在々へ遣候歩行目付、山廻り足輕目付、鷹匠鳥

見之者、此方より食焼中間差遣飯米(味脱カ)塩噌持參之上ハ、在々におゐて仕出し飯堅不可仕、湯水之外一切馳走不可致之、於相背は其宿主并庄や年寄迄曲事可申付事。

附何ものによらず百姓へ金銀其外何にても無心申かけ候共、少茂許容有へからず、難題申懸ケ候ハ、早速可申出、隱置候者可為曲事事。

一、郡同心之儀は前々之通在々にて、仕出之飯可致之、尤兼而御定之通、もり切飯水汁之外何にても一切馳走仕へからず、若食物を代銀にて可請取と申候共、堅相渡し申問敷候、無心難題申懸ケ候ハ、是又不隱置、早速可申出事。

一、かるき奉公人在々にて田畑出作仕もの人足牛馬雇候共、一切かすべからず、日用賃相応に取相對之上被雇候儀ハ可為各別事。

一、御家中何ものによらず百姓を頼買物いたし、代銀滯令難澁輩あらハ可申来事。

一、宿次人足之事、年寄用人并郡代町奉行本代官之外相勤問敷候、兵庫奉行より注進之宿次ハ無滯可出之事。

附鷹匠餌刺殺生人送り鳥之儀ハ其断次第尼崎へ
可送届事。

一、在々へ御用之節罷出候役人、自今以後御条目に
有之之外駕かき荷物人足不可出之、不依何事人馬
之義年寄用人証文郡代本之差紙之外一切不可出
之、自然不叶子細有之歟、又ハ往還筋にをゐて旅
人並に賃錢を出し雇候儀ハ可為各別事。

一、一村に郡代代官より定置候庄や年寄之外、居年
寄又ハ庄や筋たり共、役義平百姓並に可相勤義勿
論之事也、尤懸り物小百姓並に割符可仕事。

一、在々所之池川堤年々百姓願之通、修復被仰付候
所、普請に申付候場見分之役人差函を背疎略に仕
候歟、且又堤之根を切かき田畑をひろげ候歟、堤
之芝をおこし取候儀於有之ハ、其村々庄や年寄急
度曲事に可申付候間常々可入念事。

一、所之池川井溝之樋、年々或加修理或新樋に申付
候百姓入目不懸と存、成次第に仕差置戸前立木等
に至迄疎略に仕候ハ、庄や年寄曲事可申付事。

一、在々池川普請之節召仕候人足扶持方之儀、其当
座に相渡候様に役人江被仰付置候、然上は、早速

請取、其人足へ可相渡候、私之儀有之ハ庄や年寄
曲事可申付事。

一、川除杭木流杭井関之竹木百姓不盜取様に可申付
若致油断成次第に仕置候ハ、其村之庄や年寄曲
事可申付事。

一、山林諸木為御用伐出候分、早速山廻り之もの伐
かぶに極印をうたすへし、何方にても杭木杭木土
木池川樋前入用之木共、且亦百姓願に付而伐渡候
木共、是又山廻り極印うたせ可申事。

附水出之刻川を拘候村々水防之ため諸木伐候ハ
、其木数奉行へ致注進改に逢、且又山廻り之
極印を取可申事。

一、在々に火事有之ハ其村之ものハ不及申、近郷よ
り早速かけ付可消之、尼崎へ注進之儀は其近所之
村より可申越候。火の本之儀兼而無油断庄や年寄
風吹候時分は村中打廻り、末々迄入念申付へし、
灰屋へ入候灰之義家之外にて一日一夜宛さらし置
其後灰屋へ入候様に可仕候、不念にいたし候ハ、
可為曲事。

一、自然尼崎火事有之ハ前々より御定之通無相違、

尼崎近所之村々人足庄や年寄召連早速かけ付、役人差図に随ひ相働可申事。

一、他所へ差遣候年季之男女奉公人、年季明在所へ帰候節ハ、其人を召連代官江罷越可相断、先にて其者相果候ハ、親類庄や年寄念を入様子可聞届事。

一、年季奉公に罷越候もの、先にて出世いたし、手代に成妻子を持候者は代官へ相断へし。奉公に遣候者無断先々にて、私として有付候ハ、可召戻事。

一、御領分在々百姓之子共、他所他領へ養子縁付に遣候義、其村之庄や年寄其組之郡右衛門へ相達、家督相統之せかれ之外末々子供ハ勝手次第に可仕事。

附他所他領へ遣候もの、分ハ、郡右衛門ハ所に留書仕置、一ヶ月切に代官へ書出し本帳に相記可申事。

一、御直中間御家中奉公可仕躰之小百姓之せかれの義ハ、猥に他所へ遣間敷候、然共子細有之者ハ代官へ相達可受差図事。

一、子共に家督相渡他所へ引越隠居仕度と申もの有

之といふとも、代官より無差図して遣間敷候事。

一、在々より罷出る家中男女奉公人切米之事、男ハ上之奉公人金子式両式歩、其次ハ相応に相对次第たるへし、半季居女給夏ハ廿五匁、冬ハ三拾匁、はた織茶之間女ハ夏冬共に三匁増可遣之、是より多望者は曲事可申付事。

一、他所より来奉公人、親類縁者知音之外尼崎領之もの人請に相立間鋪候、御家中へ出候他所奉公人之請に頼候共、親類縁者ハ各別其外之ものハ堅相立間敷事。

一、親之儀絶に逢候もの有之ハ、其村之庄や年寄へ相届帳面に可付置事。

一、在々へ他所より罷越、博士手習教針立出家術師之類、一兩日逗留居住を不定方々を渡りありく者有之は、子細を承届尼崎へ可令注進事。

一、在々に妻子も無之者又ハ女一人もの、他所より来り可罷有由申といふとも、少之内も不指置追払可申候、尤比丘尼在々にかこひ置間敷事。

一、在々神社佛閣建立奉加并座頭官錢等之義、其氏子且那座頭へ志有之者は心次第たるへし、然処村

切村並に奉加を廻し庄や年寄村中江割かけ出させ候儀など有之ハ仕置に可申付候事。

覚

一、鉄炮之儀ハ不及申、はりさしもち繩にても諸鳥殺生致もの有之は捕来へし、御扶持人之餌さしハ札を令持參候之間、其改致すへき事。

一、御鷹野其外在々御通之節も農業相勸候百性牛馬荷物に致迄一切無構相勉候様にと被 仰出候、可存其旨事。

一、在々諸役義并前々より御免之品々、去年子六月被 仰出郡代より書付相触候趣は、其条目を用可相守事。

右條々若違背之輩於有之は、隨其咎之輕重急度御仕置可被 仰付旨被 仰出之間、此旨堅可相守者也。

貞享二丑十二月日

佐治八郎大夫

原平太左衛門

朝比奈藤兵衛

堀尾 外記

小出弥左衛門

一、切支丹宗門御制禁之御高札村々に建置通急度相守、庄や年寄五人組常々無油断可相改之、不審成もの於申出者、公義御褒美之上自分よりも一倍之ほうひとらせ、其上其身一生五人扶持可申付之間不隱置可申出事。

一、五人組なかま祖父母父母妻子等之年忌命日弔法事等不仕もの、宗門あなたこなたへ取またき、旦那寺不究もの又ハ伊勢講などにも不入、其身の宗旨之法にもたがひ、少たり共珍敷おこなひ有之もの心を付可令吟味事。

一、御領私領入組近在之村々に人を集め珍敷法をすゝむる義有之ハ、何宗たり共早速可告来、且又領内之輩他所ありきいたし佛法に志候もの入念可改之事。

一、宗門改付而相定り有之、組合之村々庄や年寄百姓なかま相共に申合、無油断相改少成共疑敷もの有之ハ申出へし、宜令褒美隱置脇よりあらはるゝにおゐてハ、急度可処嚴科事。

一、他所より來旅僧又ハ俗人たり共、ひそかに佛法をすゝむるものあらハ、押置早速可申來、左様之もの宿かし置逗留致させ候もの有之ハ、是又可申來、親類縁者にても無之に由緒もなく、金銀をくばりあたふるもの有之ハ心を付可遂吟味事。

一、不見届躰之者、出家医師俗人こも僧何者によらず、在々に一夜之宿も不可借之、宮寺之庵室山守人遠き所度々にあらため、他所もの不差置様に、其村之庄や年寄無油断可申付事。

附商人之躰にて在々を廻り商も不仕ものは、先々へ申通可送出事。

一、在々所々里山方共に、道心者坊主居住いたさせましく候、所住人之道心者は郡代代官へ披露受指図可置之、私として住居致させ間敷事。

一、他国より在付に來ものは、其国所親先祖をも承届代代官へ相達、入念請人寺請を取住居致さすへし。所之もの請人に立候ハ、下請を取指置へし。下請無之者は差置間敷候。勿論作人歟、又ハ其村ニなくて不叶職人ハ役者へ相達可受指図、居住已後ハ早速五人組を加へ宗門に心を付可相改、不念之義

仕におゐては、庄や年寄曲事可申付事。

附借屋之もの改之義右同然たるへし。諸事可入念事。

一、他国もの養子入智いたし候共、其国所親兄弟有無を吟味宗門を承届、其村之庄や年寄へ相断、寺請并肝煎人より証文を取呼入へし、縁組致し候とも先々宗門承届可取結之、不念之義仕におゐてハ其当人急度曲事庄や年寄も可為越度之間、入念可申付事。

一、年季一季居之奉公人召拘候共、宗門入念承届、切支丹宗門にて無之と書加へ、寺請請状を取可召拘事。

一、在々寺院之住持隱居出寺死去等に付而、後住之僧指置候義、其出家之師匠并国所先祖親兄弟親類請入念承届、其上にて郡代代官宗門奉行へ伺可任指図、私として相究間敷事。

一、右後住之出家致入寺候節、本寺之証文、其出家之由緒書、請人之手形、師匠之証文、其村之庄や年寄手形相認役者へ持參、其上にて入院致さすへし、証文不相調内に入院為致候ハ、庄や年寄可

為曲事。

一、寺院之出家致隱居義も役人へ相達可受差図、弟子に後住を讓候者其旨前廉役人へ申達指図次第に致へし、私として隠居いたし後持をも相問敷候是又、其後住に成候出家之証文脇より入院之者同然相調可出之事。

一、寺院之住持致出寺候ハ、前廉其子細役人江相窺指図之上、出寺手形を致し可立退事。

一、堂守宮守に指置候坊主入庵吟味之儀前同断、是又証文仕へし、所之任人たり共堂守宮守に成候節ハ、役人へ相窺指図を請べき事。

一、在々所々本道外科之医師針立并博士手習教之類郡代并代官江不相窺して、堅指置間鋪候、住居望候医者有之ハ其師匠を吟味、尤古郷親類宗門等之儀承届、由緒書又ハ寺請請人を取、奉行へ受指図可為致、住居下として指置候におゐては、庄や年寄曲事、其組之郡右衛門も可為越度事。

一、領分之内にて住所を替在付輩之儀ハ、其村之庄や年寄手形を以可差置事。

一、宗門を替候もの村々に有之ハ、其子細を庄や年

寄五人組なかまへ申届、郡右衛門へ相断、其上にて代官江申達、郡代宗門奉行へ披露いたし改宗仕へし、此旨背者あらハ急度仕置に可申付事。

一、村々に年わかき後家借屋に指置間敷候、然共其所に親兄弟有之者は各別たるへし、并家中に奉公いたし罷在暇を取夫婦共に引越候ものハ、窄人有付に候間、請人下請を取可指置候、致奉公罷在候内在方之女と夫婦に成、其縁に随ひ引込者之義、他所より有付もの同然に古郷親類之様子承届、寺請請人髓に取之代官へ伺可指置事。

一、先年宗門ころひ之者、其一類所々に預置候もの無断他国へ遣候ハ、其村之庄や年寄曲事たるへし、不叶子細有之ハ役人へ相達可受指図、右預り之もの相果候節ハ早速注進検使を乞可取置事。

一、領分より他国へ上下いたし渡世を送もの、妻子以下迄宗門請負判形其旦那寺可仕候、身躰ともかくも仕候ものは、毎年在所へ罷越判形致へし、其外之者は江戸屋敷へ罷出宗門判形可仕候事。

一、宗門改之節隠人仕へからず、若耆人たり共隠置後日に令露頭ハ其当人ハ不及申、庄や年寄急度可

行罪科事。

一、寺院之住持常々巨方之ものに心を付、疑敷もの於有之ハ入念相改之、他所より弟子拘候ハ、其者之國所親類根本之宗門をも承届、寺請并請人を取其上にて役人江申達可相拘之、下人召置義も入念改可召拘事。

一、宗門改之義付而、切支丹奉行郡代并代官申渡義少茂違背仕間敷事。

右條々可相守、此旨若令違背者可処敵科者也。

貞享二丑年十二月日

覚

一、從 公義先年被 仰出候浦邊御高札之趣、無相違可相守事。

一、公義御用之次船不限昼夜無油断可相勤、若少茂於相滞は可為曲事事。

一、於浦々風烈節、公儀之船は不及申何國之船たり共、及難儀刻ハ其浦邊之村より早速助船を出し相かこひ、船不破損様に可入情、成次第にいたし罷在候ハ、庄や年寄可為曲事。尤令破損ハ早速尼崎へ注進可申来、但兵庫近所ハ彼地之奉行へ可致注進事。

一、破損船有之節荷物舟具入情取揚、御定之通分一請取之双方申分無之旨手形取替すへし、分一之外礼物取へからず、自然荷物舟具末々に到までかくし置置あらハ其当人は不及申、庄や年寄曲事に可申付、勿論盜取ものハ可為死罪事。

一、浜近き村たりといふ共、浦之働不仕所之ものは、破損船之節浜江罷出間敷候、若人足入用之節庄や年寄より断有之ハ、無遲滞罷出へし、背此旨狼罷

出荷物船具取かくし候もの有之ハ急度可処齟科事。

一、御城米積候舟に乗候船頭水主、何時も積候舟道具入念相改、少茂不沙汰に仕間敷候。領内より被雇罷出候船頭水主於船中悪人と致一味候ハ、死罪可申付事。

一、沖にて荷物をはね候船着岸におゐては、其浦邊之もの船頭水主と申合不仕、住吉より東は尼崎へ注進、同所より西ハ兵庫奉行へ早速注進致へし、船中之義代官船奉行其所之庄や立合入念相改浦手形出へし、不審於有之ハ手形出間敷事。

一、日和よきに永々湊に船をかけ置候ハ、御条目之通申渡、猶も出船不仕候ハ、是又兵庫当地へ注進致へし、令油断ハ庄や年寄可為曲事事。

一、より船荷物并船具流來候節入情取揚、庄や年寄記目録郡代へ出し置、御定之通相待半年過迄荷主不來候ハ、取揚候もの可取之、夫過荷主尋來ハ其様子承届、奉行へ伺可任指図、然処ニ荷物以下取込かくし置候ハ、遂穿鑿急度仕置に可申付事。

一、浦邊におゐて見なされる不審かましき船又は小船にても、日本人に無之跡之もの乗居候を見かけ

申におゐてハ、其浦之庄や年寄早速出合改押置可告來、若又無承引於致出船は、跡をしたひ落居を見届可申候、油断有間敷事。

一、領内浦々之船には前々より定之通舟印可立之、船印不立船於有之ハ、其船闕所に可申付候、但狹船以下之小船ハ舟印立に不及事。

一、領内之廻船諸国へ罷越時分、船頭水主於先々に御法度之旨堅相守狼藉不仕様に、兼々船主并其村之庄や年寄入念可申付事。

一、浦々より他国江罷越男女幼少之子共以下大勢舟に乗せ候浦有之ハ、其組之郡右衛門へ申届可受指図、私として乗せ参間敷候、大阪堺より乗せ罷候ハ、其国之藏元留主居之手形を取、人数を改可申候、若御藏所へ罷越者は其国之御代官之手形を取へし、又ハ大阪堺に住居無之ハ其人宿問屋之手形を取へし、若於相背ハ居船頭并沖船頭水主等迄急度仕置可申付事。

附水主雇候もの有之共、拾人ニ過ハ郡右衛門へ相届、代官へ相伺可任差図、大分運賃を出し雇候ものあらハ、早速郡右衛門庄やへ申聞、代官

へ伺可受指図、私として於罷越は可為曲事事。

一、神戸二茶屋廻船荷物石高從 公儀御定之石高之外大船堅仕間敷候、并上荷船之儀ハ兵庫石積を以可致所持候、上荷船唯今迄有来外猥多仕間敷候、

此上荷船之義は兵庫奉行之可受下知事。

一、右両村にて他国船之間や唯今迄仕来候外新規に不可致之、若於背者其問屋は死罪庄や年寄迄曲事に可申付事。

一、沖中に舟をかけ置半途より他国之もの乗おろし仕間敷候、勿論荷物等沖にて上荷を取候儀堅令停止事。

一、廻船之運賃大阪を承合私無之様ニ可仕事。

一、西宮より渡海之船運賃押領を申かけ猥に取へからず、於相背ハ可為曲事事。

一、難目筋浦々商船召船獵船に往還之旅人其所より一切不可乘之、雖然其村之近所百姓用事有之、大阪へ渡海仕義は各別たるへし、勿論運賃猥に不可取之事。

一、東須磨西須磨沖にて破損船有之節は、如前之両村より人足出し、荷物船具手形之判形も立合可致

之、尤東須磨村は浦役不相勤所に候へ共、從先規兩村相對にて右之通勤来上ハ弥以可為其通、雖然浦役にかゝりたる義は任先例西須磨村より可相勤事。

右條々任先規法度之趣所申出之堅可相守、此旨若違犯之族於有之は、隨咎之輕重急度可処罪科、仍如件。

貞享二丑十二月

覚

一、公儀御国役御普請、高百石に付五人懸銀子を以御奉行衆江可出之事。

但其以前不作之節、三四年之間為御救国役人足代銀從 殿様被下置之事。

一、御參勤伝馬銀繼馬五十疋分出之、御帰城之節は其已前より不被付候事。

但其以前ハ繼馬通り馬日用人足賃銀共に出し候得共、達 御耳先年御赦免、唯今繼馬五十疋分

被仰付候、海道駄賃増減有之節ハ御役人より御触次第其旨を可相守事。

一、在々納繩、古来より足代繩五千筋、中繩千束、細繩三拾束納候処、先年被遊御用捨 御城御普請之

御入用大積中繩七百束、足代繩三千筋程近年相納候処、今度亦御用捨被 仰出候之条、足代繩弐千

筋、中繩五百束、細繩拾五束向後可出之、御城廻御普請多き節は致其時可被仰付事。

一、千石夫御先代之通たるへき事。

一、御鷹餌丈、御先代戸田左門様御時分より出来内、

一先年半分御用捨、亦此度三拾疋御用捨六拾疋に被仰付事。

一、御中間給米、御馬屋之者弐石八斗、御長柄之者弐石七斗、並中間ハ弐石五斗、但長柄並中間共に在江戸之節は米弐斗宛増給被下之事。

但未進負御中間ハ一年季弐石四斗、二年季四石四斗四升、三年季六石三斗先年より御定に候、右御切米取中間下として少たり共、懸り物取候

におゐては死罪被 仰付兼而御仕置に候、其段在々にも可存事。

一、戸田左門様御代より納来ル御馬飼料藁弐万千九束、糖弐千六百六拾俵之内八百八拾七俵先年被遊

御用捨候、此度御馬数減少ニ付右藁之内三千束、糖三百俵又被遊御用捨候、自今以後右之積を以村々へ割符可仕候、重而御馬数かさミ申節は、到其時可被仰付事。

一、御家中馬持之分、馬一疋藁弐百五拾束、糖三拾俵在々より出し来事。

一、正月鰯藁五月まこも差上候儀は、向後其時々ニ御祝可被下之事。

一、石切運上從古來出し來候得共、達 御耳御赦免
被 仰出候事。

一、在々池川普請人足、一日老人ニ七合五勺宛其時
々に御扶持方被下之事。

一、山林之枝伐申時分、一日老人ニ七合五勺宛其時
々御扶持方被下之事。

但二十ヶ年以前より御中間にて御薪伐舟出をも
被 仰付、百性御用捨被遊候、乍然向後手支候

節は百性に被 仰付儀も可有之候、其節ハ御代
官より可相触候事。

一、在々宿次之御扶持方常々被下もの五ヶ所ニ九人
七月極月兩度ニ御扶持方被下候事。

一、諸大名方御通り西宮より注進飛脚定宿次之外ニ、
御扶持方七月極月兩度ニ被下之、兵庫西宮寄馬飼

料馬借之者へ小糠被下之、米高直之節御用捨ニ候、
近年八木下直ニ成候条先規之通可相勤事。

一、切支丹宗門改之節、入用多候由達 御耳、墨筆
下帳清帳之紙近年被下之事。

一、郡右衛門庄や年寄御用之時分、当地へ被 召寄
節、逗留之日數ニ応し御扶持方七月極月兩度ニ被

下之事。

但公事詔御藏付ニ罷越百性并自分之用事ニ參
節ハ不被下之事。

一、崑陽井懸り村々へ掛り銀從 殿様被下之事。

一、兵庫へ被成御座節、御供駕籠宿繼、半駕籠賃被
下之由被 仰出事。

一、檢見役人荷物古來より村送ニ仕來候、是ハ先規
之通可相勤事。

一、御用被 仰付在々へ罷出候給人中小性扶持方、
諸色手前より持參、木錢一泊上は拾式文馬同然、
下ハ一人六文宛其時々相渡事。

但前々ハ荷物等百性村送ニ致候へ共、近年御用
拾御自分小荷駄或御中間にて付送いたし候事。

一、輕き役人御足輕在々へ罷出節ハ、扶持方諸色此
方より持參、木錢御定之通其時々相渡事。

一、在々へ罷出郷同心町同心之仕出し飯黒米式合半
朝夕兩度水汁之外、酒菜先年より堅御法度ニ被仰

付候、於致馳走ハ御扶持人ハ死罪、宿主ハ百日之
籠舎可被 仰付候由被 仰出候事。

一、御扶持人仕出し扶持方向後七月極月二季に、急

度相渡様ニと被 仰付事。

一、給人其外輕キ役人在々へ御用之儀ニ而罷出節、先々ニおゐて百性一切不召仕御仕置ニ候条堅人足出問敷候、相背者有之は不隱置可告来事。

一、諸侍輕キ御扶持人に致迄、在々郡右衛門庄や年寄或ハ身を持候百性へ金銀之無心申者候ハ、不隱置向後可申出、若脇より相聞候ハ、借銀可為損亡事。

一、堂宮建立奉加之儀、其村又ハ外ニ而も氏子ハ各別、組切村並之奉加猶以停止に可申付旨被 仰出之事。

一、百性隱居或ハ家督相渡候節、田畑かふわけ拾五石已下之百性高式ツニわけ候事堅停止、山方浜方之働有之百性ハ高拾石以下式ツニわけ候事無用、尤高持百性かふを式石三石わけ遣問敷候由今度被 仰出候、此旨急度可相守之事。

一、先年より百性婢取并官途元服子ひろめ之節、掣舅忌懸り候者之外祝義之取遣ハ不及申、寄合振廻堅御法度ニ候、猶亦改御停止被 仰付事。

一、百性上下によらず御当地へ參時分、日帰之所ハ

逗留無用、郡右衛門庄や年寄御用之節尼崎へ罷越町宿におゐて酒肴其外店屋物調給村中へ割懸申におゐてハ、小入用帳面を以吟味過料可被 仰付候、此御法度先年も被 仰候事。

戸田左門様御代より有来在々役義從 殿様、先年段々御赦免被遊候品々

一、たゞみこも、 すすわり、 山かや

一、澁柿、 麻から、 くさ木の葉

一、大阪御売米藏出し人足并上乘之百性

一、大阪御藏仲衆賃米

一、在々杣木代、灘目石車運上

右之分御赦免被成、従先年役義不相勤候へ共、末々之百性取またかさる様にと今度書付令知之候。

右ヶ條之趣庄や年寄末々小百性共迄致承知、以来双方申分爲無之、此度委細書記出之候。向後新規之懸り物触来候ハ、御代官江相窺可任指凶候、押たまり罷在以後於申出者可為越度旨被 仰出候条可存此旨者也。

貞享元子年六月日

坂田又右衛門

平松次大夫

條々

一、毒藥并にせ藥種売買之儀弥堅制禁之、若於商売仕者可被行罪科、たとひ同類たりといふとも、訴人に出る輩は急度御褒美可被下之事。

一、にせ金銀売買一切停止たるへし、自然持来におゐては両替屋にてうちつふし、其主に可返之、并はつくの金銀にせ金銀は金座銀座へ遣し可相改之事。

附にせ物すへからさる事。

一、寛永之新銭金子壹兩に四貫文、勿論壹歩には壹貫文、御領私領共二年貢収納等にも御定之員数たるへき事。

一、新銭之儀、いつれの所にてても御免なくして、一圓不可鑄出之、若違犯之輩有之ハ可為罪科事。

附悪銭似銭古銭此外撰へからさる事。

一、新作之槌ならさる書物商売いたすへからさる事。
一、諸色の商売或一所に買置しめ売、或申合高直にいたすへからさる事。

一、諸職人申合作料手間賃等、高値にすへからす。

惣而誓約をなし結徒党儀可為曲事事。

右條々可相守、此旨若違犯之族於有之者可被処斷科者也。仍下知如件。

天和二年五月日

奉行

右之趣被 仰出候間、領内之輩急度可相守者也。

戌

六月日

大膳

定

一、忠孝をはけまし夫婦兄弟諸親類にむつましく、召仕のものに到るまで憐愍をくハふへし。若不忠不孝のものあらは可為重罪事。

一、萬事おこりいたすへからず。屋作衣類飯食等にをよふまで、儉約を可相守候事。

一、悪心を以て或いつはり、或無理を申懸、或利欲をかまえて人の害をなすへからず。惣而家業をつとむへき事。

一、盜賊并悪党もの有之者訴人に出へし。急度御褒美可被下之事。

附博奕堅令制禁之事。

一、喧嘩口論令停止之。自然有之時、其場へ猥不可出向、又者手負たる者を隠置へからざる事。

一、被行死罪之族有之刻被 仰付輩之外不可馳集事。

一、人売買堅令停止之并年季に召仕下人男女共に十ヶ年を限るへし。其定数を過は可為罪科事。

附譜代之家人又は其所に往来輩他所へ相越在付、妻子をも令所持其上科なき者を不可呼返事。

右條々可相守之、於有違犯之輩は可被処嚴科旨所
被 仰出也。仍下知如件。

天和二年五月日

奉行

右之趣被 仰出候間、領内之輩急度可相守者也

戊

六月日

大膳

條々

一、公義之船は不及申、諸廻船共になん風にあふ時はたすけ船を出し、船不破損やうに成程精に可入事。

一、船破損之時、其所ちかき浦之者、精に入荷物船具等取あくへし。其あくる所之荷物之内うく荷物ハ式拾分一、しつむ荷物拾分一、川船ハうく荷物三拾分一、しつむ荷物式拾分一取あくるものに可遣之事。

一、沖にて荷物はぬる時ハ着船之みなどにをみて、其所之代官下代庄屋出合せんさくをとけ、船に相殘荷物船具等之分証文可出事。

附船頭浦之者と申合荷物ぬすみ取、はねたるよしいつハリ申におゐてハ、後日に聞といふとも船頭ハ勿論申合ともから、ことごとく可被行死罪事。

一、みなどに長々船をかけ置ともからあらハ、其しさいを所之もの相尋、日和次第早々出船いたさすへし。其上にもなんしうせしめハ、何方之船と承

届、其浦之地頭代官へ急度可申達事。

一、御城米まハリの刻、船具水主不足之悪船につむ

へからず。并日和能節船令破損にをみてハ船主沖之船頭可為曲事。惣而りふしんの儀申かけ又ハ私曲於有之ハ申出へし。たとひ同類たりといふ共、其とがをゆるし御ほうひ被下へし。且又あたをな

ささるやうに可被仰付之事。

一、自然より船并荷物なかれ来にをみてハ、あけおくへし。半年過迄荷主於無之ハ、あけおくともから可取之。若右之日數過荷主出来ると云共不可返之。然といへとも其所之地頭代官さしつをうくへき事。

一、はくゑき惣してかけの諸せうふ弥かたく可為停止事。

右条々可相守。此旨若悪事仕にをみてハ申出へし。急度御ほうひ被下へし。科人はつみの軽重にしたかひ可為御沙汰者也。

寛文七年閏二月十八日

奉行

條々

一、先年御預之者夫婦共其外一類帳面之内相果候ハ、其死骸不取置早速郡代吉利支丹奉行へ相届、受検使其上可取置事。若於不相断ハ庄や年寄五人組迄急度仕置可申付事。

一、御預之者致縁組候ハ、兼而如申付此方江相伺可任指図候。若密々にて指越候ハ、急度曲事可申付事。

一、御預之者他所他国に罷越義有之ハ、急度郡代并代官へ相届、其上切支丹奉行へも申来可任差図。下知無之罷越におゐては死罪可申付事。

一、領分在々寺院之住持隠居或は遷化に付而、後住之僧致入院前廉郡代并代官へ相違指図を受、其上本寺之証文、彼出家之先祖書相改請合之者手形を取、郡代代官下知次第可為致入院候。不申届為致入院候ハ、其村之庄や年寄曲事可申付事。

一、宮守堂守之義、前々條可為同然、所之任人たり共堂守宮守改り候節は、郡代并代官へ相伺可任差図事。

一、□村之商人にても無之百性他所他国へ罷越もの
其村之庄や年寄五人組改之、子細を承可差越事。

先々「」逗留仕ものハ罷帰候已後、其子細を可
改候。勿論当分之用事罷出ものは不及改之事。

右之條々自今以後堅可相守。若於致違背は庄や年
寄五人組共に籠舎又ハ依其品、夫々に急度仕置可
申付者也。

戌正月

覚

一、御高札ニ喧嘩口論御停止。自然有之時其場へ猥
に不可出向、又は手負たる者不可隠置事。

右從 公義之御高札に候。町等旅人所之者と喧嘩
口論又は旅人仲間喧嘩有之節は、郡右衛門名主庄
や并馬差此類之もの罷出、子細を相尋押置早速尼
崎へ注進可任下知事。

其内かけちらさる様に可相守候。猥に外より其場
所へ大勢不可馳集。尤旅人と所之者喧嘩口論仕出
候ハ、権高に言之何分にも理非を可相糺候。私
之儀かたく可為停止事。

右者

此本写、本紙上田

有之、何時ニ而茂

入用之節者相見せ

可申候也。

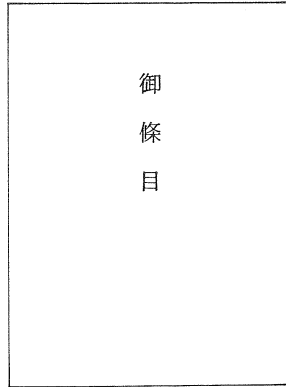
永井

上田

磯野

(表紙)

御 條 目



條々

一、從 公儀被 仰出候御條目御法度之品々堅相守
可申事。

一、公儀御用之儀は不及申、常々申付御用何事によ
らす無油断相務、尤往還之道筋御伝馬人足次飛脚
次船少茂無滞様可仕事。

一、結徒党成誓約儀、 公儀御制禁之間、少分之儀
たりとも一味申合之儀堅令停止之畢。若於他領対

公儀結徒党之儀有之者、早速奉行江可告知ほう

ひ可被下事。

附常々心立悪敷、人の妨に成公事出入等このミ
取持もの有之は、支配人江相知せ可申候。隠置
僉儀之上相頭候ハ、庄屋年寄五人組迄可為越
度事。

一、武士は勿論旅人江対し、無礼非儀之働仕間敷候。
往還宿之儀一人旅人たりと言とも、様子見届宿か
し可申候。欠落もの雲助宿なしの類、惣而行衛不
相知あやしきものに宿借申間敷候。旅人之内無子
細致逗留候もの候は、早速注進可仕候。往還宿之
外在郷ニ而は一宿たりとも庄屋方江相断可任差図、
及ニ宿は支配人江可相届候。若^(手力)負人等宿借候者
借置早速可告来事。

附遊女野郎比丘尼之類抱置候者曲事に可申付事。
一、父母に孝行を尽し夫婦兄弟一族を親しみ、下人
は主にしたかひ可申候。聊法外之働仕間敷事。

一、親子兄弟絶果寄所なき老人小兒等有之者、於其
所憐愍をくはへ可申候。若子細有之候者可申来候。
吟味之上可申付候事。

一、切支丹宗門依為御制禁、先規より毎年度々雖被

改之猶以大切之事候間、庄屋年寄五人組寄合致吟味、少成共疑敷者有之者早速可申出候。邪法に紛於無之者、公儀御褒美之外に褒美可被下候。自然隱置脇より相頭候ハ、五人組ハ勿論庄屋年寄急度曲事可被 仰付事。

附下人等に致まで常々遂吟味、寺請并請人を立可召仕事。

一、新地之寺社縦小庵又は小きはこらにてても一切建立仕間敷候。并他所より坊主山伏祢宜罷越、法儀をすゝめ候共取持留置申間敷候。若又密々ニ法談等仕坊主比丘尼有之候は、早々注進可申候。隱置後日に露頭候は庄屋年寄五人組可為曲事事。

附念佛題目惣而催したる執行仕間敷候。若無抛子細有之者支配人江相達可任差図候。并庚申塚石塔等目たちたる所に立申間敷候事。

一、男女共に他所江罷越、在所之親類方江二三ヶ年茂通路不仕候者、其所之人別はつし可申候。尤其わけ支配人江可申届候。且又從他所参候養子入習、或ハ店借義ハ地借之者請人を取、其者之」(虫喰)」宗門承届、随成者に候者得」(虫喰)」可差置事。

一、五人組之儀町ハ家並、郷村は向寄次第五軒宛組合、五人之内忝人宛頭を立、相互諸事遂吟味可申候。宿之儀は不限屋夜馱馬人足等之役目、自分々々の家業、百姓は耕作念を入役儀等律儀可相動候。五人組之内不屈之仕方有之者異見をくハへ可申候。其儀をも用不申候族ハ注進可申候。勿論妻子店借地借之者、下人等に到まで悪事仕出不申候之様、平生心を付可申事。

一、(虫喰)」寺院後住之出家致入院候節、前々之通本寺之証文、其出家之由緒書、請人之手形、師匠之証文、其村之庄屋年寄手形相認役人之者江持参、其上にて入院致さすへし。証文不相濟内ニ入院為致候は、庄屋年寄可為曲事事。

一、嫁娶之儀分限より輕く可仕候。乗物乗鞍馬停止之、祝儀振舞之儀は一汁三菜を限へし。酒盛無用可仕候。若醉狂之もの有之は急度可申付事。

附水あひせ之儀堅令停止事。
(古来方)
一、より有来候祭礼は輕執行可仕候。其節は役人江申届得差図可申事。

附新規之祭礼堅仕間敷候。且又当分神送成共他

村江送出し申間敷候。他領より送來り候は代官江可伺之、無差函請取申間敷事。

一、佛事葬禮齋非時等に到迄分限より輕可仕事。

一、旅人相煩候は早々医者を招葉を用、病人困所承届、代官所江可申來。若行倒者有之は贖物并年頃委細書付、番人附置早速注進可仕事。

一、鉄炮之儀改置之外一切所持仕間敷候。若隱置脇より相知候者可為曲事事。

一、「(虫喰)」并惡党者有之は、早速馳集からめ捕可申候。力に不及候は取廻置不逃様仕早々注進可申候事。

附堂宮山林野河原に不審成者有之候は追払可申候。若我儘申候者捕置可任差凶事。

一、於往還若旅人喧嘩口論仕出候は、其所之者共出合取扱可申候。若及事手負死人等茂有之候は双方留置早々注進可申事。

一、博奕其外賭之諸勝負令停止之、若相背もの於有之は可為曲事。「(虫喰)」者家屋敷闕所すへし。親懸

り「(虫喰)」は親の家を令闕所、親子共に追放可申付候。但右之旨親類申出候者不及闕所子牢舍可申付

且又身上俄ニ不力いたし其子細茂不見、或ハ商買之業茂なく常に他所に致徘徊、年月を送るもの有之は無油断心付、其品見届可訴之、致不吟味又は於隱置は、其村之庄屋年寄可為曲事事。

附町人百姓之手代、無子細主人江大分損銀を懸候者可訴之。其品に依而仕置に可申付事。

一、百姓家督相続之節、持高割地(虫喰)に「(間力)」敷候。無抛子細於有之は支配人之「(虫喰)」差凶事。

一、田畑売買之儀堅禁之、質地ハ不苦いへとも年数拾ケ年可限之。地主ハ勿論庄屋組頭連判之証文取替せ可申事。

附質地取置候者身上不力いたし又質ニ置候儀、地主江無相對して不可質ニ置候。末々出入に不成様互ニ証文取替せ可申事。

一、田畑家屋鋪質物に置、請返事及延引候節、半年一年之儀は相待、其上不請返候は地主江斷相對之上可究之、地主我意を立滞候は役人方江可訴之、或は地主致死去歟、或ハ令逐電遺跡無之候ハ庄屋年寄相斷、代官之可受差凶事。

一、「(山林力)」野原境目并用水之義、先規之例を以可遂吟

味、理不尽之働仕間敷候。若及諍論候節、刀脇差弓鍬棒之類持集候は曲事可申付候。惣而穩便にいたし相談之上埒明可申候。猶事濟不申候ハ支配人江達し可任差凶事。

一、本田畑之儀は不申及、新田畑新開之地并見取場等改を不請所於有之者、無隱申達改を請年貢納可申候。隱置脇より頭候者、当人は勿論庄屋年寄まで可為越度事。

一、「(虫喰)」出入有之節、大庄屋并庄屋年寄(虫喰)「合心ニ及程念を入、無非儀取扱可申候。内証ニ而事濟不申候者、代官所江訴可申候事。」

附代官大庄屋蠱負之沙汰を以訴取次不申候ハ郡奉行江可訴之、若不道理之儀を以於致越訴は可為越度事。

一、林立山之竹木枝葉成とも一切伐採申間敷候。若盜取申者有之候ハ、捕置注進可仕候。見のかし、聞のかしに仕間敷事。

附百姓屋敷廻り竹木猥に伐採申間敷候。家作等不叶入用之節は、支配之役人江相達可任差凶事。

一、独身之百姓相煩耕作成兼候者、五人組之内より

助合可申事。

一、年貢皆濟無之以前為差引穀物一切出申間敷候。年貢取立之儀、庄屋年寄油断なく致吟味、皆濟可仕候。令油断納所相滯儀於有之は庄屋年寄可為越度事。

附給人江相納候年貢米御藏納同然ニ可念入、不届之仕方於有之ハ仕置可申付事。

一、村々年貢無沙汰にいたし我儘成百姓有之者、田地取上入百姓可申付候間、其旨可相心得事。

一、免定出之節、大小之百姓不殘立合正路に免割可仕候。其上割賦相違無之旨惣百姓より庄屋方江手形取置可申事。

一、百姓之印判庄屋方に預置申間敷候。常々大切に可仕候。若紛失仕候歟、又は替申候者、其旨支配人江断可申事。

附謀書謀判仕候儀、其罪甚重候之条急度曲事可申付事。

一、於在々家作之儀向後輕可仕候。衣類之儀は、大庄屋其外庄屋并身上宜敷者に到まで、絹紬布木綿之類着之、其下之百姓は木綿布之類之外堅不可着

之。妻子可為同然。但出家禪門医者之儀は有合之衣類は制外之事。

一、(村中カ)□□入目出銀之儀、大庄屋并庄屋年寄常々心を

付、懸り物多入不申候様可仕候。年中入目之儀、帳面に委細記置、遂勘定之節は惣百姓立合帳面に判形取置追而出入に不成様可仕候。致不念置におゐてハ、庄屋年寄可為越度事。

一、御国役御普請之懸り銀并御參勤之節、御伝馬懸り銀、其外大庄屋方より其組江割符銀之事、大庄屋并庄屋可念入、若相違之儀又は非分之割□□□□おゐてハ越度可申付事。

一、(虫喰)「」と差置申間敷候。無拋訊有之候者得差凶住宅可為致事。

一、御家中何者によらず百姓を頼買物いたし、代銀合難澁者可申来事。

一、狩人之外鉄炮にて致殺生者有之候は、其村より早速注進可仕事。

一、郷中伝馬人足之儀、郡奉行差凶於無之は一切不可出。若不叶子細有之ハ往還筋旅人並に質錢を出し雇候之儀ハ可為各別事。

一、川除杭木流机井関之竹木百姓不盜取様可申付、油断いたし於令紛失は、其村之庄屋年寄可為越度事。

一、在々池川普請之節、召仕候人足扶持方米前々之通可被下候。然上は高下無之様割賦可致。若私之儀有之は、庄屋年寄曲事可申付事。

一、金銀は不及申衣類諸道具拾ひ物仕候は、庄屋方江断之支配人之差凶まかすべき事。

附惣而あやしき物ふり売、ふり買一切仕まじき事。

一、大庄屋并庄屋年寄百姓に對し、非道成働有之歟或ハ勘定合に私之儀有之候者早々可申達。且又小百姓大庄屋并庄屋年寄ニ對し我儘いたし下知に隨ひ不申候者急度可申付事。

一、寺替宗旨替之儀子細なくして替申間敷候。若替不申候而不叶儀有之候者、以口上書支配人江申達可任差凶事。

一、火之元常々無油断念を入可申候。自然村之内出火之節は、其村は不及申近郷より欠付、大火に不成様(可消カ)□□之。尤尼崎江隣郷庄屋方より(早速カ)□□□□

注進可致事。

正徳二年辰二月

附灰屋江入候灰之儀家之外ニ而一日一夜晒之、
其己後灰屋へ入候様可仕候。致不念之儀候ハ、
可為越度事。

一、自然大阪尼崎火事有之節は、前々御定之通尼崎
近所之村々庄屋年寄人足無相違召連早速翔付役人
差図に隨ひ相働可申事。

一、於領分操かふき相撲堅停止之、并諸勸進物もら
いの類、村中江一切入申間敷事。

一、「(虫喰)」江内縁を以訴詔ケ間敷儀、且又「(虫喰)」取組之
事一切仕間敷事。

一、諸役人江音物之儀たとひ輕き品たりといふとも
堅無用可仕候。且又御用にて、郷中江罷出候節、
馳走仕間敷候。於相背は越度可申付事。

一、他国江或ハ用事、或ハ商に罷越候とも、支配人
江可相断事。

一、男女奉公人他所江出候儀、半季たりといふとも
堅令停止之、若無掬子細於有之者、支配人江相違
可任差図事。

右之條々堅可相守者也。

切支丹博奕触（宝永五・七・三三）

仕上ル一札之事

一、切支丹宗門之者御座候と風聞ニも承申ニおゐて

ハ、早速宗門御奉行様迄可申上候事。

一、面々組合之村中之義不及申上、近在ニ而茂珍敷

法儀執行仕もの御座候と及見及聞候ハ、急度可

申上候事。

一、博奕打其外かけの諸勝負堅仕間敷候。若他所へ

罷越於先々右御法度相背者及承候ハ、毛頭聞の

かしに不仕、郡右衛門迄可申上候事。

附他所者堅一夜之宿為仕間敷候。御領分者たり

共、見届不申候者宿仕間敷事。

右累年春御改之節五人組判形仕指上申候得共、猶

又秋御改証文被 仰付判形仕差上申候。弥組合村

中友ニ申合、前書之通急度相守可申候。若相背者

御座候ハ、不隱置可申上候。自然油断仕脇を訴

人御坐候ハ、私共如何様之曲事にも可被 仰付

候。為後日如件

寶永五子年七月廿三日

文政九戌年三月

五人組御仕置帳

摂州菟原郡

深江村

前條之御ケ條五人組帳前書被 仰付可奉拜見候

則庄屋方へ寫置村中大小之百姓五人組耆人茂不殘

被 仰渡候趣一ケ條宛得心急度相守申候

若此上相背候所御座候ハ、如何様之曲事ニモ可被

仰付候為其連判仕差上申候以上

文政九戌年

三月 深江村

庄屋

茂左衛門 ㊤

年寄

惣左衛門 ㊤

右同断

喜平次 ㊤

百姓代

彦右衛門 ㊤

同断

九郎左衛門 ㊤

高式斗九升五合

治良右衛門 ㊤

高式石式升四合

治兵衛 ㊤

高式石式斗九升七合

六郎兵衛 ㊤

高六升九合

宇平治 ㊤

高壹石三斗九升五合

十三郎 ㊤

五人組

高三斗式升五合

六左衛門 ㊤

高三石五斗三升式合

與左衛門 ㊤

高八石六斗五升四合

久左衛門 ㊤

高三石三斗八升八合

太郎左衛門 ㊤

無高

五人組

平九郎 ㊤

高五石式斗三升四合

仁右衛門 ㊤

高壹石五斗三升

中右衛門 ㊤

高式石壹斗六升八合

佐兵衛 ㊤

高四石五斗四升

勘左衛門 ㊤

高八斗式合

清左衛門 ㊤

五人組

高三石壹斗六升四合

源左衛門 ㊤

高壹石三斗式升式合

利兵衛 ㊤

高壹斗三升壹合

金兵衛 ㊤

高壹石九斗六升九合

忠右衛門 ㊤

高式石九斗壹升八合

善吉郎[㊦]

高壹斗三升

市兵衛[㊦]

高七斗貳升

小右衛門[㊦]

高七石四斗七升壹合

仁左衛門[㊦]

高壹石七斗三升

徳兵衛[㊦]

五人組

高壹斗六升六合

長左衛門[㊦]

無高

常右衛門[㊦]

無高

三良兵衛[㊦]

高拾四石八斗九升

惣左衛門[㊦]

高八升七合

長五郎[㊦]

五人組

高九升六合

六右衛門[㊦]

高貳石三斗六升八合

與次兵衛[㊦]

無高

七兵衛[㊦]

高六石六斗三升五合

吉右衛門[㊦]

高壹石八斗五升五合

善兵衛[㊦]

五人組

高式斗五升六合

半右衛門[㊦]

高三石壹升六合

五良左衛門[㊦]

高九升九合

半兵衛[㊦]

高拾八石三斗九升八合

源次郎[㊦]

高拾壹石五斗七升三合

善吉[㊦]

五人組

高三石壹斗五升三合

小左衛門[㊦]

高壹石七斗七升六合

久兵衛[㊦]

高壹石三斗九升

角兵衛[㊦]

無高

作兵衛[㊦]

高壹斗八升貳合

忠左衛門[㊦]

五人組

高八石九斗六升四合

治良左衛門[㊦]

高九升八合

忠右衛門[㊦]

高壹斗七升三合

十左衛門[㊦]

高拾五石四斗三升壹合

彦右衛門[㊦]

高壹斗壹升八合

友八[㊦]

高老石式升

徳左衛門 ㊦

高三石五斗式升四合

九左衛門 ㊦

高式斗九升八合

平次郎 ㊦

高式石三斗九升三合

治兵衛 ㊦

高六石六斗式升

九良兵衛 ㊦

五人組

高四石三斗式升七合

権左衛門 ㊦

高式斗

喜次郎 ㊦

無高

惣七郎 ㊦

高

八左衛門 ㊦

高

利右衛門 ㊦

五人組

高拾壹石八斗式升五合

善左衛門 ㊦

高三斗壹升

弥次兵衛 ㊦

高壹斗七升五合

五良兵衛 ㊦

高三斗九升三合

七右衛門 ㊦

高六石六斗八合

善市郎 ㊦

五人組

高五石三斗九升三合

市左衛門 ㊦

高六石七斗式升六合

弥惣右衛門 ㊦

高拾五石八斗六升六合

善右衛門 ㊦

高式石七斗五升六合

弥兵衛 ㊦

無高

五人組

高式石六斗八升四合

角右衛門 ㊦

高壹石六斗式升五合

太兵衛 ㊦

高式斗八升

助次郎 ㊦

高七斗式升四合

太良兵衛 ㊦

高式石五斗式升六合

八良兵衛 ㊦

五人組

高壹石九斗六升九合

善四郎 ㊦

高式斗八合

又左衛門 ㊦

高壹斗八升三合

七良右衛門 ㊦

高五斗九升

清 七㊦

高式石九斗六合

善 助㊦

高式石八斗八升三合

庄 助㊦

高三斗式升三合

藤 兵衛㊦

五人組

高七石五斗四升三合

甚 右衛門㊦

五人組

高尨石壹斗

新右衛門㊦

高尨斗五升八合

新五兵衛㊦

高九斗七升八合

半三郎㊦

高拾式石五斗三升壹合

庄左衛門㊦

高式斗四升七合

清左衛門㊦

高九石式斗式升七合

藤右衛門㊦

高九斗七合

弥惣 八㊦

高七石八斗式升三合

柳 元㊦

高五石六斗九升四合

弥三左衛門㊦

無高

定五郎㊦

五人組

五人組

高尨石九斗九升壹合

三右衛門㊦

高三石式斗五升四合

久太夫㊦

高式斗六升九合

三良太夫㊦

高尨斗七升八合

長右衛門㊦

高尨石式斗壹升九合

与兵衛㊦

高四石九斗八合

作左衛門㊦

高四石式斗九升三合

甚兵衛㊦

高三斗六升

傳兵衛㊦

高式斗壹升三合

七郎兵衛㊦

無高

茂兵衛㊦

五人組

五人組

高八石九斗三升九合

伊兵衛㊦

高式斗壹升

權兵衛㊦

高三斗五升壹合

市良兵衛㊦

高尨石四斗五升六合

高尨斗七升

高尨石六斗三升四合

高式斗四升貳合

五人組

高六石貳斗尨升五合

高尨石六斗八升三合

高尨斗五升五合

高四石六斗尨升三合

五人組

高尨斗六升六合

高式石三升九合

高式石三斗四升六合

高五斗七合

高拾貳石六斗七升

五人組

五兵衛[㊦]

宋 註[㊦]

九兵衛[㊦]

兵左衛門[㊦]

忠 助[㊦]

次郎兵衛[㊦]

利 助[㊦]

弥次右衛門[㊦]

太左衛門[㊦]

無高

高式斗貳升五合

高四斗五升壹合

無高

高三石三斗七合

高五石四斗貳升九合

五人組

高五石八斗六升九合

高三石四斗尨升八合

高式石四斗七合

四人組

高尨石四斗七升五合

高尨石七斗六升三合

高式石九斗六升三合

高七石三斗四升七合

高九石五斗四升七合

五人組

清兵衛[㊦]

太兵衛[㊦]

清次郎[㊦]

喜兵衛[㊦]

治右衛門[㊦]

藤左衛門[㊦]

彦左衛門[㊦]

庄兵衛[㊦]

清右衛門[㊦]

無高

与次右衛門[㊦]

平右衛門[㊦]

与右衛門[㊦]

源兵衛[㊦]

新左衛門[㊦]

高尨石三斗三升六合

藤三郎㊦

高尨石八升三合

伊兵衛㊦

高尨斗五升六合

甚吉㊦

高式石四斗五升五合

十兵衛㊦

高尨斗貳升貳合

傳吉㊦

五人組

高尨斗

権六㊦

高尨石九斗五升

九良右衛門㊦

高三石尨斗九升九合

六兵衛㊦

高九升八合

惣兵衛㊦

無高

伊左衛門㊦

五人組

高式石六斗貳合

惣五郎㊦

高四石貳斗尨升六合

源兵衛㊦

高式石四斗三升貳合

善藏㊦

高尨斗三升

宇平次㊦

無高

利助㊦

五人組

高五斗尨升八合

無高

忠兵衛㊦

高尨石四斗

高尨斗六升三合

高式斗三升五合

五人組

高三斗九升四合

高八斗尨升

無高

清三郎㊦

高尨斗六升

高四斗八升七合

五人組

高式斗四升五合

無高

八助㊦

無高

無高

高式斗五升四合

無高

弥右衛門㊦

五郎㊦

友三郎㊦

仁兵衛㊦

平四郎㊦

清三郎㊦

八助㊦

太三郎㊦

安次郎㊦

安次郎㊦

庄五郎㊦

甚四郎㊦

傳右衛門㊦

庄三郎㊦

庄三郎㊦

十次郎㊦

十次郎㊦

高三石七斗六升三合

高六石四斗七升七合

高三斗七升三合

五人組

高四石六斗四升四合

高貳石六斗六升五合

五人組

高四石貳斗九升三合

高貳石五升九合

久四郎㊤

喜左衛門㊤

伊平次㊤

清藏㊤

庄右衛門㊤

文右衛門㊤

徳右衛門㊤

宇兵衛㊤

清五郎㊤

吉兵衛㊤

新五郎㊤

栄五郎㊤

栄三郎㊤

文藏㊤

五人組

無高 権四郎㊤

高四斗三升壹合

正壽寺㊤

高三石壹斗七升九合

ひしり

喜右衛門㊤

高貳拾石七斗七升貳合

庄屋茂左衛門

高拾四石八斗九升

年寄惣左衛門㊤

高六石貳斗九升六合

同断喜平次㊤

右之通相違無御座候以上

文政九戌年

三月

百性代 九郎左衛門㊤

同断 彦右衛門㊤

年寄 喜兵次[㊦]
同断 惣左衛門[㊦]
庄屋 茂左衛門[㊦]

辻六郎左衛門様

御役所

淨円院法事につき鳴物停止触（年不詳六月五日）
一、淨円院様一回御忌之御法事、於東叡山御執行之御事候間、来ル九日迄町中穩便諸事相慎、別而火之元可入念事。

一、御法事中普請、鳴物、祭礼、法事等不及相止候事。

一、来ル九日ハ慰殺生之儀停止申付候事。

右之通三郷町中可觸知者也

六月五日

右之通從大坂御番所御觸有之付而為觸知者也。

六月六日

河四郎右衛門
望甚左衛門

淨円院逝去につき鳴物停止触（年不詳六月十六日）
去九日之夜

淨円院様被遊御逝去候。依之鳴物、高聲、普請御
停止候。火之元等別而入念諸事相慎可申候。御免
之儀は追而可相觸候。以上。

六月十六日

望甚左衛門

河四郎右衛門

文照院様十七回忌法事につき廻状通知

（年不詳十月九日）

（端裏書）
尚々早々御廻し、觸留り早速此方へ可被遣
候。以上。

文照院様十七回御忌御法事ニ付、御觸書一通被下
置候ニ付相廻し申候。村々御申付可被成候。以上

深江

十月九日

吉兵衛

打出村山方野寄、夫濱方東青木村迄。

村々 庄屋中

石垣請負入札触（申正月 河四郎右衛門）
（濱方）
堺大小路□□手
波戸石堤出目録

根置 七間

一、石堤長百式拾間

馬踏 式間

高サ 式間半

但シ六尺杖

右入札を以一式請切ニ申付候。則場所儀印建置候
而、来ル廿二日同廿八日迄致見分、同廿九日
来月三日迄之内朝五ツ時より八ツ時迄、大阪平野
町三丁目北組惣会所江罷越、仕様帳写取可申候。
入札之者来月十日朝五ツ時、大阪東番所おいて披
候条、札望之者家持請人召連、刻限無遲滞罷出候
様ニ可觸知候。以上。

申正月

大阪番所

右御書付大阪 御番所被成御渡候ニ付、写相廻
シ候間、望之者ハ右之通可相心得旨、其所々ニ而
可申觸候。尤役人承知之旨與書致、印形頂之早々
相廻シ觸留り可相返候者也。

申

正月廿日

河四郎右衛門

望甚左衛門

大灘

大庄屋

庄屋

兵庫年寄

名主

庄屋

惣代

樋修覆等につき触（午十月、河四郎右衛門、望甚左衛門）

覚

村々樋修覆或ハ新樋是迄年々被仰付候。然共尚毛早越ニ付御損毛多、其上御物入打続有之ニ付、来春樋修覆并新樋被仰付候儀再来申之春迄可被指延由ニ候。然共、樋漏り候敷又ハ戸前坏損候敷、川筋之樋損シ而漏水之節ハ無心元、難被指延分ハ来春見分之上可被仰付候間、其趣を以不得止事分斗来月上旬迄可書上候。将又、従古来百姓自分ニ而仕来候樋、御所替以来紛敷義申立上より被仰付候儀有之様ニ相聞へ候。内證にて随分吟味之上相頼可申候。以上。

午

十月

河 四郎右衛門

望 甚左衛門

象通行二付一件（年不詳四・十三・十四諸田町蔵）

道筋

一、御徒目付 御代官之内御付可被成候。道之程は半里程先にて可然哉。

一、忝式里も先へ足軽式人、村役人式人、牛馬を為除候事、并、人留候事。

一、三四丁先へ、足軽式人

一、忝丁程先へ、足軽式人、犬猫相見へ候ハハ追払可申候。

一、拾間程先へ、足軽式人

象

一、跡より庄屋年寄式人、町者組頭忝人、惣代忝人可相添。

一、押足軽式人召連、御徒目付忝人、御徒忝人。

一、郷廻忝人、庄屋、年寄、象給物持セ、喰物好候節、何方ニても差出候様可申付哉。

一、兵庫津庄屋組頭、御領境へ罷出、才領之兩人へ面談挨拶可申事。畢而先へ立可申事。

一、住吉村にて才領之者、上下人数相考、昼食酒肴用意可申事。

一、西宮ニても右同断。

於別所村用意

一、大久保泊りへ物馴候者一兩人罷越、象才領ニ逢尼崎来ル何日泊付罷越候と、先達而御用候ハハ可承旨、并、象屋等致用意置候得共、往還にて無之付相応之場所も無之、可為不自由旨致挨拶、象遣ニも逢給物其外承合可罷帰事。但此節持參物可致事。

一、給物先觸之通致用意、手支無之様可致候。

一、象屋之内、敷藁ぬれ候へハ悪敷候故、餘計用意いたし、すそいたし候へハ取替可申候。

一、喰物一昼夜之分知之、夜之泊より翌日之泊へ送り候由、下筋聞合相見候。尼崎よりも大阪へ遣可然哉聞合可申事。

一、飼料半切桶ニ蓋可致事。

一、水桶忝つ切蓋

一、荷桶一カ清水ヲ入置可申候。不足候ハ、かめなとへ水沢山ニ用意可申候。

一、すそ半切桶二つ、ひさく式三本

一、すそ湯沢山ニわかし置可申候。筵二三枚用意可

申候。

一、給物之内、聞合書ニ

とふかつら 三色にて三百斤程、かつら竹

ひめ草 ハくき共飼候由、笹ハ何さ、

竹のこ にも不苦候。

ひめ草無之所ハ草麦にて相済候由。

一、たい廉米一日分八升之内、四升飯ニたきさまし

置、象遣へ相渡候へハ埒明候由。

一、まんちうハ麦まんちう、あんなし七八十。但、

内二三十八あん入。大サハ四文まんちう位。

一、九年母七八十。

一、たい 毎日之食事にて無之、象病候節之用

意之由。

一、はせうのは少々入用之由。

一、丸ちやちん^{う(脱カ)}八つ、箱蓋等式ヶ所へ御紋付。

一、象泊宿ちやちんニ張出し可申候。御紋付

一、象遣之部屋へ行灯壺つ。

一、料理之事、下筋承合様子能可致候。着之節、の

し可出候。夜食等聞合之事。

四月十三日

御代官様御状之写

象之義ニ付、被仰付候御書付出し申候間、写差越
申候。各入用之所御書拔被成、早々順達可有之候
尤村々御觸知セ可有之候。不残御写取被成候ニハ
及申間敷と存候。但下村々入用之所計御写取、早
々先々へ可被相廻候。

一、横道往還出口へ往還より五間跡へさり、繩張致
候様ニ被仰付候。尤野田畑共右之通、往還端より
五間さり、左右共ニ致繩張候様ニ被仰付候。兼又
左様御事付可有之候。又々相替義有之候ハ、可申
越候。以上。

四月十四日 諸田団藏

深江 吉兵衛殿

原田 佐左衛門殿

兵こ 仙右衛門殿

同 九平殿

右之書付明後十六日迄ニ、此方へ御戻し可有之候
右之通被仰付候ニ付、則御書付写候而相廻候。村
々左様ニ御心得早々相廻し可被成候。

一、村々入用所計御写取可被成候而早々御順達可有

之候。以上。

四月十八日

吉兵衛

象供行列順番書上(年不詳四月十六日 諸田団蔵)

尼崎二而ハ

町組一人

五六町先へ

村役人貳人

牛馬若見渡りニ

引のけ有之候とも

同断

町組一人

のけ候様入念可申

通候尤人留可致候

三四町先へ

御徒目付一人

御徒 一人

見物人其外見斗

諸事可申付候繩張

之外へ村役人之外罷

出候ハ、引込候様ニ可

申付候

同断相統

小頭 足輕一人
足輕 一人

一町程先へ

拾間程先

尼崎二而八

町組一人

足輕二人

足輕二人

象

宰領

押足輕二人

御徒目付一人

御徒一人

万一犬猫相見候か

道筋目懸り有之

候ハ、可申付候

同

町組一人

町八組頭一人惣代一人可相添

清水入

にない壹荷

庄屋

象喰物人足

尼崎二而八

町組一人

二人

郷廻一人

田沢弥一左衛門

年寄

町組一人

象給物為持好候節ハ

何方ニても差出候様可

申付候

右之通被仰付候間無相違様二御
申付可有之候。尤早速順違可被
成候。已上。

四月十六日

諸田 団藏

兵庫 仙右衛門殿

同 九兵衛殿

原田 佐左衛門殿

深江 吉兵衛殿

廻切候ハ、可被相返候。

以上。

公事日定につき触(丑十二月十四日 川八郎右衛門 河四郎右衛門)

公事訴詔日

二日 五日 十二日 十八日 廿一日 廿五日 廿七日

右訴訟人は朝六ツ時より四ツ時迄ニ罷出、帳面ニ附へし。公事人は朝四ツ時より九ツ時迄之内に出へし。右刻限迄之内過候は、重而公事訴詔日ニ可罷出候。向後夜中より出、帳面ニ付候儀可為無用、尤いそぎの事は昼夜を不限、可申来者也。

丑十二月

金銀出入 訴詔人何町何屋 何右衛門

相手 何町何屋 何右衛門

何屋

年号 何右衛門

御奉行様

右之通従大坂御番所御触有之候間触知候。可致承知者也。

十二月十四日

川 八郎右衛門

河 四郎右衛門

破魔弓等につき触(丑十二月 川河四郎右衛門 川八郎右衛門)

覚

一、破魔弓

金銀之箔并かな物無用、たん、ろくしやうニ而彩色可申候。惣躰菖蒲甲ニ可准事。

一、羽子板

飾に用ひ候大キ成羽子板并はね、自今可為停止。常用ひ候羽子板にいたし、尤結構に仕間敷事。

一、雛

八寸より上可為無用、近年結構成雛段々有之候間次第を追々軽く可仕事。

一、同諸道具

梨子地者勿論、蒔絵無用可仕候。上々道具たり共黒塗ニ可仕候。金銀之かな物可為無用事。

一、子共もてあそびに致候人形、八寸より上は仕出

申間敷候。惣而翫ひの作り物之類、自今、金銀の彩色金入(綴子)純子等之衣裳又ハ人形類台ニ載せ候儀、

一ツ宛載候ハ格別、二ツより上之せ候作り物無用に致し、都而結構に仕出間敷候。右之通来寅正月

より急度可相心得候。有来り候作り物之類、当年

中商売之儀ハ勝手次第ニ可仕候。来年よりハ有合候とても右之品々商売いたし候儀可為停止之事。

右之通先達而町奉行江申渡候。左候得ハ来春よりハ無用譯に候間、献上等も致間敷事候。可被存其趣候。已上。

丑十二月

右之通於江戸被 仰付候間為触知候。可致承知候以上。

十二月廿二日

門 八郎右衛門
河 四郎右衛門

郡役等につき触書（享保年月不詳・前後欠）

急ニ申触候

吉田又右衛門様、望月甚左衛門様、今日河澄四郎右衛門様御相役御郡御役被為仰付之候由被仰下候一、松田団右衛門様、立石祐右衛門様、郷中人別宗門御改被為仰付候間、人別宗門之儀ニ付、御用

有之候者、右御兩人様へ相窺可申由被仰付候。

右之通御代官様より被仰下候ニ付、触知申候。村々左様御心得 被成候。尤御郡方様江御上り

（以下欠）

奉公人につき触書（戌三月三日）

覚

一、男女奉公人他所江罷出奉公仕候儀、前々より急度停止之儀被仰付候処、奉公仕候者数多有之候由相聞候。依之村々友々遂吟味、若他所江奉公ニ罷出候者有之候ハ、五人組之内より庄屋年寄方へ可訴之。若隠置脇より相知候ハ、当人者不及申五人組迄急度可為越度候。

一、江戸上下仕候と申引込罷有、或商仕と引込罷有而出替之時節過し、他所江奉公ニ罷越候者も有之候由相聞候。ケ様之類毎月晦日庄屋年寄家別ニ可遂吟味候。

一、男女奉公人御定之給分有之候所、過分之給分望申者も有之由相聞候。無法之儀不申候様ニ急度可申含候。

右之條々承知仕候旨、家別ニ判形取置可申候。

以上。

戌

三月三日

男女奉公人之儀ニ付、御郡奉行衆より書付御渡候

間間、差越申候。村々江御申付可有之候。以上。

三月三日

山川仁兵衛

飯田善兵衛

市村弥左衛門

奉公人につき触（年不詳）

一、村々男女奉公人大庄屋帳面ニ「申候

ハ、其旨庄屋方江可相届事。

一、奉公并耕作商売等茂不仕引込罷在候男女之分、

庄屋年寄月々相改、他国江不罷出候旨毎月大庄屋

江可相届事。

一、男女奉公人引込申候節は、庄屋年寄江相断、大

庄屋帳面茂直可申候。縁付之者ハ前々之通大庄屋

迄相達可申事。

一、前方他国江罷出候男女奉公人今年中急度可呼返。

但幼少より年季ニ相濟候者共は、帳面ニ記シ置、

年季明次第可呼戻、其節不罷帰候ハ、奉行所江相

達、人別除可申事。

一、願相達他所江罷出候ものハ格別之事。

一、奉公人三日迄之逗留ニ而他所江罷越節、年寄江

相断指図次第可仕候事。

一、無抛訳ニ而五日以上之逗留ニ而他行仕候節は、

支配方江願書提出、大庄屋小庄屋年寄與判仕相伺

受指図可申事。

一、奉公人宿々ニ罷有奉公ニ茂不罷出者共、并病氣

と申奉公不仕候者共、年寄毎月度々罷越急度見届
可申事。

一、自今以後奉公ニ不罷出候者共、宿々江不時此方
より郷廻足輕遣之為見届可申事。

一、奉公人共江急度可申渡候。若、男女奉公人密々
ニ而他所江罷出奉公仕候儀於露頭は、男奉行人は
牢舎、女は手錠、五人組之内ニ而其家江近キ所之
者兩人并小庄屋逼塞、奉行人改ニ懸り候年寄手錠
尤大庄屋越度可申付候事。

右之通堅可相守。尤追々可被遂御吟味間、其節不
急於有之は急度可被仰付候。以上。

山論水論等につき触（前欠・酉正月辰閏四月再触）
〔虫喰〕「或者兩類に井口有之場所、片類之井口付替

候時、双方不申合一方之自由ニ任せ仕替候故令出

訴候類有之候。自今右躰之義双方致相對、普請仕

候節は立会、無障様ニ可致候。若滞儀有之か、又

は不法之事仕候時ハ、其節より十二月を限於訴て

は、可有裁断。期日過令出訴候ハ、不取上候事。

一、郡境村境山野之論又は實田地等之儀、其外奉行

所へ訴出候事ニ付、証拠無之非分之儀をも何角申

紛し、又証拠有之儀茂年経候へハ、其事を申掠及

出訴、相手村方之難儀に及せ其上双方村々困窮之

元に成不届ニ候条、向後如斯之筋不可訴出、巧之

訳相知候ニおいては其咎め可申付事。

以上。

右之通六年以前辰閏四月相触候得共、いまた不行

届所茂有之様ニ相聞候付、猶又此度相触候間被存

其旨、御料は御代官、私領は地頭より村々名主、

百姓共江右之趣相心得候様可被申付候。以上。

酉

正月

右之趣於江戸就被仰付候為触知候。承知之旨致判
形可差出者也。

酉

二月十一日

山 庄左衛門

望 甚左衛門

病氣ニ付加印無之

河 四郎右衛門

尼崎町

名主

惣代

地廻

中灘

大灘

大庄屋

年寄

同村々

庄屋

年寄

右之御書付之趣承知仕奉長候。以上。

大庄屋何方

誰

何村庄屋

誰

同村年寄

誰

廻船積下につき触（享保年不詳）

覚

一、御用瓦從大坂江戸へ廻船ニ御積下シ被成ニ付、御触書之写老通箱入并浦々添状老卷

浦方定廻状につき通知

(年不詳四月四日深江吉兵衛ヨリ)

廻船運賃引下触(卯五月)

覚

弥兵衛御勤仕可被成珍重奉存候。然ハ浦方定証文
西宮より到来仕候ニ付、爰元写候而持廻し申候。
浦々御写取被成候ハ、御順連可被成候。以上。

深江

四月四日

吉兵衛

東青木浦

魚崎浦

御影浦

大石浦

神戸浦

二茶屋浦

奉得其意候。

右浦々

御庄屋中様

追而証文触留より西宮浦次ニ御戻可被下候。

一、諸国御城米廻船運賃年々高直ニ成候ニ付、此度
相改入札取之候間、來從六月十二日迄久下藤十郎
方江罷越定書写取、同十三日四時迄之内鈴木飛彈
守番所江入札持參可仕候事。

一、近年は廻船請負壹ヶ年切候得共、式ヶ年三ヶ年
請負ニ而下直ニ成候儀ニ候ハ、年季を限り候而
茂入札可仕候事。

一、廻船員数多少之構なく、壹艘式艘乃至五六艘ニ
而茂手前ニ船取持候ものハ、何百石積何艘可差出
と入札可仕候事。

一、只今迄大坂ニ而船改之仕形、并積湊ニ而御米積
請候節之差配、且又着船水揚之様子、其外其外何
事不依廻船一件之儀、仕形により運賃下直ニ成候
存寄於有之は、其段船改之御代官へ無遠慮可申達
候。委細聞届候上ハ、品ニより宜方江可申付事。

右廻船運賃之儀、近年段々高直ニ成來候。今年ニ
至、米穀茂格別下直ニ而金銀茂一品之通用ニ成、
万事之直段茂慶長金銀通用之時節に相当り可申儀

ニ候。運賃之儀は別而米穀之直段に隨可申筋に候
条、入札人共も其心得ヲ以運賃引下ケ入札仕候様
ニ可相心得事。

己上

右之通御勘定所より被仰越候間、書面之通御触可
被下候。以上。

卯五月

久下藤十郎

石川傳兵衛

右之趣御廻米船改御代官より申来候間、可得其意
候。以上。

卯五月

上テ 飛彈

摂州尼崎今津西宮御影兵庫大石芦屋神戸ニツ茶屋
右所々船持共、右之通從御番所以御書付被仰付候
ニ付、写相触候間、村々庄屋年寄船持共、承知之
旨致印形可差出之候。以上。

五月五日

吉 又右衛門

河 四郎右衛門

望 甚左衛門

庄屋

右村々年寄

船持共

殿様御通につき触（年不詳二月三日）

覚

一、今度山濱御通ニ付、於御目通猥無之様可仕候。

見物ニ罷出候儀ハ可為勝手次第事。

一、御泊休之宿々にをいて賄人被 仰付仕出し候間

此外一切馳走仕間敷候。且又下々之者草鞋等入用

之由申候ハ、代物を取可相渡事。

先達而申付候通御通之節、於他領道筋掃除又は村

役人弥不罷出候様、隣郷へ可申達事。

一、明四日朝七ツ半時被遊 御発駕候之間、村々役

人其心得仕、人足等無滞様可被申付候。以上。

二月三日

望月甚左衛門

河澄四郎右衛門

西丸普請につき上納銀触（戌三月水野越前守）

申渡

此度西御普請ニ付、御料所百姓町会之内冥加銀相

弁、上納金等相願輩有之候ニ付、早々取調可被申

候。

右 水 越前守殿御沙汰ニ候事。

戌三月

近年引統御檢役被 仰出候得共、累年御入用相嵩

不時之御用途相重り、尚又此度、西丸御普請懸り

而は、莫大之御用途有之、御旗本方へも上納金被

仰付候程之事ニ付、愆而拝借は勿論上納金年延等

之儀申立候共決而御沙汰不被及段被 仰渡候。得

其意村々逆も近年之凶作難澁相嵩候ニ付、格外之

檢約相互ニ申（以下欠）

米納につき触（年不詳三月）

申合取締向等嚴重ニ致、兼々被仰出候趣等堅相守
奢ケ間敷儀決而致間敷候。

右之通申渡條、村々一軒別ニ申聞、請書取置可申
事。

申渡

近年御藏謝渡方相増、忝ケ年御廻米高ニ而渡方不
足ニ付、御米操之ため定め石代其外共可成丈ケ米
納之積取調、早々可申聞候。以上。

戊^カ三月

寺社立寄の儀につき大庄屋触（年不詳五月九日）

一筆申触候。然者先日五市郎殿御通ニ付、寺社方
へ御立寄被成候哉、又御立寄も無之候哉、寺社之
義御尋被成候ハ、其わけ書付指上ケ申様ニと、庄
田弥右衛門様より被仰付候間、左之村下ニ御立寄
有無之わけ御書付御廻し被成候。

一、芦屋村薬師、森村稻荷、北畑村天王、右三ヶ所
へ御立寄も有之、又御尋之儀も有之候間、何々御
尋被成、何と御返答申上、何ヲ掛御目申由、委細
別紙ニ書付早々此方へ可被遣候。

一、打出村親王寺御立寄ハ無之候へ共、御尋之儀も
候ハ、其わけ御書付被成可被遣候。以上。

五月九日 深江 吉兵衛

深江村 寺ニ古キ書物等ハ無之哉と御尋被成候。

無御座旨申上候。其外御尋之儀無之、御
立寄無御座候。以上。

打出村 古書物等も無之由申上候。親王様御廟一

通御咄申上候。尤御立寄無御座候。以上
芦屋村 寺ハ古キ書物杯ハ無之哉と御尋被成候。

無御座旨申上候。薬師之義別紙書付差上申候。

三条村 寺之義は寺号御尋申上、其外何之尋も無御座候。以上。

御立寄も無御座候。以上。

森村 寺ニ古キ書物等無之哉と御尋被成候へ共無御座旨申上候。稻荷之義ハ御立寄被成鱒口御目ニかけ申候。則帳面ニ御留被成候。

中野村 寺御尋ニ付、式ヶ寺御座候と申上候へハ寺号御尋候故、寺号申候。氏神御尋ニ付森村ニ有之候と申上候。尤他領役人も一所ノ口上ニて御座候。以上。

小路村 寺ニ古キ書物など無之哉と御尋被成候ニ付、左様之物無御座旨申上候。其外何事之御尋も無御座候。以上。

北畑村 寺ニ古キ書物など無御座候哉御尋被成候へ共、左様之物無御座候由申上候。氏神之義ハ別紙ニ書付指上ヶ可申候。以上。

〔田力〕〔虫喰〕
□邊村 寺ニ古キ書物など無御座候哉と御尋被成

候へ共、左様之物ハ〔無〕御座候。其外何之御尋無御座候。以上

田中村 寺ノ義御尋ニ付申上候へハ、小寺ならハ古キ物も有間敷と御申被成候。無之由申上候。其外寺社ニ付御尋無之候。

岡本村 寺之義ハ御尋無之、其外社之義も御尋無御座候。以上。

野寄村 寺茂あり候哉と御尋被成候ニ付、浄土寺明休寺と申一軒御座候と御返答申候。其外何の御尋も無御座、御立寄も不被成候以上。

〔種屋力〕〔虫喰〕
〔〕村 古書物など無御座候旨申候。尤御立寄も無御座候。以上。

魚崎村 古キ書物など無御座候旨申候。尤御立寄も〔無〕御座候。以上

西青木村 寺へ御立寄もなく、書物〔杯〕〔虫喰〕御尋ニ付、御座なくと申上候。

東青木村 寺之儀御尋被成〔〕。〔虫喰〕

向寺御座候よし申上候。古キ書〔物〕〔無御力〕座候段申上候。寺へ御立寄〔候力〕〔虫喰〕

右村々庄屋中

組割算用につき大庄屋触

(年不詳十一月十六日深江吉兵衛)

尚々短日之節ニ候間、早ク御出可被成候。以上。

一筆申触候。明後十八日組算用可仕候間、乍御

大儀明後朝飯後御参会可被成候。尤御取替等御

座候ハ、御書出し御持参可被成候。以上。

十一月十六日

深江

吉兵衛

打出村より山方濱方東青木村迄

村々

御庄屋中

大庄屋廻状（年不詳十月十一日深江吉兵衛ヨリ）

西青木村 右同断

急度申触候。然ハ御乳持御用ニ而、村々御吟味被

東青木村 右同断

成有之候ハ、此方へ御申越可被成候。尤有無之

庄屋中

わけ左ニ書記、御廻し可被成候。以上。

深江

十月十一日

吉兵衛

打出村 御乳持無御座候。

芦屋村 当村ニも無御座候。

三条村 当村ニハ無御座候。

津知村 右同断

森村 右同断

中野村 右同断

小路村 右同断

北畑村 右同断

田邊村 右同断

岡本村 右同断

野寄村 右同断

横屋村 右同断

魚崎村 右同断

廻状通達（年不詳十一月十五日）

京都町奉行触深江吉兵衛ヨリ

急ニ申入候。京都

御奉行様より御触書到来仕候ニ付相廻し申候。各
年寄承知印形被成無遅滞早々御廻し、留村より住
吉村へ御渡し可被成候。以上。

深江

十一月十五日

吉兵衛

打出村 亥ノ下刻ニ深江村へ渡ス

深江村 亥ノ下刻ニ請取、子ノ上刻ニ津知

村へ渡ス。

津知村 子ノ中刻芦屋村へ相渡申候。

芦屋村 丑の刻三条村相渡申候。

三条村 丑之刻森村へ渡申候。

森村 寅ノ刻中野へ相渡候。

中野村 十六日寅下刻ニ請取、当村ニ而御

帳面写申候ニ付、十七日卯下刻小

路村へ相渡。

小路村 同日辰ノ上刻ニ北畑村へ渡申候。

北畑村 辰ノ刻ニ田邊村へ渡シ申候。

田邊村 午刻北畑村より請取、同刻東青木

村へ相渡シ申候。

東青木村 午ノ下刻田邊村より請取、同刻西

青木村へ相渡シ申候。以上。

西青木村 午ノ下刻東青木より請取、同刻田

中村へ相渡申シ候。

田中村 未ノ中刻西青木村より受取、同刻

岡本村へ渡シ候。

岡本村 十七日日ノ入田中村より受取、西

上刻横屋村渡申候。

野寄村 十一月十七日夕酉下刻岡本村より

請取、同刻よこやへ遣申候。

横屋村 戌上刻魚崎村へ渡。

魚崎村 戌下刻住吉村へ為持遣申候。

右村々庄屋中

此廻状ニ刻付ケ被成候而御廻シ可被成候。以上。

廻状違達（年不詳九月二日

庄田弥右衛門触深江吉兵衛ヨリ）

西青木村

深江村

右村々

御寺社家中

庄田弥右衛門様より御触状到来仕候ニ付相廻シ申候。各様御一覽之上、承知印形被成御廻シ可被成候。尤不残様ニ御順達被成、触留りより此方へ御戻シ可被成候。以上。

深江

九月二日

「打出村

「芦屋村

「三条村

「森村

「小路村

「北畑村

「田邊村

「田中村

「岡本村

「野寄村

「横屋村

「魚崎村

(表紙)

享保五子年

深江組村々本田新田畑反別書上帳

三月

拾七冊

(表紙)

享保五年

打出村本田新田反別書上帳

子二月

深江組

兎原郡菅屋庄

打出村

田反合六拾貳町貳反九畝貳拾四步

分米六百八拾七石九斗壹升六合

内四石八斗八升

畑成石盛違引

又拾八石四斗六升八合

屋敷成石盛不引

訳

上田拾五町九反三畝貳拾六步

分米貳百七石貳斗貳合

石盛十三

中田拾五町五畝貳拾八步

一分米百六拾五石六斗六升三合

石盛十一

下田拾四町六反三畝廿七步

一分米百三拾壹石七斗五升三合

石盛九

下々田拾六町六反六畝三歩

分米八拾三石三斗五合

石盛五

畑反合貳拾壹町四反八畝廿壹歩

本村

分米八拾七石五升七合

内壹石三斗八升七合

屋敷成石盛不引

訳

上畑貳畝廿壹步

分米貳斗七升

石盛十

中畑貳町壹反六畝貳拾貳步

分米拾三石四合

石盛六

下畑三町七反九畝貳步

分米拾五石壹斗六升三合

石盛四

下々畑拾三町七反七畝四步

分米四拾壹石三斗六升四合

石盛三

屋敷壹町七反三畝貳步

分米拾七石三斗六合

田畑合八拾三町七反八畝拾五步

此高六百七拾四石九斗六升七合

同村古新田家居無之本村開作

三石三斗九升壹合本途之内入込有之

内式石貳斗六升八合田高

壹石壹斗貳升三合畑高

百九石貳斗五升

村々浜方ニ有之

内七十壹石九斗七升六合田高

六十七石貳斗七升四合畑高

壹石七斗七升

村々山方ニ有之

内壹石六合 田畑

七斗六升四合畑高

田畑合七町五反壹畝拾步

分米七拾五石貳斗貳升

訊

上田三畝拾貳步

分米四斗四升貳合

石盛十三

中田四町四反貳畝四步

分米四拾八石六斗三升五合

石盛十一

下田貳町七反貳畝貳步

分米貳拾四石四斗八升六合

石盛九

下々田三反三畝貳拾貳步

分米壹石六斗八升七合

石盛五

畑反合七町貳反九畝步

分米三拾九石壹斗六升壹合

内七斗八升四合 屋敷成石盛引無之

訊

中畑五町貳步

分米三拾石四合

石盛六

下畑貳町貳反八畝廿八步

分米九石壹斗貳升七合

石盛四

田畑合拾四町八反拾五步

分米七石三斗四升六合

石盛六

此高百拾四石四斗壹升壹合

下畑五町四反貳畝廿三步

石盛四

同村西新田家居有之

分米貳拾壹石七斗壹升壹合

七斗七升五合本途入込山方

下々畑貳町四反壹畝拾八步

石盛三

畑高村△山方ニ有之

田畑合拾町貳反貳畝拾六步

四石五斗九升四合村△山方ニ有之

此高四拾貳石九升貳合

内貳斗八升七合田高

同村丑新田家居無之本村開作

四石三斗七合畑高

四石六斗四升壹合村△山方ニ有之

三拾六石七斗貳升三合村△山方ニ有之

内貳石貳斗七升田高

田畑合壹町壹反五畝廿貳步

壹石九斗七升壹合畑高

分米五石七斗八升七合

拾九石三斗四升八合村△山方ニ有之

下々田壹町壹反五畝貳拾貳步

内三石九斗貳合田高

分米六石七斗八升七合

拾六石貳斗五升六合畑高

畑合九町五畝貳拾四步

田反合下々田壹町壹反三畝七步

分米三拾六石三斗五合

分米五石六斗六升貳合

石盛五

内貳斗四升屋敷成石盛引無之

畑反合下々畑六町七畝拾七步

五斗砂入石盛違引

不引

分米拾八石貳斗貳升七合

石盛三

訳

田畑合七町貳畝貳拾四步

中畑壹町貳反貳畝拾三步

此高貳拾三石八斗八升九合

同村已新田家居有之

戸長式冊

四石七合畑高村の浜方有之

拾八石七斗九升壹合村の山方ニ有之

内拾壹石九斗五升九合畑高

六石八斗三升貳合田高

田反合壹町三反六畝拾九步

分米六石八斗三升貳合

訳

下々田壹町三反六畝拾九步

分米六石八斗三升貳合 石盛五

畑反合下々畑五町三反貳畝六步

分米拾五石九斗六升六合 石盛三

田畑合六町六反八步廿五步

此高貳拾貳石七斗九升八合

同村辰新田家居無之本村の開作

壹斗六升六合本途入込田方

壹石九斗八升貳合村の浜方有之

内壹石三斗三升八合田高

六斗四升四合畑高

壹石四斗九升三合村の山方有之

内

八斗壹升八合田高

六斗七升五合畑高

田反合下々田四反五畝拾三步

分米貳石貳斗七升貳合 石盛五

畑反合貳反七畝拾八步

分米六石三斗壹升九合

訳

中畑壹反貳拾貳步

分米六斗四升四合 石盛六

下畑壹反六畝廿六步

分米六斗七升五合 石盛四

田畑反合七反三畝壹步

此高三石五斗九升壹合

同村申新田家居無之本村の開作

田反合下々田七畝廿三步村の山方有之

分米三斗八升八合 石盛五

畑反合下々畑壹町五反九畝貳拾七步村の山方ニ有之

分米四石七斗九升七合 石盛三

田畑合壹町六反七畝貳拾步

此高五石壹斗八升五合

屋敷三反八畝貳步

新宅地子

分米三石八斗七合

石盛十

同村岩生平新田家居有之

田反合貳町三反五畝四步村ノ山方有之

分米拾五石九斗六升三合

訳

中田壹町壹反四畝步

分米九石壹斗貳升

石盛八

下田八畝八步

分米四石八斗壹升六合

石盛六

下々田四反拾六步

分米貳石貳升七合

石盛五

畑反合貳町四反拾步

分米拾六石六斗壹升壹合

訳

下畑貳町壹反五畝拾七步

分米拾石三斗三升九合

石盛四

下々畑壹反八畝拾九步

分米貳斗五升九合

石盛三

屋敷五畝貳拾四步

分米六斗壹升三合

石盛十

田畑合四町七反五畝拾四步

此高貳拾七石四斗七升四合

同村二性三已改新田家居無之

本村ノ開作

田反合貳反拾五步村ノ山方ニ有之

分米壹石壹斗三升八合

訳

下田壹反壹畝四步

分米六斗六升八合

石盛六

下々田九畝拾壹步

分米四斗七升

石盛五

畑反合下々畑四反貳拾步

分米壹石貳斗貳升

石盛三

田畑合六反壹畝五步

此高貳石三斗五升八合

總新田畑高合貳百四拾五石六斗五合

内貳石三斗五升八合二性三已改新田

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候

打出村庄屋

享保五子年

源左衛門

二月

同村年寄

利兵衛

同村 同

源四郎

兔原郡芦屋之庄

芦屋村

田反合四拾七町壹反拾六步 本村

分米四百九拾貳石五斗壹升九合

内五拾六石八斗四升八合畑二成但盛違引

拾貳石五斗六升壹合田地二近年家居屋敷

二仕候得共盛違不引

訳

上田拾貳町六反七畝壹步

分米百六拾四石七斗壹升四合石盛十三

中田拾八町壹反四畝拾三步

分米百九拾九石五斗八升八合石盛十一

下田拾壹町六反九畝三步

分米百五石貳斗壹升九合 石盛九

下々田四町五反九畝貳拾九步

分米貳拾貳石九斗九升八合 石盛五

畑反合七町九反六畝廿七步 本村

分米四拾石三斗六升九合

訳

上畑壹畝貳拾六步

(表紙)

享保五子年

芦屋村本田新田反別書上帳

二月

分米壹斗八升七合 石盛十

中畑壹町貳反八畝拾貳步

分米七石七斗四合 石盛六

下畑壹町七反四畝九步

分米六石九斗七升貳合 石盛四

下々畑三町三反八畝廿九步

分米拾石壹斗六升九合 石盛三

屋敷壹町五反三畝拾壹步

分米拾五石三斗三升七合 石盛十

田畑合五拾五町七畝拾三步

此高五百三拾貳石八斗八升八合

同村古新田家居有浜芦屋

但高拾貳石本途之内入込有之

田反合三町六畝壹步

分米貳拾石八斗貳升貳合

訳

中田壹町六反三畝廿九步

分米拾八石三升六合 石盛十一

下田壹町四反貳畝貳步

分米拾貳石七斗八升六合 石盛九

畑反合四町五反三畝廿貳步

分米貳拾石四斗貳升五合

訳

上畑九畝九步

分米九斗三升 石盛十

中畑壹町八畝拾四步

分米六石五斗八合 石盛六

下畑貳町九反廿三步

分米拾壹石六斗三升壹合 石盛四

下々畑四反五畝六步

分米壹石三斗五升六合 石盛三

田畑合七町五反九畝廿三步

此高五拾壹石貳斗四升七合

同村年々新田家居無之本村に開作

但村に浜方二有之

下々田五畝六步

分米貳斗六升 石盛五

畑反合三町壹反壹畝廿六步

分米拾石八斗七合

訳

中畑四反貳畝八步

分米貳石五斗三升六合

石盛六

下畑壹反八畝八步

分米七斗三升壹合

石盛四

下々畑貳町五反壹畝拾步

分米七石五斗四升

石盛三

田畑合三町壹反七畝貳步

此高拾壹石六升七合

同村辰新田本村の開作家居有之
但村の西山方

畑反合七反拾步

分米貳石壹斗壹升

石盛三

同村申新田往還筋茶屋古屋敷

屋敷壹反三畝貳拾八步

分米壹石三斗九升三合

石盛十

同村丑新田本村の浜方

但し本村の開作

田反合貳反四畝九步

分米壹石貳斗壹升五合

石盛五

下々畑合三町四反拾貳步

分米拾石貳斗壹升貳合

石盛三

屋敷八畝六步

分米壹斗三升貳合

石盛六

田畑合三町六反六畝貳拾七步

此高拾壹石五斗五升九合

同村新屋地子

屋敷壹反九畝六步

分米壹石九斗貳升

石盛十

屋敷貳反五畝四步

分米壹石五斗八合

石盛六

屋敷反合四反四畝壹步

此高三石四斗貳升八合

同村山新田 本村の開作

下々畑合六反七畝拾三步

分米貳石貳升三合

石盛三

正徳三巳改

同村 新畑 本村の開作

但本村の山方ニ有之

下々畑三反五畝拾五步

分米壹石六升五合

石盛三

同村樋口屋新田家居有之

但本村の浜方二有之

畑反合五町四反三畝廿壹步

訳

下畑貳町五反七畝六步

分米拾石貳斗八升八合

下々畑貳町七反八畝廿八步

分米八石三斗六升八合

屋敷七畝拾七步

分米七斗五升七合

畑反合五町四反三畝廿壹步

此高拾九石四斗壹升四合

田畑新田總合貳拾貳町壹反八畝貳拾九步

此高合百三石三斗六合

内老石六升五合 正徳三己改新畑

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候以上

享保五子年二月

同村年寄

八左衛門

同断

平 助

右之帳面吟味相違無御座候以上

大庄屋深江村

吉 兵衛

(表紙)

享保五子年

三条村本田新田反別書上帳

三月

深江組

兔原郡本庄

三条村

田反合拾三町七反拾六步

本村

分米百八拾三石壹斗壹升三合

訳

上田五町九反六畝廿五步

分米八拾九石五斗貳升五合 石盛十五

中田四町五反貳畝拾五步

分米五拾八石八斗貳升五合 石盛十三

下田三町貳畝七步

分米三拾三石貳斗四升六合 石盛十一

下々田壹反八畝貳拾九步

分米壹石五斗壹升七合 石盛八ッ

畑反合壹町四反壹畝七步

本村

分米拾四石三斗七升七合

訳

上畑貳反壹畝廿八步

分米貳石八斗五升壹合 石盛十三

中畑五畝拾九步

分米六斗壹升九合 石盛十一

下畑三反五畝壹步

分米貳石八斗三合 石盛八ッ

下々畑三反八步

分米壹石八斗壹升六合 石盛六ッ

屋敷四反八畝拾壹步

分米六石貳斗八升八合 石盛十三

田畑合拾五町壹反壹畝貳拾三步

此高百九拾七石四斗九升

同村新田家居無之 本村の開作

但し村の山方ニ有之

下々田貳畝貳拾步

分米貳斗壹升三合 石盛八ッ

畑反合四反六畝拾貳步

分米貳石貳斗九升八合

訳

下畑貳反貳畝三步

分米壹石三斗貳升六合 石盛六ッ

下々畑貳反四畝九步

分米九斗七升貳合 石盛四ッ

同村正徳三已改新畑本村の開作家居無之

但し村々山方ニ有之

下畑

分米四升壹合

石盛

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候以上

三条村庄屋

享保五子年三月

源

五

同村年寄

久兵衛

同断

四郎兵衛

(表紙)

享保五子年

津知村本田反別書上帳

三月

深江組

兔原郡本庄

津知村

田反合八町三反三畝拾四步

分米百四石三斗式升三合

訳

上田壺町六反八畝拾步

分米式拾五石式斗五升

中田四町壺反壺畝式拾式步

分米五拾三石五斗式升五合

下田壺町七反五畝式拾八步

分米拾九石三斗五升壹合

下々田七反七畝拾四步

分米六石壺斗九升七合

上畑六畝拾九步

分米八斗六升式合

下畑式拾五步

分米六升五合

屋敷壺反步

分米壺石三斗

田畑合八町五畝式拾八步

石盛十五

石盛十三

石盛十一

石盛八ツ

石盛十三

石盛八ツ

石盛十三

此高百六石五斗五升

兔原郡本庄

森村

田反合貳拾貳町八反七畝四步 本村

分米貳百七拾七石四斗八升壹合

訳

上田四町七反四畝壹步

分米七拾壹石壹斗五合 石盛十五

中田六町六反貳拾步

分米八拾五石八斗八升七合 石盛十三

下田九拾町四反三畝四步

分米百三石七斗四升五合 石盛十一

下々田貳町九畝九步

分米拾六石七斗四升四合 石盛八ツ

畑反合三町七反四畝拾八步 本村

分米三拾七石九斗四升壹合

訳

上畑六反九畝貳拾三步

分米九石七升 石盛十三

中畑五反貳拾五步

分米五石八升三合 石盛十ウ

(表紙)

享保五年

森村本田新田反別書上帳

子二月

深江組

下畑壹町貳反壹畝貳拾九步

分米九石七斗五升七合 石盛八ッ

下々畑四反四畝貳拾三步

分米貳石六斗八升六合 石盛六ッ

屋敷八反七畝八步

分米拾壹石貳斗四升五合 石盛十三

田畑合貳拾六町六反壹畝貳拾貳步

此高三百拾五石四斗貳升貳合

内

後三百拾五石三斗九升五合 本高

前貳升七合御檢地帖之間違有之御先代ニ

御改申上候所各帳面御改被下

此分御除被下候

同村已新田家居無之本村ノ開作

但し村ノ山方ニ有之各帳三冊

田反合壹反壹畝貳拾六步

分米七斗九合

訊

下田三畝貳拾五步

分米三斗七合 石盛八ッ

下々田八畝壹步

分米四斗貳合 石盛五ッ

畑反合四反六畝四步

分米壹石八斗六升四合

訊

下々畑四反五畝六步

分米壹石八斗八合 石盛四ッ

下々畑貳拾八步

分米五升六合 石盛六ッ

田畑合五反八畝步

此高貳石五斗七升三合

屋敷三畝貳拾貳步 新屋地子

分米四斗八升五合 石盛十三

反合拾町六反六畝五步 同村山年寅

分米拾石六斗六升貳合 石盛壹ッ

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候以上

森村庄屋

享保五子年二月 只 七

同村年寄

左五右衛門

同断

三左衛門

右之帳面吟味仕相違無御座候

大庄屋深江

吉兵衛

兔原郡本庄

中野村

田反合四町七反五畝貳拾壹步

分米六拾六石貳斗三升八合

内五斗三升

屋敷ニ成ル石盛違不引
但上田之内

訳

上田三町貳反貳畝拾三步

分米四拾八石三斗六升五合 石盛十五

中田八反貳畝貳拾八步

分米拾石七斗八升壹合 石盛十三

下田四反八畝貳拾五步

分米五石三斗七升貳合 石盛十壹

下々田貳反壹畝拾五步

分米壹石七斗貳升 石盛八ッ

畑反合壹町五畝九步 本村

分米拾壹石七斗六升貳合

内貳斗七升三合 田ニ成ル

訳

上畑四反九畝拾步

(表紙)

享保五年

中野村本田新田反別書上帳

子二月

深江組

分米六石四斗壹升四合 石盛十三

中畑四畝貳拾步

分米四斗六升六合 石盛十ウ

下畑貳反三畝三步

分米壹石八斗四升八合 石盛八ツ

下々畑九畝壹步

分米五斗四升貳合 石盛六ツ

屋敷壹反九畝五步

分米貳石四斗九升貳合 石盛十三

田畑合五町八反壹畝步

此高七拾八石

同村山新田家居無之本村ノ開作

但村ノ北山方ニ有之

下々畑合三反八畝拾三步

分米壹石壹斗五升三合 石盛三ツ

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候以上

中野村庄屋

享保五年子二月 甚 助

同村年寄

与右衛門

(表紙)

享保五年

小路村本田新田反別書上帳

三月

兔原郡本庄

小路村

田反合拾壹町七反五畝四歩 本村

分米百三拾九石三斗壹升六合

内四石四斗壹升六合 畑ニ成ル但盛違引申候

訳

上田壹町八反三畝歩

分米貳拾七石四斗五升 石盛十五

中田三町七反七畝拾六歩

分米四拾九石八升

下田四町五反三畝廿八歩

分米四拾九石九斗三升三合

下々田壹町六反廿歩

分米拾貳石八斗五升三合

畑反合貳町六反壹畝廿歩

分米三拾貳石三斗貳升六合

内九斗七升九合 田ニ成ル

訳

上畑壹町九反四畝七歩

分米貳拾五石貳斗五升 石盛十三

中畑三畝廿七歩

分米三斗九升 石盛十

下畑三反壹畝拾四歩

分米貳石五斗壹升七合 石盛八

屋敷三反貳畝貳歩

分米四石壹斗六升九合 石盛十三

田畑合拾四町三反六畝廿四歩

此高百七拾壹石六斗四升貳合

同村新田家居無之本村ノ開作

但し村ノ浜方ニ有之

下畑畝合三畝八歩

分米貳斗六升壹合 石盛八ツ

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候以上

小路村庄屋

享保五子年 安兵衛

同村年寄

甚兵衛

(表紙)

享保五子年

北畑村本田新田反別書上帳

三月

深江組

兔原郡本庄

北畑村

田反合貳拾壹町九反貳畝拾九步 本村

分米貳百七拾六石六斗貳升八合

内貳石七斗三升 畑ニ成盛違引有之

訳

上田四町壹反壹畝拾五步

分米六拾壹石七斗貳升五合 石盛十五

中田拾町三反六畝貳拾步

分米百三拾四石七斗六升七合 石盛十三

下田六町八反五畝貳拾八步

分米七拾五石四斗五升三合 石盛十一

下々田五反八畝拾六步

分米四石六斗八升三合 石盛八ツ

畑反合貳町六反九畝拾五步 本村

分米三拾壹石壹斗五升八合

訳

上畑壹町四畝拾壹步

分米拾三石五斗六升七合 石盛十三

中畑八反貳拾壹步

分米八石七斗 石盛十ウ

下畑貳反九畝三步

分米貳石三斗貳升八合 石盛八ツ

屋敷六反六畝拾步

分米七石壹斗九升三合 石盛十三

田畑合貳拾四町六反貳畝四步

此高三百七石壹斗五升

外ニ六斗三升五合 打出しニ而御座候所御検地

之節村へ被下置則各帳面ニ

十減有之

同村新田家居無之本村の開作

但し村の山方ニ有之

下々田九畝三步

分米七斗貳升八合

石盛八ツ

下々畑貳反七畝拾六歩

分米壹石三斗七升七合

石盛五ツ

田畑合三反六畝拾九歩

此高式石壹斗五合

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候以上

北畑村庄屋

享保五子年三月

善太郎

同村年寄

善左衛門

同断

彦左衛門

(表紙)

享保五年

田辺村本田新田反別書上帳

子二月

深江組

兔原郡本庄

田辺村

田反合七町貳反貳畝廿七歩

本村

分米八拾四石九斗八升六合

訊

上田五反六畝七歩

分米八石四斗三升五合

石盛十五

中田三町四畝廿七歩

分米三拾九石六斗三升七合

石盛十三

下田貳町六反五畝廿三步

分米貳拾九石貳斗三升四合 石盛十一

下々田九反六畝歩

分米七石六斗八升 石盛八ツ

畑反合五反八畝拾壹歩

分米六石四斗四升四合

訳

下々畑壹反六畝拾歩

分米九斗八升 石盛六ツ

屋敷四反貳畝壹歩

分米五石四斗六升四合 石盛十三

田畑合七町八反壹畝八歩

此高九拾壹石四斗三升

同村新田家居無之本村の開作

但し村の山方ニ有之

下畑壹反貳畝廿五歩

分米六斗四升貳合 石盛五ツ

同村成山新田家居無之本村の開作

下畑反合三反三畝拾壹歩

分米貳石貳合 石盛六ツ

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候以上

享保五子年三月

田辺村庄屋

市郎兵衛

同村年寄

庄左衛門

同断

治左衛門

右之帳面吟味仕相違無御座候以上

大庄屋深江

吉兵衛

(表紙)

享保五年

田中村本田反別書上帳

子二月

深江組

兔原郡山路庄

田中村

田反合拾壹町三反九畝七步 本村

分米百拾五石五斗壹升四合

訳

上田三町貳反六畝拾五步

分米三拾九石壹斗八升 石盛十二

中田五町六反五畝貳拾三步

分米五拾六石五斗七升七合 石盛十ウ

下田貳町四反六畝貳拾九步

分米拾九石七斗五升七合 石盛八ツ

畑反合四反四畝拾七步

分米貳石三斗九升六合

本村

訳

上畑八畝貳拾步

分米六斗九升三合 石盛八ツ

中畑壹畝貳拾三步

分米壹斗六合 石盛六ツ

下畑貳反壹畝拾五步

分米八斗六升 石盛四ツ

屋敷壹反貳畝拾九步

上中下畑入込

分米七斗三升七合

内上畑四畝廿九步 分米三斗九升七合

中畑壹畝廿步 分米壹斗

下畑六畝 分米貳斗四升

田畑合拾壹町八反三畝貳拾四步

此高百拾八石壹斗七升

内貳斗六升 無帳弁高

右之通本田反別位附石盛相違無御座候以上

田中村庄屋

九兵衛

享保五子年三月日

同村年寄

孫右衛門

同断

安左衛門

右之帳面吟味仕相違無御座候以上

大庄屋深江村

吉兵衛

(表紙)

享保五年

岡本村本田新田反別書上帳

子二月

深江組

兔原郡山路庄

岡本村

田反合四拾町五反七畝拾九步 本村

分米三百八拾四石式斗四升

内四石六斗四升 屋敷ニ成但し盛違引無之

四斗五升 畑ニ成盛違引有之

訊

上田式町三反式畝式拾六步

分米式拾七石九斗四升四合 石盛十二

中田式拾五町壹反五畝式拾式步

分米式百五拾壹石五斗七升三合 石盛十ウ

下田拾三町九畝壹步

分米百四石七斗式升三合 石盛八

畑反合四町八反三畝六步 本村

分米式拾八石五斗九合

訊

上畑四反步

分米三石式斗 石盛八

中畑九反七畝拾壹步

分米五石八斗四升式合 石盛六

下畑式町五畝步

分米八石式斗 石盛四

屋敷壹町四反式拾五步

分米拾壹石式斗六升七合 石盛八

田畑合四拾五町四反式拾五步

此高四百拾式石七斗四升九合

内式拾九石六斗七升八合 新田

是ハ本田打出し百五石七斗四升九合之丙

新田成各帖面本田入込

残テ三百八拾三石壹斗三升壹合 本高

同村年々新田家居無之本村の開作

但し村の山方ニ有之

下田壹畝貳拾五歩

分米壹斗四升七合

石盛八

上畑貳拾歩

分米五升三合

石盛八

下畑六反貳畝廿七歩

分米貳石五斗壹升六合

石盛四

田畑反合六反五畝拾貳歩

此高貳石七斗壹升六合

同村丑新田家居無之本村の開作

但し村の山方ニ有之

下畑四反九畝貳拾五歩

分米壹石九斗九升三合

石盛四

同村正徳ニ辰改新田家居無之村の開作

但し村の山方ニ有之

下畑壹畝拾九歩

分米六升五合

石盛四

下々畑三反三畝拾六歩

分米壹石六合

石盛三

畑反合三反五畝五歩

此高壹石七升壹合

同村新屋地子本村開作

屋敷九畝八歩

分米七斗四升三合

石盛八ツ

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候以上

岡本村庄屋

享保五子年二月

同村年寄

若太夫

同断

庄左衛門

右之帳面吟味仕相違無御座候以上

大庄屋深江村

吉兵衛

(表紙)

享保五子年

野寄村本田新田反別書上帳

三月 日

兔原郡山路庄

野寄村

田反合拾八町三反三畝貳步

本村

分米百六拾四石壹斗七升八合

内五石九斗六升壹合 畑ニ成但盛違引有之

壹斗三升六合 屋敷成但盛違引無之

訳

上田三町貳拾九步

分米三拾六石壹斗壹升六合 石盛十二

中田貳町七反四畝貳拾壹步

分米貳拾七石四斗七升 石盛八

下田拾貳町五反七畝拾貳步

分米百石五斗九升貳合 石盛四

畑反合三町四反壹畝拾壹步

本村

分米拾七石壹斗七升九合

内貳斗五升貳合 屋敷ニ成ル但盛違引無之

訳

上畑貳反貳拾九步

分米壹石六斗七升七合 石盛八

中畑壹反壹畝貳拾七步

分米七斗壹升四合 石盛六

下畑貳町四反七畝九步

分米九石八斗九升貳合 石盛四

屋舗六反壹畝六步

分米四石八斗九升六合 石盛八

田畑合貳拾壹町七反四畝拾三歩

此高百八拾壹石三斗五升七合

同村新田家居無之本村ノ開作

但し村ノ浜方ニ有之

下田五畝廿九歩

分米四斗七升七合

石盛八ツ

畑反合七反七步

享保五子年三月

同断 伝兵衛[㊤]

分米三石六斗九升壹合

同村庄屋

訳

宗 官[㊤]

中畑四反四畝三步

石盛六ツ

分米貳石六斗四升六合

下畑貳反六畝四步

石盛四ツ

分米壹石四升五合

田畑反合七反六畝六步

此高四石壹斗六升八合

同村申新田家居無之本村の開作

但し村の浜方ニ有之

下畑反合六畝拾六步

分米貳斗六升壹合

石盛四ツ

同村新屋地子

屋敷三畝三步

分米貳斗四升八合

石盛八ツ

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候以上

野寄村年寄

伊太夫[㊤]

(表紙)

享保五年

横屋村本田新田反別書上帳

子二月

深江組

兔原郡山路庄

横屋村

田反合三拾貳町貳反三畝八步 本村

分米三百八拾五石五斗三升六合

内六石八斗貳合 畑ニ成但盛違引有之

五石八斗五升六合 屋敷ニ成但盛違引無之

訳

上々田四反三畝廿三步

分米六石壹斗貳升七合 石盛十四

上田拾九町壹反八畝四步

分米貳百四拾九石三斗五升七合 石盛十三

中田三町九反壹畝拾六步

分米四拾三石六升九合 石盛十一

下田八町六反九畝廿五步

分米八拾六石九斗八升三合 石盛十

畑反合三町六反四畝拾七步 本村

分米貳拾九石五斗九升三合

内九斗三升八合 畑ノ内屋敷ニ成但盛違引

三石七升六合 屋敷之内田ニ成

訳

上畑貳反九畝壹步

分米貳石九斗四合 石盛十

中畑四反四畝九步

分米三石五斗四升四合 石盛八

下畑壹町四反九畝拾四步

分米八石九斗六升八合 石盛六

屋敷壹町四反壹畝廿三步

分米拾四石壹斗七升七合 石盛十

田畑反合三拾五町八反七畝廿五步

此高四百拾五石壹斗貳升九合

同村沢村新田家居無之本村ノ開作

但村ノ浜方ニ有之各帳式冊

田反合壹町貳反五畝九步

分米拾三石四斗六升三合

内貳石九升 畑ニ成但盛違引無之

訳

中田九反三畝拾壹步

分米拾石貳斗七升 石盛十一

下田三反壹畝廿八步

分米三石壹斗九升三合 石盛十

畑反合壹町五反貳畝歩

分米八石九斗八升六合

訊

中畑貳反六畝拾壹歩

分米貳石壹斗九合

下畑九反貳畝拾八歩

分米五石五斗五升六合

下々畑三反三畝壹歩

分米壹石三斗貳升壹合

田畑反合貳町七反七畝九歩

此高貳拾貳石四斗四升九合

同村河原新田家居無之本村に開作

但村に西に有之

下畑反合四反四畝九歩

分米貳石六斗五升八合

同村新屋地子

但村に浜方に有之

屋敷反合壹反壹畝拾八歩

分米壹石壹斗六升

下畑貳拾四歩

分米四斗八合

屋敷下畑反合壹反貳畝拾貳歩

此高壹石貳斗八合

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候以上

横屋村庄屋

宗右衛門

享保五子年二月

同所年寄

長右衛門

同断

五郎左衛門

同断

忠兵衛

右之帳面吟味仕相違無御座候以上

大庄屋深江村

吉兵衛

石盛六

(表紙)

魚崎村

本田新田反別書上帳

魚崎村

兔原郡山路庄

魚崎村

田反合三町六反三畝

本村

分米四拾石貳斗七升壹合

内壺石壹斗六升七合 畑二成但盛違引

訳

上田四反八畝貳拾八歩

分米六石三斗六升壹合

石盛十三

中田貳町五反九歩

分米貳拾七石五斗三升三合 石盛十一

下田六反三畝貳拾三歩

分米六石三斗七升七合

石盛十

畑反合四反壺畝貳拾四歩

本村

分米三石八斗七升

訳

中畑壹反貳畝拾九歩

分米壺石三升七合

石盛八

下畑壺畝八歩

分米七升六合

石盛六

屋敷貳反七畝十七歩

分米貳石七斗五升七合

石盛十

田畑合四町四畝廿四歩

此高四拾四石壺斗四升貳合

同村丑新田家居無本村ノ開作

但村ノ北南又大川西ニ有之

下畑反合九反四畝九歩

此高五石六斗五升八合

石盛六

同村新田家居有本村ノ開作

但村ノ西又大川西ニ有之

田反合八町貳反六畝拾貳歩

分米九拾石四斗六升五合

田畑合拾三町五畝五步

内八石九斗八升八合

畑成ル盛違

此高百貳拾七石八斗八升六合

訳

同村戌新田家居無本村ノ開作

上田九反九畝拾三步

但村ノ西南又大川中大川西二有之

分米拾貳石九斗貳升六合

石盛十三

下田反合八畝貳步

石盛十

中田四町八反三畝廿六步

分米八斗七合

石盛十

分米五拾三石貳斗貳升五合

石盛十一

下畑反合八反六畝拾壹步

石盛六

下田貳町四反三畝三步

石盛十

分米五石壹斗八升貳合

石盛六

分米貳拾四石三斗壹升

石盛十

田畑合九反四畝拾三步

石盛六

畑反合四町七反八畝廿三步

此高五石九斗八升九合

分米三拾七石四斗貳升四合

石盛十

同村子新田家居有本村ノ開作

訳

但村ノ浜又大川中大川西二有之

上畑六反四畝貳拾三步

下々畑反合壹町八反五畝貳步

石盛五

分米六石四斗七升六合

石盛十

此高九石貳斗五升三合

石盛五

中畑壹町壹反三畝貳拾三步

石盛八

同村新屋

分米九石壹斗壹合

石盛八

反合五反九畝貳拾六步

石盛十

下畑貳町四畝拾貳步

石盛六

此高五石九斗八升八合

石盛十

分米拾貳石貳斗六升四合

石盛六

新田五口總反合壹町三反八畝廿貳步

屋敷九反五畝廿五步

石盛十

此高合百五拾四石七斗七升四合

分米九石五斗八升三合

石盛十

(表紙)

享保五年

西青木村本田新田反別書上帳

子二月

深江組

兔原郡山路庄

西青木村

本村

田反合拾六町壹反拾七步

分米百八拾九石八斗八升七合

内壹石七斗壹升

屋敷ニ成石盛違不引

訳

上々田壹町五畝五步

分米拾四石七斗貳升三合

石盛十四

上田六町五畝貳拾八步

分米七拾八石七斗七升壹合

石盛十三

中田四町八反三畝貳拾壹步

分米五拾三石貳斗七合

石盛十一

下田貳町三反四畝拾五步

分米貳拾壹石壹斗五合

石盛九ツ

上田六反四畝貳拾三步

福井地床

分米八石四斗貳升

石盛十三

中田貳反貳畝貳拾九步

同断

分米貳石五斗貳升六合

石盛十一

下田貳反壹畝六步

同断

分米壹石九斗八合

石盛九ツ

上田六反三畝拾五步

東青木村地床

分米八石貳斗五升五合

石盛十三

中田八畝貳拾五步

同断

分米九斗七升貳合

石盛十一

畑反合壹町八反壹畝貳步

本村

分米拾四石貳斗四升七合

訳

上畑壹反六畝步

分米壹石六斗

石盛十ウ

中畑五反五畝貳拾步

分米四石四斗五升三合

石盛八ツ

下畑壹畝貳拾步

未新田

下畑五反八畝拾步

石盛六ツ

分米壹斗

石盛六ツ

分米三石五斗

石盛六ツ

下々畑貳反壹畝拾五步

午新田

屋敷三反六畝拾步

石盛十ウ

分米八斗六升

石盛四ツ

分米三石六斗三升三合

石盛十ウ

田畑合八反七畝拾貳步

上畑四畝拾三歩

福井地床

此高六石七斗四升壹合

分米四斗四升三合

石盛十ウ

右之通本田新田反別位付石盛相違無御座候以上

下畑壹反九歩

石盛六ツ

享保五年子二月

西青木村庄屋

分米六斗壹升八合

石盛六ツ

享保五年子二月

新兵衛

田畑合拾七町九反壹畝拾九歩

石盛六ツ

同村年寄

此高貳百四石壹斗三升四合

已改新田水帳表

太郎兵衛

内拾七石八斗四升四合

但シ右本途之内入込有之

殘百八拾六石貳斗九升

本高

同村浜新田家居無之本村ノ開作

下田反合六反四畝七歩

未新田

分米五石七斗八升壹合

石盛九ツ

畑反合貳反三畝五歩

分米九斗六升

訳

(表紙)

享保五年

東青木村本田新田反別書上帳

子二月

深江組

兔原郡本庄

東青木村

田反合七町七反五畝貳拾歩 本村

分米百八石貳斗九升三合

内五斗三升 屋敷ニ成石盛違不引

訳

上田四町六反六畝拾九歩

分米六拾九石九斗九升五合 石盛十五

中田貳町壹反五畝六歩

分米貳拾七石九斗七升六合 石盛十三

下田九反三畝貳拾五歩

分米拾石三斗貳升貳合 石盛十一

畑反合貳町七反四畝貳拾壹歩 本村

分米貳拾八石五斗五升壹合

訳

上畑七反貳畝貳拾四歩 石盛十三

分米九石四斗六升四合

中畑五反七畝三歩

分米五石七斗壹升 石盛十ウ

下畑九反貳畝三歩

分米七石三斗六升八合 石盛八ツ

下々畑貳拾五歩

分米五斗 石盛六ツ

屋敷四反貳拾歩

分米五石貳斗八升七合 石盛十三

下々畑壹反壹畝六歩 堤敷

分米六斗七升貳合 石盛六ツ

田畑合拾町五反拾壹歩

此高百三拾六石八斗四升四合

同村新田家居無之本村ノ開作

但シ村の東浜方有之

田反合壹町五反七畝拾四步

分米拾三石九斗六升三合

訊

中田六反八畝八步

分米六石八斗貳升七合

下田八反九畝六步

分米七石壹斗三升六合

畑反合壹町五反八畝壹步

分米九石三斗五升九合

訊

下畑壹町五反壹畝貳拾七步

分米九石壹斗壹升四合

下々畑六畝四步

分米貳斗四升五合

田畑合三町壹反五畝拾五步

此高貳拾三石三斗貳升貳合

同村丑新田家居無之本村の開作

但シ本途入込各帳二冊

下畑七畝步

分米四斗貳升

下々畑三畝六步

分米壹斗九升貳合

畑合壹反六步

此高六斗壹升貳合

同村新屋地子各帳三冊

屋敷合四畝三步

分米五斗三升三合

屋敷合壹反貳拾步

分米八斗五升三合

屋敷合壹反四畝貳拾三步

此高壹石三斗八升六合

總新田畑合三町四反拾四步

此高貳拾五石三斗貳升

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候以上

東青木村庄屋

八十七

享保五年子二月

同村年寄
清兵衛

同断

六兵衛

兔原郡本庄

深江村

田反合三拾八町九反五畝四步 本村

分米四百四拾九石八斗五升

訳

上田壹町壹反六畝八步

分米拾七石四斗四升

石盛十五

中田拾貳町貳反壹畝壹步

分米百五拾八石七斗三升四合 石盛十三

下田貳拾三町壹畝拾九步

分米貳百五拾三石壹斗八升 石盛十一

下々田貳町五反六畝六步

分米貳拾石四斗九升六合 石盛八ツ

畑反合六町九反九畝拾七步

本村

分米六拾七石八斗九升三合

内六石壹斗壹升六合 中畑之内屋敷ニ成ル

盛違不引

訳

上畑六畝貳拾七步

分米八斗九升七合

石盛十三

(表紙)

享保五年

深江村本田新田反別書上帳

子二月

深江組

中畑三町壹反九畝拾五步

分米三拾壹石九斗五升

石盛十ウ

畑反合貳町七反三畝貳拾八步

分米貳拾貳石三升五合

下畑壹町三反三畝八步

分米拾石六斗六升壹合

石盛八ツ

訊

中畑貳反九畝貳拾壹步

下々畑九反七畝五步

分米五石八斗三升

石盛六ツ

分米貳石九斗七升

石盛十ウ

屋敷壹町四反貳畝貳拾貳步

分米拾八石五斗五升五合

石盛十三

分米拾七石六斗四升三合

石盛八ツ

田畑合四拾五町九反四畝貳拾壹步

此高五百拾七石七斗四升三合

同村外新田家居無之本村ノ開作

分米壹石四斗貳升貳合

石盛六ツ

田畑合六町九反六畝貳拾八步

此高六拾四石五斗九升五合

田反合四町貳反三畝

分米四拾貳石五斗六升

訊

内

拾七石五斗四升貳合 本途之内入込有之

内拾壹石五斗三升五合 田方

中田四畝貳拾七步

分米六斗三升七合

石盛十三

六石七合 畑方

貳拾四石七斗八升九合 村ノ東浜方ニ有之

下田貳町八反貳畝拾五步

分米三拾壹石七升五合

石盛十一

内拾四石九斗八升九合 田方

九石八斗 畑方

下々田壹町三反五畝拾八步

分米拾石八斗四升八合

石盛八ツ

八石三斗三升四合

村ノ西浜方ニ有之

内壹石五斗六升三合

畑方

六石七斗七升壹合

田方

此高式拾三石壹斗七升五合

拾三石九斗三升

村之前浜方ニ有之

同村正徳三已改新烟家居無之堤外

内九石貳斗六升五合

田方

下々畑合壹反八畝貳拾七步

四石六斗六升五合

畑方

分米壹石壹斗三升四合

石盛六ツ

同村年々新田家居無之本村ヲ開作

新屋敷壹畝貳步

村ノ東南西浜方ニ有之 各帳七冊

分米八升五合

石盛八ツ

但貞享之子新田高式石九斗壹升貳

右之通本田新田反別位附石盛相違無御座候以上

合本途之内入込有之

深江村年寄

田反下々田合七反六畝貳步

享保五年子二月

弥惣右衛門

分米六石八升六合

石盛八ツ

同断

畑反合貳町八反三畝貳拾壹步

仁左衛門

分米拾七石八升九合

同断

訳

新兵衛

下畑三畝拾壹步

右之帳面吟味仕相違無御座候

以上

分米貳斗六升九合

石盛八ツ

深江村大庄屋

下畑三反八步

吉兵衛

分米壹石八斗壹升六合

石盛六ツ

下々畑貳町五反貳步

分米拾五石四合

石盛六ツ

田畑合三町五反九畝貳拾三步

天和二年

深江村田畑名寄帖

戌

三月吉日

藤右衛門

志れ田

中田 八畝貳拾四歩 壺石壹斗四升四合

あしはら

中田 □□□□三歩 壺石三斗壹升三合

中嶋

中畑 □畝貳拾四歩 「五斗八升

寅年々清兵五高へ入

西中嶋

中畑 貳畝貳拾八歩 貳斗九升四合

長頭

下田 八畝貳拾三歩 九斗六升五合

堤ヶ内

下田 八畝貳拾歩 九斗六升三合

屋敷 貳畝拾貳歩 三斗壹升貳合

分米合五石五斗六升壹合

内

本高四石四斗三合

出目壺石壹斗五升八合

利右衛門

嶋畑

上田 八畝貳拾壹歩 壺石三斗五合

植本

中田 三畝貳拾四歩 四斗九升四合

同所

中田 四畝貳拾歩 六斗七合

しんしやう

下田 八畝貳拾壹歩 九斗五升七合

河原田

下田 壹反貳拾貳步 壹石壹斗八升壹合

くり坪

下田 貳畝六步 「貳斗四升貳合」

串田 巳ノ年ノ九郎兵衛高へ入

中田 六畝貳步 七斗八升九合

串田 中田 壹反六畝七步 貳石壹斗壹升壹合

くり坪

下田 拾四步 「五升貳合」

永井 巳ノ年ノ九郎兵衛高へ入

下々田 壹反壹畝八步 九斗貳合

芦原 五畝貳拾七步 六斗四升九合

下田 下田 「壹反壹畝拾壹步」 壹石貳斗五升

深田 巳ノ年ノ市左衛門高へ入

中嶋

下々畑 拾八步 三升六合

同所

下々畑 貳拾七步 五升四合

同所

下畑 五畝八步 四斗四合

しりのお

下畑 四畝拾步 三斗四升七合

志田

中畑 四畝三步 四斗壹升

屋敷 壹畝步 壹斗三升

しんしやう中田 壹反六畝八步 貳石壹斗壹升五合

戊年ノ高へ入

同所 下田 六畝拾五步 七斗壹升壹合

同断

分米合拾壹石九斗貳升

内

かなげ田 下田 壹反六畝拾六步 壹石八斗壹升五合

本高 七石六斗六升 辰ノ年ノ高二成

出目 四石貳斗六升

かなげ田

中畑 三畝四歩

三斗壹升四合

寅ノ年ノ高へ入

六兵衛

こちた

下田 五畝拾八歩

「六斗壹升六合

同所 卯ノ年ノ作右エ門高へ入

四つ松

下田 式拾四歩

八升八合

こちた

下田 五畝拾八歩

六斗壹升六合

巳ノ年ノ高二成

屋敷 壹畝九歩

分米合式斗五升七合 本高

かなげだ

下田 七畝九歩

八斗三合

午ノ年ノ高へ入

嶋畑

上田 八畝拾五歩

壹石式斗七升五合

中嶋

下々畑 式畝式拾歩

壹斗六升

丙ノ年ノ高へ入

のより

下田 壹反三歩

下田 壹反壹畝拾九歩 壹石五斗壹升三合

同所

下畑 三畝拾六歩

式斗八升三合

丙ノ年ノ高へ入

松苗

中田 壹反壹畝拾九歩

同所 式畝拾八歩

同所 式畝三歩

同所

下々畑 壹畝拾三歩

八升六合

丙ノ年ノ高へ入

嶋畑

下畑 拾五歩

同所 四升

中畑 壹畝貳拾貳歩 壹斗七升四合

中嶋 壹畝拾歩 壹斗八升四合

中畑 壹畝拾歩 壹斗八升四合

屋敷 貳拾七歩 壹斗壹升七合

分米合四石九斗八升三合

内 本高三石五斗三升

出目壹石四斗三合

嶋畑 上田 壹反三畝歩 壹石九斗五升

上田 壹反三畝歩 壹石九斗五升

こちら田 未ノ年ノ高へ入

下田 壹反四畝廿歩 壹石六斗壹升四合

下田 壹反四畝廿歩 壹石六斗壹升四合

戊ノ年ノ高へ入

市兵衛

嶋畑 上田 壹反三畝歩 「壹石九斗五升

上田 壹反三畝歩 「壹石九斗五升

未ノ年ノ源兵衛高二成

かなげ田

下田 壹反六畝拾六歩 「壹石八斗壹升五合

辰年ノ利右工門高二成

同所 下田 七畝九歩 「八斗三合

下田 七畝九歩 「八斗三合

午ノ年ノ利右衛門高二成

屋敷 壹畝八歩 「壹斗六升五合

屋敷 壹畝八歩 「壹斗六升五合

未ノ年ノ清兵衛高二成

屋敷 拾壹歩 「四升八合

同断

分米合四石七斗八升壹合

内 屋敷拾五歩 六升五合

本高貳石九斗七升九合 未ノ年ノ高二成

出目壹石八斗貳合

次左衛門

嶋畑 上田 九畝拾壹歩 壹石四斗五合

上田 九畝拾壹歩 壹石四斗五合

堤内 下田 五畝貳拾六歩 六斗四升六合

木の本

下田 八畝貳拾六歩 九斗七升六合
 とがり
 下田 七畝貳拾四歩 八斗五升八合
 同所
 中田 四畝貳拾五歩 六斗貳升九合
 植本
 中田 九畝貳拾八歩 壹石貳斗九升貳合
 中嶋
 中畑 貳畝貳拾七歩 貳斗九升
 志田
 中畑 貳畝八歩 貳斗貳升七合
 屋敷 壹畝拾五歩 壹斗九升五合
 分米合六石五斗壹升八合
 内
 本高六石壹升八合
 出目五斗
 木の本
 下田 七畝拾七歩 八斗三升三合
 同所 丑ノ年ノ高
 へ入
 中田 七畝拾歩 九斗五升四合 同断

木の本
 中田 八畝拾七歩 壹石壹斗壹升四合
 戌ノ年ノ高へ入
 前田
 中田 八畝八歩 壹石七升五合
 吉左衛門
 くり坪
 下田 貳畝八歩 貳斗五升
 永田
 下田 壹反七畝貳拾貳歩 壹石九斗五升壹合
 東口
 中田 七畝拾四歩 九斗七升壹合
 墓後
 下田 四畝六歩 四斗六升貳合
 同所
 下畑 壹反貳畝三歩 九斗六升八合
 志田
 中畑 貳畝拾七歩 貳斗五升七合
 同所

中畑 四畝拾八歩 「四斗六升

辰ノ年ノ忠左衛門高二成

嶋畑

八畝拾歩

「壹石貳斗五升

屋敷 三畝歩 三斗九升

上畑拾五歩 六升五合

屋敷廿六歩 壹斗壹升三合

午ノ年ノ高へ入

うしろ

中田 三畝六歩

「四斗壹升六合

分米合六石七斗八升四合

内

本高三石壹斗壹升四合

出目三石六斗七升

くり坪

下田 貳畝貳拾四歩 三斗八合

辰ノ年ノ高へ入

このへ

下田 貳畝八歩

貳斗五升

同所

下田 貳畝四歩

貳斗三升五合

木の本

下田 貳畝拾八歩

「貳斗八升六合

同所

下田 貳畝六歩

貳斗四升貳合

巳ノ年ノ高へ入

永井

下田 壹反六歩

「三石壹斗貳升貳合

同所

下田 拾四歩

五升貳合

同断

墓後

下々田 壹反九畝拾歩

「壹石五斗四升七合

午ノ年ノ魚崎

彦太郎高二成

利兵衛

墓後

巳ノ年ノ住吉五郎

左衛門高二成

下田 壺反式畝三步 「壺石三斗三升壺合

同断

与左衛門

同所

下々田 壺畝九歩

「壺斗四合

同断

嶋畑

上田 八畝八歩

壺石式斗四升

のより

下田 壺反八歩

「壺石壺斗三升

午ノ年ノ与三衛門
高二成

同所

下畑 式畝八歩

「壺斗八升式合

同断

同所

中田 五畝歩

六斗五升

ゑばた

未ノ年ノ利兵衛高二成

同所

下田 五畝式拾式歩

「六斗三升壺合

同所

六畝式拾五歩

八斗八升九合

東口

午ノ年ノ魚崎彦太郎高
二成

同所

中田 四畝拾八歩

五斗九升八合

中畑

壺畝拾九歩

「壺斗六升四合

かなげ田

下田 壺反壺畝八歩

壺石式斗四升

屋敷

壺畝式拾歩

式斗壺升七合

松苗

分米合七石七斗三升五合

下田

壺反九畝式拾四歩

式石壺斗七升八合

内

道ノ下

本高五石九斗三升式合

下田

壺畝拾三歩

壺斗五升八合

出目壺石八斗三合

堤ケ内

下田 九畝貳拾五歩 壹石八升貳合
しんしやう

中田 壹反六畝八歩 〔貳石壹斗壹升五合〕

戌年ノ利衛門高へ入

同所

下田 六畝拾五歩 〔七斗壹升壹合〕

戌年同人高へ入

中嶋

下畑 六畝九歩 五斗四合

同所

下畑 貳畝八歩 壹斗八升貳合

屋敷 壹畝九歩 壹斗六升九合

屋敷 壹畝九歩 壹斗六升九合

分米合拾三石壹升五合

内

本高拾石五斗三升四合

出目貳石四斗八升壹合

上田 壹反六畝歩 貳石四斗

同所 壹畝五歩 壹斗貳升九合

泉ノ坪

下田 壹反六歩 壹石壹斗貳升貳合

同所

下田 壹畝貳拾四歩 壹斗九升八合

同所

下田 貳拾五歩 九升貳合

同所

下田 拾三歩 四升八合

同所

下田 貳畝拾歩 貳斗五升七合

長頭

下田 七畝貳拾七歩 八斗六升九合

同所

下田 八畝七歩 九斗六合

高井

下田 壹反壹畝貳歩 壹石貳斗壹升八合

永井

嶋畑

吉兵衛

下田 壹反壹畝貳拾步 壹石貳斗八升四合

亥年ノ高二成

西ゑた

同所

中田 壹反壹畝壹步 壹石四斗三升五合

下田 七畝六步 七斗九升貳合

植本

同断

下田 六畝拾六步 七斗壹升九合

分米合拾四石七斗五升六合

同所

まへ

中田 六畝拾八步 八斗五升八合

中畑 壹畝拾九步 壹斗六升五合

大日前

子年ノ高へ入

中畑 五畝九步 五斗三升

清兵衛

中畑 五畝貳拾壹步 五斗七升

同所

下田 壹反貳拾八步 壹石貳斗三合

中畑 貳畝拾六步 貳斗五升四合

未年権左衛門高成

分米合拾貳石八斗八升九合

はま 壹畝拾壹步 丑年ノ高へ入

本高八石九斗貳升三合

内 出目三石九斗六升六合

こたぼね

同所

下田 九畝貳拾三步 壹石七升五合

中田 五畝拾貳步 七斗貳合

堤ヶ内

下田 八畝拾六歩

〔九斗三升九合

未ノ年ノ同所高二成

未ノ年ノ魚五兵衛
高二成

同所

下田 九畝拾六歩

〔老石四升九合 同断

墓後

下々田 老反拾貳歩

〔八斗三升貳合

同断

前田

下田 老反拾九歩

老石老斗七升

芦原

下田 三畝貳拾八歩

未ノ年ノ魚ノ五兵衛
高二成

同所

下田 老反三畝拾四歩

老石四斗八升貳合

下田

三ノ坪

四斗三升三合

同所

下田 八畝拾六歩

九斗三升九合

下田

老反拾老歩

老石老斗四升老合

同所

下田 八畝三歩

八斗九升老合

浜田

下田 一六畝九歩

〔六斗九升三合

同所

下田 七畝六歩

七斗九升貳合

永田

老反七畝貳拾貳歩

老石九斗五升

未ノ年ノ五郎左衛門
高へ入

くり坪

下田 六畝五歩

〔六斗七升九合

植本

中田 七畝拾歩

九斗五升四合

同所

下田 老畝九歩

〔老斗四升三合

東口

中田 老畝貳拾三歩

〔貳斗三升四合

同所

辰ノ年ノ弥兵衛高二成

かんて

下々畑 式畝拾貳歩

壹斗四升四合

同所

下々畑 式畝貳拾四歩

壹斗六升八合

中嶋

中畑 式畝拾八歩

貳斗六升

志田

中畑 五畝拾八歩

五斗六升

同所

中畑 六畝八歩

六斗貳升七合

同所

下畑 壹畝七歩

〔九升九合

中嶋

中畑 式畝拾四歩

貳斗四升七合

屋敷 壹畝貳拾六歩

貳斗四升三合

屋敷 壹畝拾六歩

貳斗

屋敷 拾五歩

〔六升五合

未ノ年ノ市兵衛高二成

分米合式拾貳石貳斗八升四合

内

本高拾八石貳斗貳升

屋敷壹畝八歩

出目四石六升四合

屋敷拾壹歩

中嶋中畑五畝貳拾四歩

五斗八升

〔八歩 二升五合

〔辰年ノ仁左門高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

〔未ノ年ノ高へ入

若 太 夫

北 口

上 田 六 畝 拾 歩 九 斗 五 升

松 苗

下 田 六 畝 歩 「六 斗 六 升

こ ち た 申ノ年ノ清左衛門高 二成

下 田 三 畝 拾 四 歩 「三 斗 八 升 式 合

中 嶋 子ノ年ノ清左衛門高 二成

下 畑 式 畝 式 拾 三 歩 「式 斗 式 升 壹 合

屋 敷 拾 六 歩 六 升 九 合 申ノ年ノ清左衛門高 二成

分 米 合 式 石 壹 斗 七 升 壹 合 屋 敷 式 拾 壹 歩 九 升 壹 合

内 浜 若 太 夫 高 二 成

本 高 七 斗 四 升 式 合 下 畑 式 畝 拾 七 歩 式 斗 六 合

出 目 壹 石 四 斗 式 升 九 合 上 畑 拾 五 歩 六 升 五 合

く い ち 丑ノ年ノ高へ入 午ノ年ノ清左衛門高 二成

丑ノ年ノ高へ入

清 十 郎

松 苗

下 田 六 畝 歩 「六 斗 六 升

午ノ年ノひりや忠兵衛高へ成

く り 坪

下 田 「六 畝 拾 六 歩 「七 斗 壹 升 九 合

丑ノ年ノ茂兵衛高へ入

中 嶋

下 畑 式 畝 式 拾 式 歩 「式 斗 壹 升 九 合

午年ノひりや忠兵衛高二成

浜

中 畑 式 畝 式 拾 八 歩 「式 斗 九 升 四 合

未年ノ甚助高二成

浜

下 畑 式 畝 拾 七 歩 「式 斗 六 合 丑ノ年ノ若 太 夫 高 二 成

か り ち

上 畑 壹 畝 歩 壹 斗 三 升 清 十 郎 分 午 年 ノ 九 郎 兵 衛 高 二 成

内 拾 五 歩 若 太 夫 高 へ 入 清 十 郎 分 午 年 ノ 九 郎 兵 衛 高 二 成

屋 敷 壹 畝 拾 七 歩 式 斗 四 合 午 年 ノ 九 郎 兵 衛 高 二 成

内 式 拾 壹 歩 九 升 壹 合 若 太 夫 高 へ 入 高 二 成

分米合式石四斗三升式合

内

〔本高老石壹斗七升六合

〕出目老石式斗五升六合

こちら田

下田 三畝拾四歩 〔三斗八升式合

子ノ年ノ高へ入

丑年ノ魚崎利兵衛高へ入

分米合老石八斗式升四合

内

本高五斗六升八合

出目老石式斗五升六合

松苗

〔下田六畝歩 六斗六升
午年ノひりや忠兵衛高二成

申ノ年ノ高へ入

中嶋

〔下畑式畝廿三歩
式斗式升壹合
丑年ノ清兵衛
高へ成

申年ノ高へ入

同断

うしろ

中田 式畝式拾壹歩 三斗五升壹合

同所

中田 拾五歩

六升五合

寅年 七左衛門高二成

志れ田

中田 壹畝式拾三歩

老石四斗

寅年七左エ門高二成

永井

中田 七畝拾八歩

九斗八升八合

こちら田

中田 壹反四畝拾七歩 老石八斗九升四合

うしろ

中畑 拾四歩

四升七合 七左衛門高へ入

寅年ノ高へ入

四つ松

下々畑 式畝六歩

老斗三升式合

西口

中畑 五畝拾歩

五斗三升四合

屋敷 式畝七歩

式斗九升

寅ノ年ノ茂兵衛高二成

分米合五石七斗壹合

内

本高四石七斗六合

出日九斗九升五合

屋敷老畝歩 老斗三升

是ハ与三衛門屋敷 寅年ノ七左
うしろ 門高二成

上畑老畝拾五歩 老斗九升五合
久左エ門屋敷 七左エ門高へ入

嶋畑

上田 四畝貳拾歩

七斗 寅年太郎左衛門高

すみや

中田 壹反貳拾歩

壹石三斗五升貳合

七左衛門
丑年ノ高へ入

四つ松

下田 壹反拾貳歩

壹石壹斗四升四合

申ノ年ノ七左衛門高ニ成

ゑた

作兵衛

下田 壹反四畝拾四歩

壹石五斗九升貳合

がんで

下田 八畝貳拾四歩

九斗六升八合

のより

中田 九畝拾四歩

「壹石貳斗三升壹合」

午ノ年ノ小左衛門高へ入

ゑばた

下田 四畝貳拾九歩

五斗四升七合

のより

下田 四畝貳拾四歩

五斗貳升八合

四つ松

下田 壹反貳畝六歩

壹石三斗四升貳合

志れ田

中田 八畝五歩

壹石六升貳合

大目東

中畑 貳畝貳拾四歩

貳斗八升

浜

中畑 壹畝拾八歩

壹斗六升

屋敷

屋敷 壹畝拾八歩

貳斗八合

屋敷

屋敷 壹畝拾六歩

「貳斗」

辰ノ年ノ小左衛門高ニ成

屋敷

分米合 八石三斗五升貳合

貳斗三升四合

内

本高 四石三斗八升八合

出目 三石九斗六升四合

のより

五畝壹歩

六斗五升五合

丑ノ年ノ高へ入

加兵衛

こちら田

中田 壹反四畝貳拾壹歩 壹石九斗壹升壹合

同所

中田 壹畝九歩 壹斗六升九合

四つ松

下田 「壹反壹畝壹歩」 壹石貳斗壹升四合

丑ノ年ノ七左衛門高ニ成

はかの西

下々畑 貳畝八歩 「壹斗三升六合

子年ノ魚崎利兵衛高ニ成

はま

中畑 貳拾三歩 「七升七合

申ノ年ノかぢや六兵衛高

屋敷 壹畝拾九歩 「貳斗壹升三合

ニ成 戌年ノ傳兵衛高ニ成

分米合三石六斗九升四合

内

本高三石四斗四升四合

出目貳斗五升

上田 八畝拾歩

「壹石貳斗五升

亥ノ年ノ魚崎利兵衛 高ニ入 村ノ

うしろ

中田 三畝六歩

「四斗壹升六合

同断

木本

下田 貳畝拾八歩

「貳斗八升六合

同断

えた

中畑 壹畝貳拾五歩

壹斗八升三合

巳年ノ高ニ成

かぢや

六兵衛

やしき

中畑 貳畝拾五歩

貳斗五升

内壹畝六歩

壹斗貳升 巳年ノ佐左門 高ニ成

えた

中畑 壹畝歩

壹斗

中畑貳畝貳拾八歩 貳斗九升四合

辰ノ年ノ高ニ成

嶋畑

同所

中畑 式拾五歩

八升四合

こより

下田 壹反三畝拾七歩

壹石四斗九升式合

寅年ゝ高へ入

永井

下田 九畝廿九歩

壹石九升七合

子年ゝ利兵衛高へ入

こより

下々田 五畝拾三歩

四斗三升五合

子年ゝ高へ入

分米合四斗三升四合本高

はま

中畑 式拾三歩

七升七合 申年ゝ高へ入

同所

下田 四畝式歩

四斗四升七合

同断

四つ松

下畑 式畝廿壹歩

式斗壹升六合 同断

分米合五石八斗八升四合

同所

下々畑 式畝拾式歩

壹斗四升四合 同断

こちら田

下々田 式畝拾歩

壹斗八升七合

屋敷 壹畝拾九歩

式斗壹升三合

下田 三畝拾八歩

三斗九升七合

戌年ゝ高へ入

分米合四石四合

高井

中田 九畝式拾九歩

「壹石式斗九升六合

子年ゝ本物返シ高辰年ゝ忠兵衛へ戻し

志れ田

中田 壹反拾五歩

壹石三斗六升五合

与兵衛

同断

中田

壹反壹畝廿式歩 「壹石五斗式升式合

同断

同断

深田

下田 壹反式畝六歩

壹石三斗四升式合三右エ門分

墓後

下々田 壹反五畝七步 壹石貳斗壹升九合

堂西

下田 八畝貳拾壹步 九斗五升七合 三石エ門分

中嶋

下田 壹畝貳拾四步 壹斗九升八合

同所

中畑 貳拾三步 七升七合

かんて

下々田 貳畝貳拾壹步 貳斗壹升六合 三石エ門分

東口

中畑 三畝貳拾步 三斗六升七合

かんて 亥年ノ高へ入

下々畑 貳畝貳拾壹步 壹斗六升貳合 三石衛門分

大日前

中畑 拾四步 四升七合

東ノ口

中畑 四畝拾六步 四斗五升四合

やしき

上畑 壹畝三步 壹斗四升三合

分米合六石壹斗八升 中畑 中田八畝貳拾七步 三石衛門分

内 中畑 壹石三斗五升七合 未ノ年ノ高二成

本高五石八斗壹升七合

出目三斗六升三合 中嶋 中畑 貳畝廿五步

中畑 貳斗八升四合 未ノ年ノ高二成

はま 中畑 壹畝貳步 壹斗七合 丙ノ年ノ高二成

中畑 拾貳步 四升 卯ノ年高へ入

はま

中畑 拾貳步 四升 卯ノ年高へ入

中畑 三畝三步 三斗壹升 壹畝十六步 壹斗五升三合

内 壹畝十七步 亥年ノ高へ入

内 壹畝拾七步 三石衛門分 壹斗五升七合

俵田 中田 六畝拾八步 八斗五升八合

丙ノ年ノ高へ入

分米合九石三斗三合 三石衛門分

内

正 四石三斗四升七合 与兵衛分

五石五升六合 三石衛門分

七郎兵衛

内

午年ノ高二成

知田

七畝拾壹歩

八斗壹升壹合

本高六石六斗五升四合

出目五斗六升四合

下田

壹反貳畝貳拾歩

壹石三斗九升三合

下田

壹反壹畝壹歩

壹石貳斗壹升四合

丑年ノ高二成

浅田

中田

四畝六歩

五斗四升六合

次兵衛

同

中田

七畝拾三歩

九斗六升七合

知田

中田

五畝五歩

六斗七升貳合

丙ノ年ノ又左衛門高二成

串田

七畝拾歩

八斗七合

菓王子

下田

壹反壹畝拾五歩

壹石貳斗六升五合

下田

八畝拾五歩

九斗三升五合

同所

下田

壹反拾八歩

壹石壹斗六升六合

同所

下田

三畝貳拾九歩

四斗三升七合

大日前

中畑

拾五歩

五升

下田

六畝拾歩

六斗九升七合

屋敷

壹畝拾九歩

貳斗壹升三合

分米七石貳斗壹升八合

浜

中畑貳畝歩

貳斗

のより

中田

貳畝六歩

貳斗八升六合

中田 五畝壹歩

〔六斗五升五合

丑ノ年ノ作兵衛高へ入

同所

下田 九畝五歩

壹石九合

西浜

下畑 壹畝七歩

九升九合

浜

中畑 三畝三歩

〔三斗壹升

芦原

中田 壹反三畝三歩

〔壹石七斗三合 未年ノ七兵衛高へ入

午ノ年ノ惣左衛門高二成

内壹反壹畝三歩

但壹石四斗四升三合

此ノ内式畝歩

式斗六升忠兵衛分巳年ノ作兵衛高二成

分米合九石壹斗六升九合

内

本高八石壹斗四升九合

出目壹石式升

下田

壹反式拾四歩

〔壹石壹斗八升五合

高井

中田 九畝式拾九歩 〔壹石式斗九升六合

同所

外年ノ樋口ヤ忠兵衛高へ入

辰年ノ半兵衛高二成

下田 式畝式拾五歩

〔三斗壹升式合 同断

同所

同所 壹反壹畝廿式歩 壹石五斗式升五合

下田

式畝式歩

〔式斗式升八合 同断

巳年ノ高二成

墓ノ前

辰年ノ半兵衛高二成

下々畑 五畝式拾歩

三斗四升

同所

五郎左衛門

下々畑 式畝六歩

壹斗三升式合

知田

下田 三畝歩 三斗三升
 浅田
 中田 壹反貳畝八歩 壹石五斗九升五合
 河原田
 中田 壹反壹畝歩 壹石四斗三升
 串田
 下田 七畝貳歩 七斗七升八合
 四つ松
 下々畑 貳畝拾貳歩 壹斗四升四合
 同所
 下々畑 貳拾四歩 四升八合
 同所
 下々畑 壹畝貳拾八歩 壹斗壹升六合
 松苗
 下田 貳畝三歩 貳斗三升壹合
 同所
 中畑 貳畝歩 貳斗
 かなげ田
 下畑 貳畝貳歩 壹斗六升六合
 浜

中畑 貳畝拾貳歩 貳斗四升
 同
 中畑 壹畝歩 壹斗
 屋敷 五歩 貳升貳合
 分米合五石四斗
 内
 本高四石四斗三升壹合
 出目九斗六升九合
 かなげ田
 下田 五畝五歩 五斗六升九合
 浅田
 下田 六畝九歩 六斗九升三合
 巳ノ年ノ高へ入
 前田
 中田 壹反壹畝三歩 壹石四斗四升三合
 午ノ年ノ高へ入
 東ノ口 八兵衛

下田 三畝拾貳步 三斗五升四合

同所

下田 拾八步 六升六合

永井

中田 壹反拾五步 壹石三斗六升五合

のふせ

中田 八畝貳拾五步 壹石壹斗四升九合

木本 寅年ノ高へ入

中田 壹反六畝拾壹步 貳石壹斗八升八合

東ノ口

中畑 三畝九步 三斗三升

浜

中畑 貳拾六步 八升七合

屋敷 壹畝拾壹步 壹斗七升八合

屋敷 拾四步 六升壹合

分米合五石七斗壹升八合

内

本高四石九斗壹升壹合

出目八斗七合

与三右衛門

木ノ本

下田 九畝貳拾七步 壹石八升九合

かんて

下々田 壹反貳畝三步 九斗六升八合

墓後

下々田 九畝步 七斗貳升

浅田

中田 七畝步 九斗壹升

同所

中田 八畝拾貳步 壹石九升貳合

ゑた

下田 貳畝拾壹步 貳斗六升壹合

同所

中畑 貳畝步 貳斗

東ノ口

中畑 壹畝貳拾壹步 壹斗七升

浜

下畑 三畝步 〔貳斗四升

丑ノ年々仁介高二成

屋敷 壹畝歩

「壹斗三升

寅年々七兵衛高へ入

分米合五石七斗八升

内

のより

下田 壹反八歩

本高四石八斗九升九合

午年々高二成

出目八斗八升壹合

はま

中畑 三畝九歩

中畑

三斗三升

丑年々高へ入

のぶ世

与右衛門

中田

壹反壹畝貳拾貳歩

壹石五斗貳升六合

三ノ坪

四畝拾八歩

五斗六合

下田

壹畝貳拾九歩

貳斗壹升七合

下田

壹反壹畝廿五歩

壹石三斗貳合

かきそへ

志れ田

浅田

下田

壹反貳畝八歩

壹石三斗五升

浅田

下田

壹反貳畝八歩

与次衛門分

浅田

下田

壹反貳畝八歩

巳年高へ入

浅田

下田

壹反貳畝八歩

与三兵衛

浅田

下田

壹反貳畝八歩

与次衛門分

浅田

下田

壹反貳畝八歩

与次衛門分

浅田

下田 六畝歩

六斗六升

与次右衛門分

同所

下田 四畝拾八歩

五斗六合

木ノ本

下田 壹反五歩

壹石壹斗壹升九合

やしき

与次右衛門分

中畑

壹畝貳拾八歩

貳斗九升四合 同人分

分米合六石壹斗三升

内

屋敷壹畝三歩

本高五石五斗三升

壹斗四升三合

出目六斗

下田

午ノ年々高二成

下田

与次衛門分

下田

与三兵衛

下田

与次衛門分

下田

与次衛門分

下田

与次衛門分

下田

与次衛門分

下田

与次衛門分

下田

与次衛門分

中田	「壹反式畝式拾九步」	「壹石六斗八升六合」	中田	四畝五步	五斗四升式合
東口					午ノ年横屋惣右工門 高二成
中田	五畝拾八步	「七斗式升八合」	同所		
			中田	八畝拾九步	壹石壹斗式升三合 同断
			同所		
同所			同所		
下田	九畝式拾七步	「壹石八升九合」	中田	四畝拾式步	五斗七升式合 同断
同所		同断	同所		
中畑	三畝式拾五步	三斗八升四合	中田	六畝拾式步	八斗三升式合 同断
同所			のふせ		
下畑	三畝六步	式斗五升六合	中田	八畝式拾八步	壹石壹斗六升式合
河原田			ふろこん		
下田	「壹反式拾步」	「壹石壹斗七升四合」	中田	七畝拾三步	「九斗六升七合」
					辰年ノ甚衛門高二成
永井			しんしやう		
下田	九畝式拾九步	「壹石九升七合」	下田	「壹反式畝八步」	壹石三斗五升
			永田		
同所			下田	「壹反三畝式步」	壹石四斗三升八合
下田	「壹反式畝廿五步」	「壹石四斗壹升式合」	堂後		午ノ年ノ横屋惣右工門 高二成
			下田	「壹反拾九步」	壹石壹斗七升 同断
高井					

同所

下畑 貳畝八歩 壹斗八升貳合 同断

浜

中畑 貳畝貳拾八歩「貳斗九升四合」

辰ノ年ノ傳兵衛高二成

屋敷 貳畝拾九歩 三斗四升三合

屋敷 拾四歩 六升壹合

分米合拾七石八斗六升貳合

内

本高拾三石四斗六升八合

出目四石三斗九升四合

東口

中畑 壹畝拾九歩

壹斗六升四合
巳ノ年ノ高へ入

久太夫

のふせ

中田 九畝貳拾九歩「壹石貳斗九升六合」

亥年ノ又兵衛高へ入

桑原

中田 壹反五畝廿九歩 貳石七升六合

やしき

中畑 壹畝拾七歩 壹斗五升七合

分米合三石五斗貳升九合

内

本高三石三斗壹升七合

出目三斗壹升貳合

左兵衛

河原田

下田 九畝貳拾貳歩 壹石七升壹合

かんて

下々田 四畝貳拾七歩 三斗九升貳合

同所

下々田 貳畝九歩 壹斗八升四合

同所

下々田 壹畝拾歩 壹斗七合

こち田

中田 壹反三畝歩 壹石六斗九升

同所

下田 貳畝拾五歩 貳斗七升五合

のより

中田 壹反拾五歩 壹石三斗六升五合

桑原

成年の魚崎利兵衛
高二成ル

中田 式拾七步 壺斗壺升七合

かんて 三畝式拾壺步 四斗七合

串田

下田

中田 八畝拾五步 壺石壺斗五合

同所 八畝拾四步 九斗三升式合

同所

下田

中田 六畝式拾五步 八斗八升九合

同所 壺反壺畝六步 壺石式斗三升式合

浜

下田

中畑 七畝拾壺步 七斗三升七合

芦原 六畝拾五步 七斗壺升五合
成年の仁左衛門高へ入

中嶋

下田

下々畑 壺畝拾三步 八升六合

泉ヶ坪 壺反五步 壺石壺斗壺升八合

屋敷 壺畝八步 壺斗六升五合
丙ノ年の利衛門高へ入

下田 壺反五步 壺石壺斗壺升八合
成年の樋口や忠兵衛
高二成

分米合八石壺斗八升三合

下田

内 本高七石三斗七升九合

かりち

出目八斗四合

上畑 拾八步 七升八合

内 弥兵衛

屋敷 拾六步 七升

分米合五石七斗四升四合

内 屋敷壺畝八步 壺斗六升五合
未ノ年の高へ入

しんしゃう

本高三石九斗五升四合

中田 九畝五步

出目壺石七斗九升

「壺石壺斗九升式合

東口

中田 一 壹畝貳拾三步 〔貳斗三升四合

戌年ノ樋口や忠兵エ
高二成ル

東口

中畑 一 壹畝貳拾六步 〔壹斗八升七合

戌年ノ樋口や忠兵エ
高二成ル

八左衛門

浜

中畑 一 貳畝貳拾步 〔貳斗六升七合

子年ノ魚崎利兵衛
高へ入

同所

下畑 一 三畝拾五步 〔貳斗八升 同断

屋敷 一 貳拾三步 壹斗

寅年ノ忠兵衛高へ入

分米合六斗四升七合

内

本高貳斗八升

出目三斗六升七合

太左衛門

東ノ口

下田 一 九畝步 九斗九升

のふせ

中田 一 壹反貳畝三步 壹石五斗七升三合

かなげた

下田 一 三畝貳拾六步 四斗貳升六合

こちら田

中田 一 八畝貳拾七步 〔壹石壹斗五升七合

未ノ年ノ与兵衛高へ入

串田

下田 一 八畝拾五步 九斗三升五合

前田

下田 一 壹反九畝拾五步 貳石壹斗四升五合

同所

下田 一 貳拾六步 九升六合

志のき田

下田 一 七畝貳拾步 八斗四升四合

同所

下田 五畝式步 五斗五升八合

中嶋

中畑 式畝式拾五步 「式斗八升四合

未年と与兵衛高へ入

大日前

中畑 四畝式拾三步 四斗七升七合

屋敷 壹畝九步 壹斗六升九合

分米合九石六斗五升四合

内

屋敷式拾步

八升七合

本高ん

子ノ年と高へ入

大日前

中畑 壹畝壹步

壹斗四合

亥年と高へ入

仁兵衛

こより

下々田 式畝拾步

壹斗八升七合

同所

下田 三畝式拾壹步

四斗七合

同所

下田 四畝拾式步 四斗八升四合

同所

下々田 式畝拾七步 式斗六合

同所

下々田 五畝步 四斗 太左衛門分

同所

下田 壹反三畝拾七步 「壹石四斗九升式合

三郎兵衛分

寅年と傳兵衛高二成

同所

下田 壹反式畝式拾步 壹石三斗九升三合

太左衛門分

浅田

下田 壹反式畝八步 「壹石三斗五升

巳年と与左衛門高二成

芦原

下田 壹反式畝步 壹石三斗式升

同所

下田 五畝步 五斗五升

同所

下田 一 壹反壹畝六步 壹石貳斗三升貳合

三郎兵衛分

浜

中畑 三畝三步

〔三斗壹升 残り壹畝拾七步
寅年〆与兵衛
高へ入

堂西

中田 八畝貳拾三步 壹石壹斗四升

内壹畝拾六步

〔壹斗五升三合

〔午ノ年〆与兵衛
高へ入

志のぎた

下田 七畝拾八步 八斗三升六合

中嶋

下畑 五畝拾五步

〔四斗四升 三郎兵衛分

同所

下田 九畝貳拾九步 壹石九升七合

浜

〔子年〆魚崎利兵衛高ニ
成ル

前田

中田 壹反壹畝三步 〔壹石四斗四升三合

中畑 拾貳步

〔四斗 外ノ年〆与兵衛
高ニ成ル

午ノ年〆五郎左衛門
高へ入

墓後

下々田 壹反五畝貳拾五步 壹石貳斗六升七合

中畑 六畝貳步

〔六斗七合

墓西

下畑 壹畝拾七步 壹斗貳升六合

〔屋敷 壹畝三步

〔壹斗四升三合

〔午ノ年〆与右衛門
高へ入

同所

下々畑 三畝六步 〔壹斗九升貳合 三郎兵衛分

〔屋敷 貳拾步

〔八升七合 太郎左衛門分

〔子年〆伊左衛門高ニ
成

〔屋敷 貳畝步 〔貳斗六升 三郎兵衛分

同所

下々畑 三畝貳拾壹步 貳斗貳升貳合

内

〔分米合拾七石四斗 本高拾五石三斗八升八合

出目式石壹升式合

九右衛門

河原田

下田 壹反壹畝四步 壹石貳斗貳升五合

大日前

中畑 三畝九步 「三斗三升

卯年ノ市右衛門高へ入

浜

中畑 四畝拾歩 (内壹畝歩、壹斗巳ノ年ノ市右ノ門高二成ル

分米合壹石九斗八升九合 本高 巳ノ年ノ九兵衛高二成ル

中畑 壹畝歩 壹斗

巳ノ年ノ高橋次郎右衛門

作右衛門

東口

下田 壹反貳畝歩 壹石三斗貳升

永井

中畑 四畝貳拾九步 六斗四升六合

中田

桑原

下田 八畝歩

同所 八斗八升 伊左衛門

中田

八畝三步 壹石五升三合 伊左衛門

薬王寺

下田 壹反三畝貳歩 壹石四斗三升八合

こち田 伊左衛門

下田

壹反五歩 壹石壹斗三升九合

西ゑた

中田 三畝貳拾八歩 「五斗壹升式合

辰年ノ作右ノ門高二成

北ノ口

七畝三步 壹石六升五合

上田

西ノ口 貳畝六歩 伊左衛門

中畑

三畝四歩 貳斗五升壹合

下畑

東ノ口 辰年ノ作右ノ門高二成

中畑 四畝拾壹歩 四斗三升七合 伝左衛門
前

中畑 貳畝六歩 貳斗貳升

屋敷 貳拾八歩 壹斗貳升貳合 伊左衛門

分米合九石貳斗八升三合

内

本高五石九斗九升七合

出目三石貳斗八升六合

こちらた

下田 五畝拾八歩 六斗壹升六合

卯ノ年分高二成

巳年分利衛門高二成

はかの西

下々田 三畝六歩 壹斗九升貳合

子年ノ高二成

伝左衛門

芦原

中田 貳畝歩

貳斗六升

巳年ノ作右衛門高二成

木ノ本

中田 七畝九歩 九斗四升九合

東ノ口

中田 五畝拾歩

〔六斗九升四合

辰年ノ市左衛門高

二成

同所

中畑 貳畝歩

〔貳斗

同断

大日前

中畑 貳畝壹歩 貳斗四合

寅年ノ源介高へ入

浜

中畑 壹畝拾三歩 壹斗四升三合

同所

中畑 貳拾三歩 七升七合

屋敷

中畑 貳拾五歩 八升四合

分米合貳石三斗五升壹合

内

本高式石壺斗九升七合

出目壺斗五升四合

下田 壺反拾六歩

壺石壺斗五升九合

長田

下田 九畝八歩

壺石式升

永井

下田 壺畝式拾三歩

壺斗九升五合

大目前

中畑 式畝拾五歩

「式斗五升

寅年ノ源介高二成
丑ノ年ノ高へ入

長田

下田 壺反拾九歩

壺石壺斗七升

中畑

三畝拾式歩

三斗四升

分米合五石三升三合

西急た

中畑三畝廿八歩、五斗壺升式合
未ノ年ノ高へ入

永井

下田 九畝式拾九歩

「壺石九升七合

丙年ノ高へ入
子ノ年ノ伝兵衛高へ入

本高四石八斗三升八合

同所

中畑三畝四歩、式斗五升壹合
未ノ年ノ高へ入

出目壺斗九升五合

右式口とも

辰年ノ作右衛門高二成

市左衛門

三ノ坪

下田 壺畝式拾六歩

式斗六合

深田

下田 九畝式拾式歩

壺石七升壹合

同所

下田 六畝式歩

六斗六升八合

ゑだ

中田 壺反三畝六歩

壺石七斗壺升六合

同所

下田 式畝拾五歩

式斗七升五合

深田

下田 式畝拾五歩

丑ノ年ノ高へ入

薬王寺

下田 壹反壹畝拾壹歩 壹石貳斗五升

巳ノ年ノ高ヘ入

東ノ口

中田 五畝拾歩

六斗九升四合

辰年ノ高ヘ入

同所

中畑 貳畝歩

貳斗

同断

分米合九石九斗六升四合

九左衛門

西ゑだ

中田 七畝拾壹歩

「九斗五升八合

戌ノ年ノ次郎兵衛高ヘ入

すみや

中田 八畝貳拾七歩

壹石壹斗五升七合

こちら田

下田 壹反貳畝歩

「壹石三斗貳升

戌年ノ弥三衛門高ヘ入

堂ノ西

中田 五畝貳拾八歩 七斗七升貳合

浜

中畑 壹畝貳拾貳歩 壹斗七升四合

同所

中畑 三畝壹歩 三斗四合

薬王寺

下田 壹反壹畝貳拾四歩 壹石貳斗九升八合

中嶋

下畑 貳畝歩 壹斗六升

知田

中田 貳畝七歩 貳斗九升壹合

西ゑた

中田 五畝拾八歩 「七斗貳升八合

戌ノ年ノ次郎兵衛高ヘ入

屋敷 貳拾歩 八升七合

分米合七石貳斗四升九合

内

本高六石壹升三合

出自壹石貳斗三升六合

次郎兵衛

ゑた

下田 七畝拾壹歩 八斗壹升壹合

同所

下田 貳反貳拾歩 貳石貳斗七升四合

永井

下田 壹反貳畝廿歩 壹石三斗九升四合

のふせ

中田 三畝貳拾五歩 四斗九升九合

深田

下田 壹反拾六歩 壹石壹斗五升九合

下こちら田

下々田 壹反壹畝廿七歩 九斗五升貳合

芦原

下田 五畝三歩 五斗六升壹合

かんで

下田 九畝拾七歩 壹石五升三合

墓前

下畑 五畝拾三歩 四斗三升五合

西ノ口

中畑 壹畝四歩 壹斗壹升三合

同所

中畑 壹畝四歩 壹斗壹升四合

大日前

中畑 五畝廿三歩 五斗七升三合

屋敷 貳畝三歩 貳斗七升三合

屋敷 貳畝三歩 貳斗七升三合

分米合拾石四斗八升四合

内

本高六石三斗七升貳合

出目四石壹斗壹升貳合

芦原

下田 七畝貳拾貳歩 八斗五升壹合

西ゑた 辰ノ年ノ高へ入

中田 七畝拾壹歩 九斗五升八合

同所 戌ノ年ノ高へ入

中田 五畝拾八歩 七斗貳升八合

同所 戌ノ年ノ高へ入

戌ノ年ノ高へ入

同所

中田 五畝八歩

六斗八升五合

未ノ年ノ高ヘ入

善右衛門

永井

下々田 四畝拾貳歩

三斗五升貳合

同所

下田 四畝貳拾歩

五斗壹升四合

のふせ

中田 六畝貳拾五歩

八斗八升九合

弥三右衛門

深田

下田 壹反壹畝廿壹歩

壹石貳斗八升七合同人

同所

中田 壹反貳畝拾壹歩

壹石六斗八合 同人

ゑはた

下田 壹反貳畝拾六歩

壹石三斗七升九合同人

志のぎ田

下田 壹反貳拾六歩

壹石壹斗九升五合 同人

同所

下田 七畝貳拾六歩

八斗六升六合

同人

串田

下田 壹反三畝拾五歩

壹石四斗八升五合同人

木本

下田 九畝三歩

壹石壹合

同所

下田 九畝貳拾貳歩

壹石七升三合

同所

下田 壹反歩

壹石壹斗 弥三右衛門

知田

下田 貳畝拾八歩

壹石貳斗八升六合

同所

下田 壹反八畝四歩

壹石九斗九升五合

河原田

中田 九畝貳拾貳歩

壹石貳斗六升六合

墓後

下々田 壹反拾歩

八斗貳升七合

同所

下々田 壹反三畝拾五歩

壹石八斗 弥三右衛門

同所

下々畑 壹畝拾八歩 九升六合 同人

同所 下田 壹反貳畝歩 壹石三斗貳升 弥三右衛門

下々畑 三畝貳拾八歩 貳斗三升六合 同人

浜 中畑 壹畝九歩 壹斗三升貳合 同人

西浜 下々畑 貳拾五歩 五升 同人

植本 中畑 五畝三歩 五斗壹升 同人

東口 下畑 四畝貳拾歩 三斗七升四合

屋敷 屋敷 貳拾三歩 壹斗 弥三右衛門

屋敷 分米合貳拾石五合 屋敷七歩 三升壹合 申ノ年高二成

内 本高拾五石四斗三升六合 未ノ年高二成

出目 四石五斗六升五合 屋敷貳拾四歩 壹斗四合

屋敷 貳拾壹歩 九升壹合 出目

丑ノ年高二成

此のへ

下田 九畝貳拾七歩 壹石八升九合

深田 九畝貳拾五歩 壹石八升貳合

下田 壹反五畝歩 壹石六斗五升

堤ヶ田 八畝拾貳歩 九斗貳升四合

志のき田

こちら田

東口 三畝拾五歩 貳斗八升 善右衛門

下畑 知田 貳拾七歩 壹斗壹升七合 同人

中田 寅年高二成

弥次兵衛

このへ

下田 九畝貳拾七歩 壹石八升九合

深田 九畝貳拾五歩 壹石八升貳合

下田 壹反五畝歩 壹石六斗五升

堤ヶ田 八畝拾貳歩 九斗貳升四合

志のき田

中田 三畝拾歩 四斗三升四合

同所

中田 五畝貳拾九歩 七斗七升六合

深田

下田 五畝貳拾八歩 六斗五升三合

内貳歩七合津知入

同所

下田 壹反歩 壹石壹斗

浜

中畑 壹畝拾七歩 壹斗五升七合

屋敷 壹畝六歩 壹斗五升六合

分米合八石四斗九升八合

内

本高八石壹斗三升四合

出目三斗六升四合

堤ヶ内

下田 壹反貳拾六歩 壹石壹斗九升五合

辰年ノ高二成ル

堂ノ西

中田 壹反貳畝拾四歩「壹石六斗貳升壹合

丑ノ年ノ魚ノ利兵衛高へ入

やしき

中畑 六畝拾壹歩 六斗三升七合

内三畝歩

又壹畝廿五歩

分米合貳石貳斗五升八合

内

本高壹石貳斗五升八合

出目壹石

九郎左衛門

永井

中田 五畝貳拾貳歩「七斗四升六合

卯年ノ次右エ門高へ入

高井

中田 九畝貳拾九歩「壹石貳斗九升六合

巳ノ年ノ次兵衛高へ入

惣兵衛

同所

中田 壹反壹畝廿貳步 「壹石五斗貳升五合

巳ノ年ノ次兵衛高へ入

永井

下田 六畝拾三歩 「七斗八合

寅ノ年ノ善次郎高二成

志のぎ田

下田 五畝八歩

五斗八升

同所

同所

下田 四畝七歩

下田

四畝七歩

四斗六升六合

のふせ

下田 壹反三畝廿四歩

壹石五斗壹升八合

ゑはた

下田

七畝三歩

七斗八升壹合

同所

中田 八畝貳拾六歩

壹石壹斗五升三合

木ノ本

中田

八畝拾七歩

「壹石壹斗壹升四合

こより

「次右衛門へ外ノ年ノ高へ入

中田

壹反壹畝八歩

「壹石四斗六升五合

浜

中畑

貳畝歩

「貳斗

のふせ

午年ノ七郎兵衛高二成

中田

三畝貳拾八歩

「五斗壹升貳合

分米合六石七斗八合

戌年ノ次兵衛高へ入

内

本高六石五斗五升八合

同所

中田 三畝貳拾八歩

五斗壹升貳合

出目壹斗五升

河原田

下田

八畝貳歩

八斗八升八合

源右衛門

屋敷

壹畝貳拾歩

貳斗壹升七合

分米合七石三斗八升五合

西^ニ辰年^ノ勤兵衛高二成

内

中田 壹畝五歩

本高五石六斗五升七合

壹石三斗貳升貳合
未^ノ年^ノ高へ入

出目壹石七斗貳升八合

すみや

中田 一 壹反拾貳歩

「壹石三斗五升貳合」

丑年^ノ七郎兵衛高二入

屋敷 貳拾六歩

壹斗壹升三合

辰^ノ年^ノ高ニ成

巳年^ノ高へ入

芦原

中田 壹反壹畝三歩

壹石四斗四升三合

未^ノ年^ノ高へ入

次右衛門

三ノ坪

下田 四畝拾八歩

五斗六合

同所

下田 五畝貳拾五歩

六斗四升貳合

のふせ

中田 九畝貳拾九歩

壹石貳斗九升六合

永井

下田 壹反五畝拾貳歩

壹石六斗九升四合

こより

中田 八畝貳拾三歩

「壹石壹斗四升」

巳年^ノ太郎兵衛高二成

東ノ口

中畑 貳畝拾五歩

貳斗五升

のふせ

中田 三畝貳拾八歩

五斗壹升貳合

分米合六石四升

内

本高五石四斗

出目壹石

道ノ下

下田 三畝貳拾四歩

四斗壹升八合

亥^ノ年^ノ高へ入

永井

中田 「五畝貳拾貳歩」

「七斗四升六合」

戊年^ノ市衛門高へ入 卯^ノ年^ノ高へ入

木本

中田 「八畝拾七歩」 「壺石壺斗壺升四合

戌年の吉左ノ門高へ入 卯ノ年の高へ入

小左衛門

しんしやう

中田 壺反壺畝六歩 壺石四斗五升六合

同所

中田 七畝貳拾壺歩 壺石壺合

植本

下田 五畝拾八歩 六斗壺升六合

三ノ坪

下田 三畝壺歩 三斗三升四合

泉ヶ坪

下田 壺反三畝四歩 壺石四斗四升五合

はま

中畑 三畝三歩 三斗壺升

墓後

下畑 四畝拾六歩 三斗六升三合

屋敷 壺畝拾四歩 壺斗九升壺合

分米合五石七斗壺升六合

内

本高四石七斗壺合

出目壺石壺升五合

くり坪

下田 九畝貳拾七歩 壺石八升七合

未ノ年の高へ入 屋敷 壺畝拾六歩 貳斗

辰ノ年の高へ入 のより

中田 九畝拾四歩

壺石貳斗三升壺合 午ノ年の高ニ成

桑原

下田 壺反壺畝八歩 壺石貳斗四升

下畑 貳畝貳歩 壺斗六升六合

辰ノ年の太郎兵衛高ニ成

分米合壺石四斗六合

内

本高壺石貳斗貳升七合

出目壺斗七升九合

〔中田

九畝拾四歩 〔壺石貳斗三升壺合 午ノ年の高へ入

平右衛門

桑原

中田 壹反六畝拾三步 式石壹斗三升七合

堂西

下田 壹反拾歩 壹石壹斗三升七合

浜

中畑 壹畝壹歩 壹斗四合 市兵衛高へ入

東ノ口

中畑 三畝式拾歩 「三斗六升七合

亥年と与兵衛高二成

屋敷 壹畝式拾三步 「式斗三升

分米合三石九斗七升五合

内

本高式石七斗壹升九合

出目壹石式斗五升六合

内 式拾六歩 壹斗壹升三合

拾七歩 辰年と喜次郎高二成

拾歩 辰年と茂左衛門高二成

四斗三合 平右エ門高

仁左衛門

くり坪

下田 壹畝拾九歩 壹斗八升

申ノ年と甚衛門高へ入

芦原

下田 三畝五歩 「三斗四升九合

申ノ年と魚崎利兵衛高二成

同所

下田 四畝式拾歩 「五斗壹升四合

同断

こちら田

下田 壹反式拾五歩 壹石壹斗九升式合

墓前

下田 四畝式拾四歩 「五斗式升八合

申ノ年と孫兵衛高二成

同所

下畑 式拾五歩 「六升七合

同断

同所

中畑 五畝拾五歩 「五斗五升

同断

浜

中畑 三畝貳步 「三斗七合 善右衛門高二入

うら

上畑 拾四步 六升壹合

屋敷 壹畝九步 壹斗六升九合

分米合三石九斗壹升七合

内

本高貳石六斗五升壹合

出目壹石貳斗六升六合

久左衛門

堂後

下田 一畝九步 「壹斗四升三合

戌年源右衛門高へ入

こちら田

下田 壹反四畝廿步 「壹石六斗壹升四合

戌年源兵衛高へ入

浜

下畑 四畝四步 三斗三升壹合

巳ノ年源戻り

同

上畑 壹畝貳步 「壹斗三升九合

寅年源左衛門高へ入

分米合貳石貳斗貳升七合

内

本高壹石六斗壹升四合

出目六斗壹升三合

戌年 与兵衛高へ入

勘右衛門

くり坪

下田 貳畝貳拾四步 「三斗八合

はかのまへ

辰年源兵衛高へ入

下々畑 九畝拾壹步 五斗六升貳合

浜

中畑 貳拾九步 九升七合

屋敷 壹畝貳拾步 貳斗壹升七合

分米合壹石壹斗八升四合

内

本高八斗貳升貳合

出目三斗六升貳合

仁左衛門

四つ松

下々田 三畝貳拾四歩

三斗四合

くり坪

下田 四畝貳拾三歩

五斗貳升五合

植本

中田 九畝拾八歩

壹石貳斗四升八合

芦原

下田 壹反九畝八歩

貳石壹斗貳升

堂後

下田 壹反七畝拾五歩

壹石九斗貳升五合

こちら田

下田 五畝拾八歩

六斗壹升六合

大日前

中畑 壹畝拾八歩

壹斗六升

かんて

下田 壹反壹畝六歩

壹石貳斗三升貳合

大日前

戌ノ年ノ高ヘ入

中畑 貳畝八歩

貳斗貳升七合

同所

中畑 壹畝貳拾八歩

壹斗九升四合

同所

中畑 貳畝貳歩

貳斗七合

屋敷 壹畝五歩

壹斗五升貳合

分米合七石六斗七升八合

内

一、屋敷八歩、三升五合

同所分ニ高ヘ入

本高六石貳斗六升四合、一、屋敷八歩、三升五合、辰年ノ高ヘ入

出目壹石四斗壹升四合

忠 助

東ノ口

中田 六畝五歩

八斗貳合

浅田

中田 五畝貳拾歩

七斗三升六合

こたほね

下田 壹反七畝廿六歩

壹石九斗六升六合

四つ松

下々畑 四畝八歩

貳斗五升六合

前

中畑 壹畝壹歩 壹斗四合

屋敷 壹畝貳拾貳歩 貳斗貳升六合

屋敷 壹畝三歩 壹斗四升三合

分米合四石貳斗三升三合

内

本高三石六斗六升貳合

出目五斗七升壹合

浜

中畑 壹畝八歩 壹斗貳升七合

佐右衛門巳年の高へ成

同

中畑 壹畝六歩 壹斗貳升

同人 同断

分米合貳斗四升七合

木ノ本

茂兵衛

中田 七畝貳拾四歩 壹石壹斗四合

すみや

中田

壹反四歩 壹石三斗壹升八合

のより

中田 七畝貳拾八歩 壹石三升貳合

同所 四畝八歩 五斗五升五合

同所 中田 四畝八歩

中田 壹反壹畝拾壹歩 壹石四斗七升八合

三ノ坪

中田 壹反三畝貳歩 壹石六斗九升九合

墓前

下田 六畝貳拾六歩 七斗五升六合

墓前

下々畑 壹畝廿壹歩 壹斗貳合

同所

下畑 拾七歩 四升六合

中嶋

中畑 四畝拾五歩 四斗五升

屋敷 壹畝六歩 壹斗五升六合

分米合八石六斗六合 屋敷壹畝歩 壹斗三升

内 中田 五畝拾貳歩 のより 寅年の高へ入

本高八石壹斗五升五合 七斗貳合 寅年の高へ入

出目四斗五升壹合

くり坪

下田 六畝拾六歩

七斗壹升九合

丑ノ年ノ高へ入

浜

下田 七畝貳拾六歩

八斗六升六合

源左衛門

中畑

壹畝貳拾九歩

「壹斗九升七合

すみや

中田 壹反歩

壹石三斗

中嶋

亥ノ年ノ魚崎利兵衛
高へ入

同所

中田 七畝七歩

九斗四升壹合

深田

下田 九畝拾歩

壹石貳升七合

屋敷

貳畝拾八歩

三斗三升八合

中嶋

下田 壹畝拾三歩

壹斗五升八合

内

本高六石三斗四升四合

こちら田

下田 九畝拾四歩

壹石四升貳合

出目貳石六斗九合

堂後

堤ヶ内

下田 壹反壹畝歩

壹石貳斗壹升

下田

壹畝九歩

壹斗四升三合

堂後

戌ノ年ノ高へ入

左次兵衛

善助

のより

木ノ本

中畑 五畝拾貳歩

下田 七畝拾七歩

〔八斗三升三合

寅ノ年ノ長兵衛高二成

丑年ノ長兵衛高へ入

大日前

同所

中畑 壹畝壹歩

中田 七畝拾歩

〔九斗五升四合

申ノ年ノ長兵衛高二成

同断

浜

永井

中畑 壹畝拾八歩

中田 壹畝貳拾壹歩

貳斗貳升壹合

未ノ年ノ長兵衛高へ入

同所

同所

中畑 壹畝拾壹歩

中田 八畝貳拾五歩

壹石壹斗四升九合

申ノ年ノ長兵衛高二成

屋敷

やしき

貳拾八歩

〔壹斗貳升貳合

四畝八歩

四斗七升

同断

中畑

壹畝拾壹歩

壹斗三升七合

分米合 壹石貳斗貳升五合

分米合 三石七斗六升四合

内

内

本高八斗六升壹合

本高三石五斗六升四合

出目三斗六升四合

出目貳斗

浅田

中田 「六畝拾八歩」 「八斗五升八合」

亥ノ年ノ高へ入

丙ノ年ノ与兵衛
高二成

墓西

下々畑 式畝歩

壹斗式升

屋敷 式拾式歩

九升六合

屋敷 壹畝拾六歩

式斗

分米合五石六斗壹升

内

本高三石四合

出目式石六斗六合

堤ヶ内

下田 九畝式拾壹歩 壹石六升七合

甚 助

堂ノ西

中田 八畝拾歩 「壹石八斗四合」

ゑだ

中畑 式畝式拾八歩 式斗九升四合

未年ノ高二成

薬王寺

下田 壹反五歩 「壹石壹斗壹升九合」

源 介

午ノ年ノ十衛門高二成

しのき田

こちら田

中田 壹反三畝拾七歩 「壹石七斗六升四合」

下田 四畝式拾式歩 五斗式升壹合

寅年ノ源介高二成

下田 四畝式拾九歩 五斗四升七合

中嶋

薬王寺

下々畑 式畝式拾歩 「壹斗六升」

下田 八畝式歩 八斗八升八合

丙ノ年ノ利衛門高へ入

大日前

中畑 五畝九歩 五斗三升

屋敷 壹畝拾九歩 貳斗壹升三合

分米合貳石六斗九升九合

内

本高貳石九升四合

出目六斗五合

中田 壹反三畝拾七歩
老石七斗六升四合
寅年ノ高へ入

下田 七畝拾四歩

八斗貳升三合
戌年ノ高へ入

こぢら田

老石七斗六升四合
寅年ノ高へ入

庄 助

薬王寺

中田 八畝貳歩 壹石四升九合

墓前

下田 四畝七歩 四斗六升六合

同所

下畑 五畝貳拾九歩 四斗七升八合

同所

下畑 壹畝貳拾八歩 壹斗五升五合

屋敷 四畝拾歩 五斗六升四合

屋敷 貳畝貳拾歩 三斗四升七合

分米合三石五升九合 本高

午ノ年ノ喜衛門高二成

忠右衛門

永井

下々田 六畝拾歩

五斗七合

戌年ノ利兵衛高へ入

同所

下田 八畝拾歩

九斗壹升七合

戌年ノ利兵工高へ入

高井

中田 壹反貳畝拾九歩 壹石六斗四升三合

太郎兵衛高へ入

志れ田

中田 九畝貳歩

壹石壹斗七升九合

ゑばた

下田 七畝貳歩

七斗七升八合

丙ノ年ノ奥ノ利兵衛
高二入

このへ

下田 壹反五畝貳拾七步 「壹石七斗五升

巳ノ年ノ魚崎利兵エ
高へ入

こちら田

中田 三畝拾九步 「四斗七升

丙ノ年ノ利兵エ高へ入

こちら田

中田 一八畝貳拾壹步 「壹石壹斗三升壹合

丙ノ年ノ魚崎利兵エ
高へ入

浜

中畑 六畝六步 六斗貳升

同所

中畑 三畝步 「三斗

戊年ノ魚崎利兵エ高
へ入

同所

中畑 三畝拾五步 三斗五升

墓後

下畑 一四畝拾六步 「三斗六升三合

丙ノ年ノ魚崎利兵エ高
へ入

前

中畑 六畝拾八步 「六斗六升

与三衛門
庄兵衛
清兵衛

四つ松 丑ノ年ノ右三人ノ
高へ入

「下々畑」 「貳畝拾貳步」 「壹斗四升四合

丑ノ年ノ角兵エ高へ入

屋敷 拾八步 七斗八合 子年ノ伝兵エ
高へ入

分米合拾石八斗九升 下々田 五畝拾三歩
こより 戊年ノ高へ入

内 本高九石九斗六升九合 同所 四斗三升五合

出目九斗貳升壹合 下田 四畝貳步 同断

子年ノ伝兵エ高へ入

はま

中畑 四畝拾八步 四斗六升 辰年ノ高二成

墓後

下畑 貳畝貳步 「壹斗六升六合

辰ノ年ノ高二成

堂ノ東 丙ノ年ノ魚崎利兵衛
高へ入

下田 五畝壹步 「五斗九升 巳ノ年ノ高二成

丙ノ年ノ魚崎利兵衛
高へ入

こより 丙ノ年ノ魚崎利兵衛
高へ入

清兵衛

中田 八畝貳拾三步 壹石壹斗三条市左エ門高二成
巳ノ年ノ高二成

永井 又左衛門

下田 六畝貳拾四步 七斗四升八合

同所 三畝拾三步 三斗七升八合

高井 三畝貳拾九步 五斗壹升六合

中田 五畝貳步 六斗五升九合

同所 六畝四步 七斗九升八合

中田 貳畝貳拾四步 三斗六升四合

同所 貳畝三步 貳斗七升三合

墓後 壹反拾九步 八斗五升壹合

下々田 八斗五升壹合

ゑだ

下畑 三畝拾步 貳斗六升七合

屋敷 貳畝拾八步 三斗三升八合

分米五石壹斗九升貳合 知田 丙ノ年ノ高へ入

内 中田 五畝五步 六斗七升貳合

本高四石貳斗壹升四合 志れ田 中田 壹反五畝貳拾九步

出目九斗七升八合 但シ出目 亥年ノ高へ入

孫左衛門

泉ヶ坪

下田 壹反壹畝廿五步 壹石三斗貳合

同所 六畝貳拾四步 七斗四升八合

下田 五畝四步 「五斗六升五合 孫左エ門高

之のへ 亥年ノ又左エ門高へ入

下田 壹反五畝拾貳步 「壹石六斗九升四合

同所 孫左衛門高へ入

下田 孫左衛門高へ入

東口

中畑 壹畝貳步

「壹斗七合

卯ノ年ノ右エ門
高二成

鳩畑

上田 九畝廿七步

壹石四斗八升五合

しんしやう

下田 七畝三歩

七斗八升壹合

同所 中畑 壹畝廿六歩

「壹斗八升七合

辰ノ年ノ孫兵エ高
二成ル

同所

中田 三畝貳拾四歩

四斗九升七合

屋敷 貳拾三歩

「壹斗

卯ノ年ノ右エ門
高二成

志れ田

中田 壹畝六歩

壹斗五升六合

分米合四石七斗三合

内

本高三石六斗壹合

出目壹石壹斗貳合

屋敷 拾九歩

八升三合

三右エ門

寅年ノ高二成ル

同所

下田 五畝歩

五斗五升

同断

中田

壹反三畝廿五歩

壹石七斗九升九合

四つ松

下田 壹反七畝拾六歩

壹石九斗三升

七兵衛

小薮

下田

壹反壹畝歩

壹石貳斗壹升

卯ノ年ノ次兵エ高分

同所

下畑 四畝拾貳歩

三斗五升貳合

え田

中田 七畝四歩

九斗貳升八合

卯年ノ次兵エ分

うしろ

中畑 壹畝貳歩 壹斗七合

同所

中畑 壹畝貳拾五歩 壹石八升四合

同所

中畑 貳畝壹歩 貳斗四合

屋敷 貳拾五歩 壹斗九升 外ノ年ノ次兵衛分

屋敷 拾八歩 七升八合

屋敷 壹畝五歩 壹斗五升貳合

分米合拾壹石三升六合 この分卯ノ年ノ次兵衛分

内 永井下々田六畝四歩 巳ノ年ノ四斗九升壹合

本高拾石八斗貳升九合 同所 高二成

出目貳斗七合 下々田貳反六畝廿八歩 貳石壹斗五升五合 同断

七兵衛分

屋敷 壹畝八歩 壹斗六升五合

出目亥ノ年ノ高へ入

分米合拾三石八斗四升七合

内

九石四斗五升六合 七兵衛分

四石三斗九升壹合 次兵衛分

こたほね

下田 九畝貳拾三歩 壹石七升五合

亥年ノ吉兵衛高二成

同所

下田 七畝六歩 七斗九升貳合

桑原 同断

下田 九畝拾壹歩 壹石三升壹合

西ゑだ

中田 五畝八歩

六斗八升五合

四つ松 未ノ年ノ次兵衛高二成

下々畑

下々畑 貳畝拾貳歩 壹斗四升四合

中畑 壹畝貳拾歩 壹斗六升七合

屋敷 拾八歩 七升八合

分米合三石九斗七升貳合

内

庄兵衛

本高式石五斗九升六合

出目壹石三斗七升六合

中畑 壹畝貳拾步 壹斗六升五合

丑ノ年ノ高ヘ入

同所

下田 貳拾九步 壹斗七合

三口ノ九斗貳升九合 辰年ノ高ヘ入

分米合壹石四斗五升三合

上畠 八步 三升五合

屋敷 拾六步 七升

浜

中畑 壹畝拾八步 壹斗六升

大日前

中畑 壹畝壹步 壹斗四合

亥年ノ太左エ門高ヘ入

やしき

中畑 壹畝拾壹步 壹斗三升七合

屋敷 貳拾八步 壹斗貳升貳合

分米合壹石四斗五升三合

弥三兵衛

嶋畑

上田 「壹反拾五步」 「壹石五斗七升五合」

丑ノ年ノ魚崎利兵衛高二成

くり坪

下田 六畝五步 六斗七升九合

同所

下田 壹畝九步 壹斗四升三合

四つ松

下田 「壹反拾貳步」 「壹石壹斗四升四合」

申ノ年ノ七右エ門高ヘ入

堤ケ内

下田 七畝拾四步 「八斗貳升三合」

戌年ノ源介高ヘ入

屋敷 壹畝拾貳步 壹斗八升三合

分米合式石壹斗五升 本高

安兵衛

大日前

中畑 貳畝拾五歩

〔式斗五升

丑ノ年ノ平兵衛高二成

浜

中畑 三畝五歩

三斗壹升七合

戌ノ年ノ三上利兵衛

弥三兵衛高ノ内ニ有

屋敷 壹畝八歩

壹斗六升五合

屋敷 拾九歩

〔八升三合

寅年ノ三石工門へ入

分米合式石三斗九升

内

前

中畑 六畝拾八歩 六斗六升

本高壹石三斗九升

戌年ノ高へ入
丑年忠右工門高へ入筈

出目壹石

總三郎

浜

中畑 貳畝拾三歩

式斗四升四合

同所

中畑 壹畝拾九歩

壹斗六升三合

同所

上畑 拾壹歩

四升八合

屋敷 壹畝三歩

壹斗四升三合

分米合六斗五合

出目

屋敷

上畑 壹畝貳歩

壹斗三升九合 寅年ノ高へ入

永井

下田

志のき田

下田

九畝歩

九斗九升

下田

壹反壹畝拾四歩 壹石貳斗六升壹合

永井

下田 七畝拾四歩

八斗貳升五合

同所

下田 四畝拾歩

四斗七升七合

西えだ

中田 壹畝五歩

壹石三斗貳升貳合

辰年ノ高二成

浜

中畑 四畝貳拾歩 四斗六升七合

屋敷 貳拾五歩 壹斗八合

分米合四石壹斗貳升八合

内

屋敷

壹畝拾六歩 壹斗九升九合

巳ノ年ノ高ヘ入

本高三石七斗八升五合

出目三斗四升三合

大日前

中畑 三畝九歩

三斗三升 卯ノ年ノ高ヘ入

永井

中田 五畝廿貳歩

七斗四升六合

戌年ノ高ヘ入

忠兵衛

知田

中田 壹反貳畝廿五歩 壹石六斗六升九合

ゑだ

下田 六畝六歩

六斗八升貳合

永井

下田 四畝六歩

四斗六升貳合

同所

下田 壹反九畝廿八歩 貳石壹斗九升三合

内九畝貳拾七歩 壹石八升貳合

魚崎利兵衛高二成

とがり

中田 五畝貳拾三歩 七斗五升

同所

下田 貳畝拾歩 貳斗五升七合

角屋

中田 壹反七畝廿七歩 貳石三斗貳升七合

内壹反拾貳歩 壹石三斗五升貳合

横屋宗左五門高二成

深田

下田 七畝歩 七斗七升

かきそへ

下田 壹畝貳拾八歩 貳斗壹升三合

同所

下田 八畝拾六歩 九斗三升九合

かなけ田

下田 「五畝五歩」 「五斗六升九合」

浅田 勿ノ年ノ五郎右五門 高二成

下田 壹反式畝廿四步 「壹石四斗八合

同所 勿ノ年ノ魚崎利兵エ 高二成

下田 八畝拾四步 「九斗三升壹合

同断

四つ松

下田 壹畝拾八步 壹斗七升六合

中嶋

下々畑 七畝步 四斗貳升

同所

中畑 壹畝步 壹斗

松苗

中畑 壹畝步 壹斗

屋敷 四畝貳拾七步 六斗三升七合

分米合拾四石六斗三合

内 屋敷 貳拾三步 壹斗 寅年ノ高へ入

本高五石三斗四升壹合

出目九石貳斗六升貳合

道場

堤ヶ内

下田 壹反式拾六步 「壹石壹斗九升五合

くり坪 辰年ノ弥次兵衛高二成

下田 六畝五步 「六斗七升九合

辰年ノ安兵衛高二成

同

下田 壹畝九步 「壹斗四升三合 同断

同

下田 貳拾九步 「壹斗七合 同断

屋敷

中畑 壹畝六步 壹斗五升六合

中畑 壹畝九步 壹斗三升

分米合貳斗八升六合

甚右衛門

嶋畑

上田 五畝拾八步 八斗四升

同所

中田 拾三步 五升七合

	永井							森作兵衛高二成
	下々田	六畝四歩	〔四斗九升壹合	同所				
			巳ノ年ノ七兵衛高へ入	同所	七畝式歩		七斗七升八合	
	同所			同所				三条利兵工高と成ル
	下々田	式反六畝廿八歩	〔式石壹斗五升五合	同所				
			巳ノ年ノ七兵衛高へ入	下田	壹反拾五歩		壹石壹斗五升四合	
	こより			同所				
	下々田	五畝拾三歩	〔四斗三升五合	永田				同断
			戌年ノ太郎兵衛高と成ル	下田	壹反四畝歩		壹石五斗四升	
	同所			かんて				
	下田	四畝式歩	〔四斗四升七合	下々田	四畝式拾九歩		三斗九升七合	
			戌年ノ太郎兵衛高二成ル	こたほね				
	横杭			下田	壹反六畝廿四歩		〔壹石八斗四升八合	
	下田	壹反七畝九歩	〔壹石九斗三合	同所				卯ノ年ノ清兵工高へ入
			卯ノ年ノ利兵衛高二成	下田	九畝式拾七歩		〔壹石八升九合	
	木本			同所				
	下田	壹畝拾八歩	〔壹斗七升六合	下田				卯ノ年ノ利兵工高二成
			丑年ノ魚崎利兵工高二入	長頭				
	泉ヶ坪			下田	八畝四歩		〔八斗九升五合	
	下田	壹反壹畝拾五歩	壹石式斗六升五合					卯ノ年ノ利兵工高二成

同所

下田 壹反五畝六步 「壹石六斗七升貳合

卯ノ年ノ利兵工高ニ成

堤ケ内

下田 壹反八畝廿六步 貳石七升五合

内壹反廿六步 壹石壹斗九升六合

巳ノ年ノ長兵工高ヘ入

堂ノ東

下田 五畝拾壹步 「五斗九升

巳ノ年ノ太郎兵工高ヘ入

堂ノ西

下田 壹反壹畝九步 「壹石貳斗四升三合

卯ノ年ノ横屋忠右工門高ヘ入

東口

下畑 三畝拾五步 「貳斗八升

丑ノ年ノ善右工門高ヘ入

栗坪

下畑 貳拾五步 「六升七合

卯ノ年ノ清兵工高ヘ入

こたほね

下畑 壹步貳步 「八升七合

卯ノ年ノ清片工高ヘ入

中嶋

下畑 三畝拾六步 貳斗八升三合

丙ノ年ノ利右工門高ヘ入

藏屋敷

中畑 貳畝拾七步 貳斗五升六合

同所

中畑 貳畝三步 貳斗壹升

墓後

下々田 壹反壹畝拾五步 「九斗貳升

卯ノ年ノ利兵衛高二成

墓西

中畑 六畝貳步 六斗七合

かんて

下田 四畝拾八步 五斗六合

屋敷 四畝拾六步 五斗八升九合

屋敷 拾六步 「七升

安兵衛高二成ル

分米合貳拾四石九斗貳升五合

内

本高九石九斗壹升貳合

出目拾五石壹升三合

くり坪

下田 壹畝拾九歩 壹斗八升 申年ノ高へ入

ふろてん

中田 七畝拾三歩 九斗六升七合

辰年ノ高二成ル

十右衛門

ゑだ

下田 壹反六畝壹歩 壹石七斗六升四合

申ノ年ノ魚崎利兵工高へ入

植本

中田 貳畝歩 貳斗六升

同所

中田 貳畝貳拾八歩 三斗八升貳合

同所

中田 貳畝三歩 貳斗壹升

同所

中田 三畝九歩 四斗貳升九合

木ノ本

下田 五畝貳拾六歩 六斗四升六合

しんじょう

下田 九畝貳拾四歩 壹石七升八合

かんで

下田 八畝七歩 九斗六合

同所

下々畑 三畝廿五歩 貳斗三升

高井

中田 八畝貳拾五歩 壹石壹斗四升九合

申ノ年ノ魚崎利兵工高二成

同所

中田 七畝貳拾歩 九斗九升六合

同 断

永井

下田 壹反壹畝廿歩 壹石貳斗八升三合

桑原

中田 壹反六畝拾歩 壹石壹斗貳升四合

四つ松

下々畑 四畝五歩 式斗五升

屋敷 壹畝拾六歩 式斗

屋敷 壹畝五歩 壹斗五升式合

分米合拾式石五升九合

内 屋敷 九歩 三升九合
午年ノ高ニ成ル

本高八石九斗九升五合

出目三石六升四合

東口

中畑 壹畝貳歩 壹斗七合 卯年ノ高ヘ入

同所

屋敷 貳拾三歩 壹斗 同断

葉王子

下田 壹反五歩 壹石壹斗壹升九合

午年ノ高ニ成ル

西ゑだ

市郎兵衛

中田 壹反五歩

〔壹石三斗貳升式合〕

未ノ年ノ長衛門高ヘ入

三ノ坪

下田 壹反壹畝貳式歩 壹石貳斗九升壹合

こちら田

下々田 七畝歩 五斗六升

同所

下田 壹反貳拾三歩 壹石壹斗八升五合

同所

下田 五畝拾八歩 〔六斗壹升六合〕

丑ノ年ノ利衛門高ヘ入

堂西

中田 八畝拾貳歩 〔壹石九升式合〕

志のぎ田 巳ノ年ノ利兵衛高ヘ入

中田 九畝歩 壹石壹斗七升

浅田 六畝拾八歩 〔八斗五升八合〕

中田 亥年ノ善介高ヘ入

深田

下田 九畝貳拾貳歩 〔壹石七升壹合〕

かなげ田

子ノ年ノ市右衛門高ヘ入

入

中畑 三畝四歩 「三斗壹升四合

寅年ノ利衛門高へ入

屋敷 一畝八歩 出目「壹斗六升五合

亥ノ年ノ七兵衛高へ入

浜

中畑 壹畝八歩 壹斗貳升七合

市郎右衛門

屋敷 壹畝八歩 壹斗六升五合

屋敷 壹畝廿六歩 出目 貳斗四升三合

分米合九石七斗七升壹合

内

善兵衛

本高八石三斗三升三合

屋敷 一畝拾歩 壹斗六升四合

出目壹石四斗三升八合

植本

下畑 貳拾壹歩 五升六合

傳右衛門

分米合貳斗三升

屋敷 拾貳歩 本高 五升貳合

内

午ノ年ノ高二成ル

本高五升六合

出目壹斗七升四合

助太夫

屋敷 九歩 本高 「三升九合

東ノ 三郎兵衛

午ノ年ノ十右衛門高二成

屋敷 貳拾三歩 壹斗

成

加右衛門

屋敷 壹畝拾歩 本高 壹斗七升四合 清左衛門

四郎左衛門

屋敷 一式拾八歩 壹斗貳升貳合

屋敷 貳拾歩 八斗七升

分米合貳斗九升 本高

内

本高壹斗九升 三斗四升七合 午ノ年ノ高へ入

出目壹斗五升四合

屋敷 貳畝貳拾歩

三斗四升七合

午ノ年ノ高へ入

孫兵衛

屋敷 壹畝九歩 出目 壹斗六升九合

墓前

下田 四畝貳拾四歩 五斗貳升八合 同断

同

下畑 貳拾五歩 六升七合 同断

同

中畑 五畝拾五歩 五斗五升 同断

中畑 貳畝廿七歩

貳斗九升

巳ノ年ノ高二成ル

清太夫

浜

下畑 壹畝七歩 九升九合

下畑 壹畝七歩 九升九合

亥年ノ高へ入

屋敷 貳拾六歩 壹斗壹升三合 喜右衛門分

喜次兵衛分 辰ノ年ノ高二成ル

喜右衛門

四つ松

下々畑 五歩

壹斗

屋敷 貳畝拾七歩 三斗三升四合

志れ田

上田 四畝貳拾歩 「七斗

「九郎右衛門

分米合三斗四升四合

寅ノ年ノ太郎左門 高二成

西浜

下畑 式畝六歩

「壹斗七升六合

寅ノ年ノ角兵衛高へ入

屋敷

壹畝三歩

壹斗四升三合

分米合三斗七升

内

分米合八斗七升六合 本高

本高壹斗九升四合
出目壹斗七升六合

次左衛門

下畑 式畝六歩

壹斗七升六合

未ノ年ノ高持

屋敷

式畝八歩

本高 式斗九升五合

若太夫

内壹畝八歩

壹斗六升五合

未ノ年ノ源兵工高二成

屋敷 式拾九歩

壹斗式升六合

又兵衛

壹畝分

壹斗三升

寅年ノ善次郎高へ入

内

大日前

本高九升七合 中畑三畝式歩 三斗七合

出目式升九合

のぶせ

未ノ年ノ高へ入
中畑 九畝廿九歩

壹石式斗九升六合
亥ノ年ノ高へ入

屋敷

式拾歩 本高

八斗七合

中畑 三畝三歩

三斗九升 未ノ年ノ高へ入

新左衛門

長左衛門

中嶋

下畑 式畝式拾五歩 式斗式升七合

浜

中畑 三畝歩

壹斗

中右衛門

屋敷 八歩 本高「三升五合」
又四郎
仁左エ門高へ成

善次郎

永井

下田 六畝拾三步 七斗八合

こより

「中田 壹反壹畝八歩」
「壹石四斗六升五合」

巳ノ年々切りや忠兵エ

屋敷

壹畝歩

壹斗三升

高二成

分米合式石三斗三合

右ハ寅年々高二成

東口

中田 壹畝貳拾三步

貳斗三升四合

巳ノ年々高二成

同

中畑 壹畝廿六歩

壹斗八升七合

同断

惣左衛門

屋敷 拾五歩 本高 六升五合

中畑 三畝三步 三斗壹升 午ノ年々高へ入

六郎兵衛

屋敷 貳拾四歩 本高 壹斗四合

長兵衛

上畑 八歩 出目 三升五合

三口共安兵衛とりまへ

屋敷 拾木歩

七升

下田壹反廿木歩
上田壹斗九升五合
申年々道場高二成

中畑 壹畝拾八歩 壹斗木升 本高

彦兵衛

屋敷 壹畝三步 壹斗四升三合

こちら田下々田 七畝ノ内末ノ年々高へ入

「下々田 貳畝拾壹歩 壹斗八升七合

午ノ年々伝兵エ高二成

同所壹反貳畝三步之内末年々高へ入

「下田 三畝拾八歩 三斗九升七合 同断
分米合七斗式升七合

出目「壹斗式升七合

角兵衛

太右衛門

浜

西浜

下畑 式畝六歩

未ノ年ノ次右ノ門高
壹斗七升六合 二成

中畑 壹畝八歩 出目「壹斗式升七合

巳ノ年ノ作左ノ門高
二成

四つ松

下畑 式畝拾壹歩「本高」式斗壹升六合

申ノ年ノ伝兵ノ高ニ成

桑原

下田 壹畝拾六歩 壹斗五升四合

村分

同所

下々畑 式畝拾式歩

壹斗四升四合

申ノ年ノ伝兵ノ高ニ成

下田 壹畝式拾六歩 式斗六合

同断

ほうと

中田 四歩 壹升八合

同断

彦次郎

新道下

やしき

下田 三畝廿四歩 「四斗壹升八合

中畑 三畝式拾式歩「本高」三斗七升四合

亥ノ年ノ次右ノ門高
へ入

内壹畝 壹斗 五兵衛分

分米合九斗式升三合

内

堂ノ西

中田 八畝拾歩

壹石八升四合

本高七斗九升六合

未ノ年ノ高ニ入

この内 四畝五歩 五斗四升式合 五兵衛分

分米合 老石四斗五升八合

内

八斗 老升六合

六斗 四升式合 内 五斗四升式合 丑年 伝兵衛分 五兵衛分

老斗 寅年 同人 高へ入

伝兵衛分

仁 介

知田

中田 式拾七歩 本高 老斗 老升七合

丑年 善衛門 高へ入

浜

下畑 三畝歩 式斗四升 丑年 高へ入

五郎右衛門

屋敷 式畝八歩 本高 式斗九升五合

血池 床

下田 老反 老畝八歩 本高 老石 式斗四升

青木村 庄 助

西浜

下々畑 九畝拾四歩 五斗六升八合

青木 忠左衛門

西浜

下々畑 四畝式拾五歩 式斗九升

同

下々畑 老畝拾歩 八升 同人

青木村 又左衛門

西浜

下畑 式畝拾歩 老斗八升七合

青木村 茂兵衛

墓西

下田 七畝式拾四歩 八斗五升八合

忘れ田

宗右衛門

中田 「壹反五畝廿九步」式石七升五合

卯ノ年ノ五左エ門高へ入

魚崎村 五兵衛

すみや

中田 壹反拾貳步 「壹石三斗五斗貳合

辰ノ年ノ七郎左エ門高へ入

永井 下田 壹反六步 壹石壹斗貳升貳合 同
恵ばた 下田 五畝廿貳步 六斗三升壹合 同
堤ヶ内 下田 八畝拾六步 九斗三升九合 同

長田

下田 壹反八步 壹石壹斗三升

墓の後

下々田 八畝八步 六斗六升貳合

分米合五石貳斗壹升九合

内

本高壹石七斗九升貳合

出目三石四斗貳升七合

墓後

下田 壹反壹畝九步 壹石貳斗四升三合

卯ノ年ノ高へ入

下田 六畝拾八步 「七斗貳升六合

亥ノ年ノ魚崎利兵衛高へ入

すみや

中田 壹反拾貳步 壹石三斗五升貳合

忠兵衛高へ入

すみや 中田 八畝貳拾步 壹石壹斗貳升七合

こより

善兵衛

利兵衛

中田 壹反貳拾三步 壹石四斗

泉ヶ坪

下田 壹反拾四步 与兵衛 壹石壹斗五升貳合

恵ばた

下田 九畝拾八步 壹石五升六合

墓ノ後

下々田 九畝拾四步 七斗五升八合

同所

下畑 拾壹步 三升

永田

下田 五畝六步 五斗七升貳合

永田

下田 五畝拾貳步 与兵衛 五斗九升四合

こしだ

下田 壹反五畝九步 壹石六斗八升三合

ゑだ

中田 壹反三畝六步 「壹石七斗壹升六合

芦原

下田 七畝貳拾貳步 「八斗五升壹合

丑ノ年ノ市左エ門高二成

高井

中田 壹反六畝四步 貳石九升八合

分米合拾三石三升七合

内

本高拾石七斗八升六合

出目貳石貳斗五升壹合

のぶせ

中田 八畝貳拾五步 壹石四升九合

戌年ノ高ノ入 寅年ノ八兵工高二成

堂西

中田 壹反貳畝拾四步 壹石六斗貳升壹合

丑年ノ高ノ入

浜

中畑 壹畝貳拾九步 壹斗九升七合

亥ノ年ノ高ノ入

浅田

下田 六畝拾八步 七斗貳升六合

長頭

亥ノ年ノ高ノ入

辰ノ年ノ次郎兵工高二成

下田 壹反五畝六歩 壹石六斗七升貳合

同所 卯ノ年ノ高ヘ入

下田

八畝四歩 八斗九升五合

墓ノ後 卯ノ年ノ高ヘ入

下田

壹反壹畝拾五歩 九斗貳升

植松 卯ノ年ノ高ヘ入

下田

壹反七畝九歩 壹石九斗三合

こたほね

下田 九畝貳拾七歩 壹石八升七合

嶋畑 未年ノ与左エ門高ヘ入

上田

壹反拾五歩 壹石五斗七升五合

内壹石出目ニ成ル

未年ノ与左衛門高ニ成

浅田

下田 壹反貳畝廿四歩 壹石四斗八合

卯ノ年ノ高ヘ入

同所

下田 八畝拾四歩 九斗三升壹合

卯ノ年ノ高ヘ入

志れ田

中田 九畝貳歩 壹石壹斗七升九合

巳ノ年ノ高ヘ入

このへ

下田 壹反五畝貳拾七歩 壹石七斗五升

巳ノ年ノ高ヘ入

堂ノ西

中田 八畝拾貳歩 壹石九升貳合

巳ノ年ノ高ヘ入

永井

下田 壹反貳畝廿五歩 壹石四斗壹升貳合

酉リ年ノ高ヘ入

喜兵衛

東口

中田 三畝歩 三斗九升

未ノ年ノ新左エ門高ニ成

上長所

中田 壹反三畝廿六步 壹石八斗三合

屋敷 拾貳步 「五升貳合

午ノ年ノ伝右工門高二成

下々田 壹畝九步

下畑 貳畝八步

屋敷 貳拾六步

田畑合四拾五町九反四畝貳拾壹步

三斗四合

「壹斗八升貳合

未ノ年ノ利兵工高へ入

壹斗壹升三合 次郎太夫

同断

同断

浜

中畑 壹畝拾壹步 「壹斗三升七合

丑年ノ吉兵工高へ入

田畑合四拾五町九反四畝貳拾壹步

分米合貳石三斗八升貳合

内

本高壹石八斗三合

出目五斗七升九合

「道 場

下田 六畝五步

下田 壹畝九步

下田 貳畝九步

六斗七升九合

壹斗四升三合

「壹斗七合

「同断

「同断

「同断

浜

中畑 「貳畝貳拾七步 貳斗九升

「久兵衛

芦原

下田 六畝拾五步

七斗壹升五合

高へ入

植口屋 忠兵衛 戊年ノ高持二成

未年ノ与兵衛分入

未年ノ与兵衛分入

未年ノ与兵衛分入

未年ノ与兵衛分入

下々田 壹反九畝拾步 壹石五斗四升七合

住 吉村 五郎左工門

「中田 壹畝廿三步

「貳斗三升四合

巳年ノ甚介高へ入

下田 壹反貳畝三步 壹石三斗三升壹合 同断

東口

「中畑

壺 畝廿六歩

「壺斗八升七合

巳年の甚介高へ入

こより

中田

壺反壺 畝八歩

壺石四斗六升五合

巳年の高へ成ル

本庄村史資料

永井正治家文書(二)

一九八八年一月二十日発行

編著者 本庄村史編纂委員会

発行所 神戸深江生活文化史料館

神戸市東灘区深江本町三―五―七

印刷所 印刷ショップフタバ

